

新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」

平成20年度進ちょく状況報告書

重点施策等の平成20年度における主な取組	1～7ページ
数値目標設定施策の進ちょく状況	8ページ
施策別 進ちょく状況（一覧）	9～20ページ
施策別 進ちょく状況（詳細） (参考)	21～88ページ
重点施策等の平成21年度における主な取組	89～94ページ

京都市

京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課
〒604-0954 京都市中京区御池通柳馬場東入東八幡町 579 番地
京都御池創生館 6 階
電話：(075)251-2380, FAX(075)251-2322

本報告書は、京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課のホームページ
http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/soshiki/8-3-1-0-0_1.html
で公開しています。

☆ 新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」に掲げた重点施策等の平成20年度における主な取組

《第1章》子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり

○ 市民・地域ぐるみで進める子育て支援の風土づくり

社会全体で子育てを支援していく風土づくりを進めるため、次の事務事業を実施しました。

ア 子どもを共に育む京都市民憲章の推進 <予算額：6,000千円>

平成19年2月5日（育児ニコニコ笑顔の日）に制定した「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念が市民生活のあらゆる場で実践される社会の実現に向けた取組を推進しました。

【保健福祉局 児童家庭課、教育委員会事務局 生涯学習部】

イ 083, 273 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）の拡充：《第2章関連》

<予算額：54,083千円>

子育て中の親の負担感や孤立感を緩和し、安心して子育てができる環境を整備するため、子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場所を新たに5箇所開設しました。（既設と合わせ市内計14箇所）

（参考）数値目標設定施策 14箇所（平成20年度）→20箇所（平成21年度）

【保健福祉局 児童家庭課】

ウ 055 地域子育て支援ステーションの拡充：《第2章関連》 <予算額：47,900千円>

小学校区を基礎単位に、市民に身近な地域レベルでの相談・支援センターとして、新たに10箇所の保育所、児童館を指定しました。（既設と合わせ市内計170箇所）

【保健福祉局 児童家庭課】

エ 006, 067 育児支援家庭訪問事業：《第2章関連》 <予算額：58,425千円>

子どもの養育について支援を必要としながらも自ら積極的に支援を求める家庭に対し、訪問等による援助活動を行いました。（平成17年12月から、子ども支援センター（福祉事務所）及び保健所で実施）

【保健福祉局 児童家庭課、保健医療課】

○ 第2児童福祉センター基本構想策定調査 <予算額：1,000千円>

児童虐待、障害相談に迅速かつ的確に対応するため、市南部地域に新たに第2児童福祉センターを設置することとし、平成20年度は基本構想策定へ向けた調査を行いました。

【保健福祉局 児童家庭課】

○ 発達障害児等支援事業（障害等で支援が必要な子どもの福祉） <予算額：18,800千円>

自閉症などの発達障害等の様々な障害のある児童に療育を行うため、発達障害児等療育教室を設置しました。

- ・ 場所 西京区樋原百々ヶ池（京都保育福祉専門学院内）

【保健福祉局 障害保健福祉課】

○ 033, 244 障害のある児童・生徒の教育の推進（総合育成支援教育の推進）

ア 総合支援学校高等部等の定員拡大 <予算額：7,000千円>

企業就職を希望する生徒や保護者の願いに応えるため、高等部職業学科の定員を拡大しました。平成21年度から、白河総合支援学校に新専門教科「地域コミュニケーション」を設置し、8名の定員拡大。鳴滝総合支援学校では4名の定員拡大を行いました。

また、長期的な視点で今後の総合支援学校高等部等のあり方を検討するため、定員拡大の計画や地域制総合支援学校の児童生徒数増加への対応等について検討する「総合支援学校高等部職業学科等定員拡大検討委員会」を設置し、検討を進めました。

イ 総合育成支援員の配置 <予算額：153,100千円>

普通学級に在籍するLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症等の発達障害や肢体不自由等の幼児・児童・生徒に対して、きめ細やかな指導を行うために、学習活動上の支援や学校生活上の介助等を行う総合育成支援員を配置しました。

- 配置校（園） 配置が必要なすべての学校・園

- 平成20年度実績 233校（園）に311名を配置

【教育委員会事務局 総合育成支援課】

《第2章》次世代をはぐくむすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり

○ 069, 086 北部山間地域の子育て支援～広げよう！やまの子育ての輪～（地域において住民相互で行われる子育て支援活動への支援）<予算額：1,000千円>

左京区北部山間地域において、乳幼児を対象とした身体測定、健康相談、情報交換を行う「のびのびやまの子育て 健康相談＆交流会」や、地域の高齢者と子ども、保護者による交流会「やまのおじいちゃん・おばあちゃんの知恵袋」を開催し、地域住民との協働による子育て支援を実施するとともに、ホームページ等において山間地域ならではの子育ての魅力を広く発信しました。

【左京区役所 健康づくり推進課、支援課、総務課】

○ 110 みやこユニバーサルデザインの推進 <予算額：11,196千円>

- ユニバーサル上映補助

身近な娯楽である映画に着目し、映画を上映する際に、字幕・副音声を付けるユニバーサル（バリアフリー）上映に係る補助制度を設け、建物やもののユニバーサルデザインと並んで大切な「情報のユニバーサルデザイン」の普及推進を図りました。また、補助を適用した作品の上映時に、市が作成するCM映画等により、ユニバーサルデザイン施策をPRしました。

- みやこユニバーサルデザインフォーラム（みやこUDF）交流協働支援

障害のある方をはじめ、様々な分野の専門家、市民ボランティアなどの参加と協働で、ユニバーサルデザインに関する情報交換や調査研究、実践等を通じて、市民の主体的な取組を充実、発展させることを目的とする組織の活動を支援しました。

- みやこユニバーサルデザイン賞の募集、表彰

企業、NPO、学校、個人などの幅広い層を対象に、まち、もの、サービスに関する具体的なユニバーサルデザインの取組事例やアイデアを募集しました。

【保健福祉局 保健福祉総務課】

○ 京都あんしんタクシー（福祉移送）事業（子育て家庭への支援） <予算額：9,000千円>

高齢者や障害のある方等の福祉移送の更なる普及や子育て世帯への移送支援を図るため、タクシー事業者等が共同で設置する共同配車センターのシステム整備及び広報に対し助成を行いました。

【保健福祉局 保健福祉総務課】

○ 3人目以降の子どもの保育料無料化（子育てに必要な経済的負担のあり方）

ア 幼稚園における同時就園3人目以降の保育料ほぼ無料化

<予算額：29,000千円、歳入減額：6,400千円>

保護者負担を軽減し、子どもを安心して産み育てる環境を整えるため、私立幼稚園に通園する3人目以降の子どもに対する補助金を増額することにより、保育料と入園料をほぼ無料化しました。（第4章 219 関連）

市立幼稚園においては、減免制度を拡充し、保育料と入園料を無料化しました。

- ・対象 幼稚園（保育所）から小学校3年生までに兄、姉が2人以上いる幼稚園児
- ・実施時期 平成20年4月にさかのぼって実施

【教育委員会事務局 調査課】

イ 保育所等における3人目以降の保育料無料化 <予算額：－、歳入減額：6,500千円>

同一の世帯から3人以上の児童が同時に保育所等を利用している場合、3人目以降の保育料を無料化しました。

- ・実施時期 平成20年4月にさかのぼって実施

【保健福祉局 保育課】

○ 122 保育所整備助成（施設整備による保育所定員の拡大） <予算額：236,000千円>

牛ヶ瀬保育園（西京区）の定員増（60→90人）を伴う増改築整備、万因寺保育園（山科区、定員150人）の保育スペース拡張を伴う老朽改築整備に対して助成を行いました。

（参考）数値目標設定施策 24, 450人（20年度）→24, 525人（21年度）

【保健福祉局 児童家庭課、保育課】

○ 127 延長保育の拡充 <予算額：512,064千円>

就労時間帯の多様化等による保育需要の増加に合わせ、延長保育実施保育所を164箇所から169箇所に拡充しました。

（参考）数値目標設定施策 169箇所（平成20年度）→179箇所（平成21年度）

【保健福祉局 保育課】

○ 123, 129 一時保育の拡充 <予算額：100,402千円>

保護者の断続的・短時間就労に伴う一時的な保育（非定型）や、保護者の傷病などによる緊急時の保育（緊急一時）、保護者のリフレッシュを図るために保育といった様々な保育需要に対応できるよう、また、未就園児童への子育て支援サービスの提供という役割を果たすことができるよう、一時保育実施保育所を33箇所から37箇所に拡充しました。

（参考）数値目標設定施策 37箇所（平成20年度）→42箇所（平成21年度）

【保健福祉局 保育課】

○ **130 休日保育の拡充** <予算額：6,993千円>

日曜・祝日に勤務する保護者等に対する保育サービスとして、休日保育事業を実施しています。

(参考) 数値目標設定施策 3箇所(平成20年度) → 5箇所(平成21年度)

【保健福祉局 保育課】

《第3章》子どもを安心して生み健やかに育てるこことのできるまちづくり

○ **178 妊婦健康診査の拡充（妊娠婦の健康の保持増進のための支援）** <予算額：235,613千円>

妊婦健康診査に対する公費負担の回数を増やすとともに、府外で健診を受ける市民に対しても公費負担を行いました。

・公費負扱回数 1→5回(低所得者2→5回)

【保健福祉局 保健医療課】

○ **新生児等訪問指導の拡充（こんにちは赤ちゃん事業）** <予算額：35,895千円>

従来の訪問を希望する家庭への新生児等訪問指導を拡充し、生後4か月までの乳児のいるすべての御家庭を訪問し、子どもの発育・発達や母親の心身の回復に関する相談に加えて、母親の精神的支援や、子育てに関する情報提供を行い、子どもを安心して生み育てていただくことができるよう支援しました。

・対象者：生後4か月までの乳児のいるすべての家庭

【保健福祉局 保健医療課】

○ **197 麻しん・風しん予防接種の拡充（予防接種の取組の推進）** <予算額：486,000千円>

乳幼児期に1回だけ接種している世代について、中学1年生と高校3年生に相当する年齢の方を対象に2回目の接種を実施しました。今後5年間で、18歳以下のすべての市民に2回目の接種機会を確保します。

制度改正の経過 ※()は接種時期

- ・平成17年度以前 1回接種(生後12月～90月未満)
- ・平成18年度以降 2回接種(1歳、小学校入学前1年間)
- ・平成20年度から平成24年度まで

2回目の接種時期を追加(中学1年生及び高校3年生相当)

【保健福祉局 保健医療課】

《第4章》次代を担う子どもたちが心豊かに生きる力をはぐくむことができるまちづくり

○ 215 「おやじEXPO2008」及び「京都おやじの座談会」開催 <予算額:5,000千円>

「おやじEXPO2008」では、「わが子の父親から地域のおやじへ」を合言葉に、父親の家庭教育や地域活動への積極的な参加を促進する様々な活動を展開している「おやじの会」の取組等を一堂に集めて紹介、活動の活性化を図りました。また、各「おやじの会」の連携や取組についての情報交換をさらに進め、また会員同士の交流と親睦を深めるため、「京都おやじの座談会」を開催しました。

【教育委員会事務局 生涯学習部】

○ 221 PTAハンドブックの作成 <予算額:3,300千円>

PTA活動の趣旨やあり方・各校種の実践事例をまとめたPTA活動の手引きを作成、全家庭に向けて配布しました。

【教育委員会事務局 生涯学習部】

○ 市立学校・幼稚園ホームページ作成支援システムの導入（開かれた学校づくりと地域ぐるみ・市民ぐるみの教育の推進）<予算額:38,000千円>

市立学校・幼稚園にホームページ作成支援システムを導入し、見やすくわかりやすいホームページを家庭、地域へ迅速に情報発信することにより、市立学校・幼稚園の取組への参画を促進するとともに、障害のある方や高齢者を含むだれもがホームページの情報を利用することを可能にしました。

【教育委員会事務局 情報化推進総合センター】

○ 224 京都市方式による「子どもを共に育む『親支援』プログラム」の策定実践（親教育プログラムの開発と体系化）<予算額:3,000千円>

「子どもを共に育む京都市民憲章」の趣旨を踏まえ、親自身が「親」としての心構えや必要な知識・技術等を子どもの発育・発達段階に応じて学べるとともに、こうした「親の学び」を支援する者を養成する体系的システムを開発し、保育所・幼稚園・学校さらに保健所・児童館等で展開できる仕組みを構築するため、プロジェクト会議を設置し、プログラムの素案の検討を行いました。

・対象 妊娠期～乳幼児期の親、さらに小・中学生の児童・生徒を持つ親

・内容

(1) 親が、子育ての各段階で活用できる「親の学び」冊子の作成（全保護者対象）

(2) 「親育ち」学習プログラム（講座的性質）の構築と、本学習プログラムの支援者の養成

(3) 関係機関の連携による「京都市方式」の子育て支援システムの構築

【教育委員会事務局 生涯学習部、こどもみらい館】

○ 240 京都ジュニア環境サミット（実践を通して環境の大切さを学ぶ環境教育の推進）

<予算額:6,000千円>

2008年サミット外相会合京都開催にあわせ、「DO YOU KYOTO?」プロジェクトの一環として、また、学校・地域・企業等が連携して進めてきた京都市の環境教育を内外に発信する取組として、21世紀を担う子どもたちが、子ども議員として環境に関わる意見を表明し、議論を通じて行動アピールを採択する「京都ジュニア環境サミット」を開催しました。（6月22日「環境フェスティバル」と同時開催）

【教育委員会事務局 学校指導課】

○ 土曜学習の実施（確かな学力と豊かな創造性をもつ子どもたちの育成）<予算額：21,900千円>

「確かな学力」の育成に向け、学習習慣の確立と学力の定着・向上を図るため、小・中学校において、土曜日等休業日を積極的に活用し、学校運営協議会や保護者、学生ボランティア等の協力のもと、学習機会の拡充に向け、平成20年度は実践研究を行うモデル校96校で実施しました。

【教育委員会事務局 学校指導課】

○ 子ども舞台芸術鑑賞支援事業（確かな学力と豊かな創造性をもつ子どもたちの育成）

<予算額：4,400千円>

子どもたちに優れた文化芸術の魅力に触れる機会を創出するため、劇団四季の協力により、中学1年生から中学3年生の生徒とその保護者を対象に、低料金で舞台芸術を鑑賞することができる事業を実施しました。

【文化市民局 文化芸術企画課】

○ 学校統合による教育環境の充実整備（子どもたちを取り巻く教育環境の整備）

ア 花背小学校・花背中学校整備

京都市内で初の施設一体型小中一貫教育校として別所小学校・花背第一中学校、八幡小学校・花背第二中学校、堰源小学校・堰源中学校が平成19年4月に統合し、開校した花背小学校・花背中学校の教育の更なる充実を図るため、元花背第二中学校敷地内において新校舎の整備を進めており、平成21年秋に竣工予定です。

イ 下京涉成小学校整備 <予算額：1,154,000千円>

六条院・植柳・崇仁小学校の3校の統合を求める地元からの要望を尊重し、平成22年4月の開校に向けて、元皆山中学校敷地に新校舎を建設します。

平成20年度は、埋蔵文化財発掘調査を行い、引き続き新校舎建築工事に着手しました。

ウ 開晴小学校・開晴中学校整備 <予算額：1,589,000千円>

東山区北部の7小中学校（白川・新道・六原・清水・東山の5小学校及び洛東・弥栄の2中学校）の統合を求める地元からの要望を尊重し、平成23年4月の開校に向けて、現洛東中学校を中心に、現六原小学校も活用して施設一体型の小中一貫校を新設します。

平成20年度は、洛東中学校の元貞教小学校への移転後、現洛東中学校校舎の解体を行うとともに、新校舎の実施設計に着手しました。

【教育委員会事務局 教育環境整備室】

○ 学校増改築等施設整備事業（子どもたちを取り巻く教育環境の整備）

ア 小学校増収容対策 <予算額：24,600千円>

児童数の増加に伴う教室数の不足、給食室の狭隘化を解消するため、小学校校舎の増改築を行いました。

・実施設計 西陣中央小学校、桂坂小学校、羽束師小学校（給食室）

イ 御所南小学校グラウンド用地取得・整備 <予算額：28,000千円>

平成18年12月の京都府・京都市間における合意に基づき、京都府から中京庁舎跡地を取得し、これに隣接する富小路殿公園と合わせ、御所南小学校グラウンドとして整備します。

平成20年度は、公園の一部解体、グラウンドの造成設計を行いました。

・場所 中京区富小路通二条上る鍛冶屋町

・整備面積 4,269m²（うち中京庁舎跡地取得面積888m²）

・供用開始 平成22年度

【教育委員会事務局 教育環境整備室】

○ **272 一元化児童館の整備** <予算額：532,550千円（＊）>

京都市葵児童館（左京区）、東福寺児童館（東山区）、以上2箇所の整備を行い、京都市北白川児童館（左京区）、京都市七条第三児童館（下京区）、京都市桂徳児童館（西京区）、以上3箇所の整備に着手しました。また、明徳児童館（左京区）、唐橋児童館（南区）、梅津北児童館（右京区）※名称はすべて仮称、以上3箇所の設計等を行い、整備に向け着手しています。

岩倉南児童館（左京区）、祥豊児童館（南区）※名称はすべて仮称、以上2箇所の児童館の設計等に着手しました。修学院第二児童館（左京区）、錦林児童館（左京区）、西野児童館（山科区）、向島南児童館（伏見区）※名称はすべて仮称、以上4箇所の児童館の実施設計及び京都市太秦児童館（右京区）の移転に伴う実施設計を行いました。

（＊）京都市葵児童館整備費に一括予算計上した京都市母子福祉センター整備費を含む。ともに北山ふれあいセンター内に設置。

（参考）数値目標設定施策 111箇所（平成20年度）→130箇所（平成21年度）

【保健福祉局 児童家庭課】

○ **放課後まなび教室の推進（子どもの健全育成のための環境づくり）** <予算額：233,278千円>

余裕教室や図書館等の学校施設を活用し、地域・PTAや学校運営協議会、学生等の支援の下、自主学習、読書、文化的活動などを行い、市立小学校に通う児童に放課後の「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」を確保します。

平成21年度の市内全小学校実施（179校）に向けて、平成20年度は、平成19年度に実施している50校に加え、新たに、65校で実施しました。

【教育委員会事務局 生涯学習部】

その他

○ **新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」の見直し** <予算額：16,500千円>

現行の新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」の計画期間が平成21年度までとなっており、プランの見直しに着手しました。

・平成20年度 プラン見直しに当たっての基礎資料とするため、各種調査を実施

- ① 子育て支援に関する市民ニーズ調査（※児童家庭課が担当）
- ② 結婚と出産に関する意識調査（※児童家庭課が担当）
- ③ ひとり親家庭実態調査（※児童家庭課が担当）
- ④ 母子保健に関する意識調査（※保健医療課が担当）
- ⑤ 思春期に関する意識調査（※保健医療課が担当）

・平成21年度 次期プランの策定

【保健福祉局 児童家庭課、保健医療課】

☆ 「数値目標設定施策」の進ちょく状況

施策名	16年度	17年度実績 (うち17年度増分)	18年度実績 (うち18年度増分)	19年度実績 (うち19年度増分)	20年度実績 (うち20年度増分)	進ちょく率	21年度取組 (うち21年度増分)	進ちょく率	21年度 目標
83 子育て支援活動いきいきセンター (つどいの広場)	0箇所	2箇所 (2箇所)	4箇所 (2箇所)	9箇所 (5箇所)	14箇所 (5箇所)	70.0%	20箇所 (6箇所)	100.0%	20箇所
122,124 保育所定員	23,865人	24,350人 (315人)	24,420人 (70人)	24,420人 (0人)	24,450人 (30人)	99.2%	24,525人 (75人)	99.4%	24,650人
127 延長保育 (夜間延長保育含む)	131箇所	136箇所 (5箇所)	150箇所 (14箇所)	164箇所 (14箇所)	169箇所 (5箇所)	88.9%	179箇所 (10箇所)	94.2%	190箇所
129 一時保育	25箇所	28箇所 (3箇所)	29箇所 (1箇所)	33箇所 (4箇所)	37箇所 (4箇所)	88.1%	42箇所 (5箇所)	100.0%	42箇所
130 休日保育	2箇所	2箇所 (一)	3箇所 (1箇所)	3箇所 (0箇所)	3箇所 (0箇所)	60.0%	5箇所 (2箇所)	100.0%	5箇所
185 乳幼児健康診査の充実 1歳6か月児健康診査(受診率)	93.2%	92.5%	93.1%	94.7%	95.3%	98.2%	97.0%	100.0%	97%
272 一元化児童館 (学童クラブ機能を有した児童館)	101箇所	103箇所 (2箇所)	105箇所 (2箇所)	109箇所 (4箇所)	111箇所 (2箇所)	85.4%	130箇所 (19箇所)	100.0%	130箇所
275 中高生と赤ちゃんふれあい交流事業	10箇所	15箇所 (5箇所)	18箇所 (3箇所)	22箇所 (4箇所)	26箇所 (4箇所)	86.7%	30箇所 (4箇所)	100.0%	30箇所

※ 保育所定員の平成17年度実績における平成17年度増分には、京北170人分を含みません。

※ 1歳6か月児健康診査(受診率)の平成21年度目標は、計画策定時に把握できた直近の実績の平成15年度受診率(92.9%)を基準に設定。

※ 平成21年度予算ベース及び進ちょく率は、平成22年3月末時点の見込み。(ただし、一元化児童館については、整備及び設計着手分を含む。)

新「京(みやこ)・子どもいきいきプラン」施策 進ちょく状況 (施策別一覧)

※  は、再掲施策

第1章 子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり

(1) 市民・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり

(2) 子どものいのちと人権を守るネットワーク、虐待防止対策

		平成20年度 実績		
		完了	推進中 (充実)	着手前 (継続)
001 子どものいのちと人権を守るネットワークの充実	《重点》	○		
002 中核機関の連携強化と機能充実	《重点》		○	
003 児童福祉センターの体制再編と機能充実【新規】	《重点》		○	
004 子ども支援センターの機能充実	《重点》		○	
005 地域子育て支援ステーションの設置の拡大(再掲:055)	《重点》	○		
006 育児支援家庭訪問事業の実施【新規】	《重点》		○	
007 被虐待児をはじめとする子どもたちの自立に向けた支援施策の充実(再掲:015)	《重点》		○	
008 ドメスティック・バイオレンスに対する関係機関との連携強化と支援の充実	《重点》		○	
009 妊産婦の健康の保持増進のための支援(再掲:178)	推進	○		
010 乳幼児健康診査の充実(再掲:185)	推進		○	
011 母親の心身の健康の確保(再掲:187)	推進		○	
012 子育て相談事業	推進	○		
013 自立援助ホームへの運営補助(再掲:020)	推進		○	

(3) 養護等が必要な子どもの福祉

014 乳児院や児童養護施設等における個別的なケアの充実【新規】	《重点》		○	
015 被虐待児をはじめとする子どもたちの自立に向けた支援施策の充実	《重点》		○	
016 児童福祉センターの体制再編と機能充実【新規、再掲:003】	《重点》		○	
017 ショートステイ、トワイライト事業の充実(再掲:074)	《重点》		○	
018 子どものいのちと人権を守るネットワークの充実(再掲:001)	《重点》	○		
019 施設職員の専門性の向上	推進		○	
020 自立援助ホーム運営補助	推進		○	
021 専門里親や週末里親等の拡充	推進		○	
022 少年非行対策	推進		○	
023 地域生徒指導連絡協議会の取組の推進(再掲:209)	推進		○	
024 青少年に対する総合的な相談体制の構築(再掲:293)	推進		○	
025 性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒に関する正しい情報提供の充実(再掲:172)	推進		○	

		平成20年度 実績		
		完了	推進中 (充実)	着手前 (継続)
(4) 障害や疾病等で支援が必要な子どもの福祉	026 自閉症・発達障害者支援センターの設置【新規】	《重点》		○
	027 障害のある子どもたちへの地域における相談体制の充実	《重点》		○
	028 育児支援家庭訪問事業【新規、再掲:006】	《重点》		○
	029 居宅介護等事業(ホームヘルプサービス)の充実	《重点》		○
	030 児童デイサービス等の充実	《重点》	○	
	031 短期入所(ショートステイ)事業の充実	《重点》		○
	032 障害児タイムケア事業(仮称)の実施の検討【新規】	《重点》		○
	033 総合育成支援教育の推進	《重点》	○	
	034 京都市子ども保健医療相談・事故防止センター「京(みやこ)あんしんこども館」の運営(再掲:193)	推進		○
	035 早期発見のための各種スクリーニング検査等の実施	推進		○
	036 障害のある幼児の保育の充実	推進		○
	037 幼稚園における総合育成支援教育の充実	推進	○	
	038 障害のある子どもの早期からの教育相談と就学相談・指導の充実	推進		○
	039 訪問教育の充実	推進		○
	040 交流教育の充実	推進		○
	041 総合育成支援教育就学奨励費支給事業	推進		○
	042 学童クラブ事業の充実(再掲:274)	推進		○
	043 子どもたちの「心の居場所」づくりの推進(再掲:253)	推進		○
	044 総合養護学校における進路指導の充実	推進	○	
	045 総合養護学校におけるクックチル方式の導入による子どもたち一人一人の障害の実態や年齢に合った給食の充実	推進		○
	046 福祉施設職員等の人材確保と育成	推進		○
	047 在宅福祉を支える人材育成	推進		○
	048 補装具等の交付・修理	推進		○
	049 難病等慢性疾患や障害のある子どもの療養生活の支援(再掲:195)	推進		○
	050 桃陽病院スクール事業	推進		○

第2章 次世代をはぐくむすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり

(1) 子育てを支え合える地域のネットワーク、情報発信	平成20年度 実績			
	完了	推進中		着手前
		(充実)	(継続)	
051 子育てを支え合える地域のネットワークの充実	《重点》	○		
052 中核機関の連携強化と機能充実	《重点》		○	
053 子育て支援機関のバックアップ組織としての「子育てサポート推進チーム(仮称)」の創設【新規、再掲:227】	《重点》	○		
054 他都市の子育て支援中核施設との共同連絡会議の設立【新規、再掲:228】	《重点》		○	
055 地域子育て支援ステーションの設置の拡大	《重点》	○		
056 子育て支援ボランティア・子育てサポーターの育成とコーディネートの充実(再掲:090)	《重点》		○	
057 子育て支援への企業の参画促進と行政との連携(再掲:92、102~105)	《重点》		○	
058 民生委員・児童委員、主任児童委員の活動の活性化(再掲:094)	推進		○	
059 児童福祉施設関係職員の研修の強化	推進		○	
060 子育て相談員養成研修等の実施	推進		○	
061 幼児クラブ及び母親クラブ等地域組織活動のネットワーク化【新規、再掲:280】	推進		○	
062 正確な子育て支援情報を、的確に「家庭」へ伝える施策推進	推進		○	
063 出生児宅への出産お祝いレター及び子育て応援パンフレット等のお届け事業【新規】	推進		○	
064 インターネット等による子育て情報の発信【新規】	推進		○	
065 子育て支援シンポジウムの開催	推進		○	
066 人づくり21世紀委員会関連(再掲:202)	推進		○	

(2) 子どもといふ生活に生きがいを感じられる家庭・職場・地域社会づくり

ア 子育て家庭への支援

067 育児支援家庭訪問事業の実施【新規、再掲:006】	《重点》		○	
068 地域における子育て支援の拠点として保育所・幼稚園・児童館等の児童施設の機能強化	《重点》	○		
069 地域において住民相互で行われる子育て支援活動への支援【新規】	《重点》		○	
070 子育て支援を行うNPO等への活動支援	《重点》		○	
071 子育て支援における公共的団体やNPO等と行政との連携強化【新規】	《重点》		○	
072 子育て支援ボランティア・子育てサポーターの育成とコーディネートの充実(再掲:090)	《重点》		○	
073 親教育プログラムの開発と体系化【新規、再掲:224】	《重点》	○		
074 一時預かり事業の推進	《重点》	○		
075 妊産婦の健康の保持増進のための支援(再掲:178)	推進	○		
076 乳幼児及び母親の心身の健康の確保(再掲:185、187)	推進		○	

		平成20年度 実績		
		完了 (充実)	推進中 (継続)	着手前
077 子育て相談事業(再掲:012)	推進		○	
078 正確な子育て支援情報を、的確に「家庭」へ伝える施策推進(再掲:062)	推進			○
079 出生児宅への出産お祝いレター及び子育て応援パンフレットのお届け事業【新規、再掲:063】	推進			○
080 インターネット等による子育て情報の発信【新規、再掲:064】	推進			○
081 「人づくり21世紀委員会ニュースKYOTO子どもエンジョイつうしん」の発行やホームページによる情報発信(再掲:202)	推進			○
082 シルバー人材センターによる子育て支援事業の実施	推進			○

イ 地域子育て支援の場づくり

083 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業の実施【新規】	《重点》		○	
084 子ども支援センターの機能充実(再掲:004)	《重点》			○
085 地域における子育て支援の拠点として保育所・幼稚園・児童館等の児童施設の機能強化(再掲:068)	《重点》		○	
086 地域において住民相互で行われる子育て支援活動への支援【新規、再掲:069】	《重点》			○
087 地域のまちづくり支援拠点「暮らしの工房」づくりの支援【新規】	《重点》			○
088 子育て支援を行うNPO等への活動支援(再掲:070)	《重点》			○
089 子育て支援における公共的団体やNPO等と行政との連携強化【新規、再掲:071】	《重点》			○
090 子育て支援ボランティア・子育てサポーターの育成とコーディネートの充実	《重点》			○
091 乳幼児子育てサポート推奨制度の創設【新規、再掲:226】	《重点》			○
092 地域の子育て支援活動への市民団体や大学、企業等の参加の促進【新規】	《重点》			○
093 地域子育て支援ステーションの設置の拡大(再掲:055)	《重点》		○	
094 民生委員・児童委員、主任児童委員の活動の活性化	推進			○
095 社会福祉協議会との連携	推進			○
096 児童館の整備を進め、幼児クラブ及び母親クラブ等地域組織活動のネットワーク化や地域住民との交流、ボランティア活動の推進などの事業を推進する。(再掲:272～281)	推進		○	
097 すくすく育児・サポート教室の充実(再掲:184)	推進			○
098 図書館での「おはなし会」等の催しの一層の充実、読み聞かせボランティアの育成、子どもの読書活動を推進する民間団体の支援(再掲:239)	推進		○	
099 「子ども文庫活動」「おもちゃライブラリー」等、子ども対象の地域ボランティア活動への支援	推進			○
100 子育て語り合いサロン・子育てイブニングサロン等の保護者同士や親子の交流の場づくりの促進(再掲:220)	推進			○
101 学校ふれあいサロン事業をはじめとする学校施設の地域開放の促進(再掲:220)	推進			○

ウ 働き方の見直し(仕事と育児の両立支援)

102 「子どもネットワーク」への企業等の参画と連携強化	《重点》			○
103 働き方の見直し・男性の育児参加に関する啓発事業の実施【新規】	《重点》			○

		平成20年度 実績		
		完了 (充実)	推進中 (継続)	着手前
104 企業等に対する次世代育成支援対策の推進に向けた子育て支援情報の提供【新規】	《重点》		○	
105 地域の子育て支援活動への企業・労働者の参加の促進【新規、再掲:092】	《重点》		○	
106 保育所や学童クラブ事業などの保育サービスの一層の充実(再掲:122～138、274)	《重点》	○		
107 各種イベントでの啓発活動の実施	推進		○	
108 子育て支援シンポジウムの開催(再掲:065)	推進		○	
109 勤労者情報システム「さわやかわーく」の充実	推進		○	

(3) 子どもの生活環境の整備

110 「ユニバーサルデザイン」の理念に基づき、子育てしやすい生活環境の整備【新規】	《重点》	○		
111 児童館の整備の推進(再掲:272)	《重点》	○		
112 宝が池公園「新・子どもの楽園」の整備	《重点》	○		
113 都市公園の整備	推進		○	
114 ちびっこ広場の運営助成	推進		○	
115 児童厚生施設「桂坂野鳥遊園」の運営	推進		○	
116 保育所・幼稚園などの子育て支援施設の地域への開放の一層の推進(再掲:132、217、218)	推進		○	
117 公共的施設に授乳コーナーやベビールーム、トイレ内ベビーシート等の設備の拡充	推進		○	
118 公共的施設や公的な催し、会議等に保育コーナーを設置	推進		○	
119 子育て世帯、中堅ファミリー世帯向けの住宅供給の促進	推進		○	
120 多様な世代のニーズに対応した市営住宅等の供給	推進		○	
121 シックハウス等の住まいの衛生対策として情報提供や実態調査等の実施	推進		○	

(4) 子育てに必要な経済的負担のあり方

(5) 多様で柔軟な保育サービスの提供

ア 保育所待機児童の解消

122 施設整備による保育所定員の拡大	《重点》		○	
123 一時保育の拡大(再掲:129)	《重点》	○		
124 保育所定員の調整	推進	○		
125 定員弾力化による受入児童数の推進	推進		○	
126 昼間里親事業の推進	推進		○	

イ 多様な保育サービスの提供

127 延長保育の拡大	《重点》	○		
128 時間延長の拡充	《重点》		○	

		平成20年度 実績		
		完了 (充実)	推進中 (継続)	着手前
129 一時保育の拡大	《重点》	○		
130 休日保育の拡大	《重点》		○	
131 障害やアレルギー疾患のある等配慮を要する児童の保育の充実	《重点》		○	
132 保育所、昼間里親における地域子育て支援施策の充実	《重点》		○	
133 低年齢児保育の推進	推進		○	
134 夜間保育事業の推進	推進		○	
135 保育所関係職員の研修の充実	推進		○	
136 認可外保育施設に対する指導の強化	推進		○	
137 乳幼児健康支援デイサービス事業(再掲:194)	推進		○	
138 「保育フェスタ」の実施	推進		○	

(6) ひとり親家庭の自立促進

139 母子家庭の母親等の就労支援	《重点》		○	
140 母子生活支援施設の整備【新規】	《重点》		○	
141 母子福祉センターの再整備【新規】	《重点》	○		
142 関係機関の連携とドメスティック・バイオレンス被害者への自立支援【新規】	《重点》		○	
143 保育所や昼間里親の定員の拡大による入所しやすい環境づくりの推進(再掲:122~126)	推進		○	
144 延長保育、一時保育、休日保育といった多様で柔軟な保育サービスの充実(再掲:127~130)	推進		○	
145 子育て支援短期利用事業の実施施設の拡大と事業内容の拡充(再掲:074)	推進		○	
146 学童クラブ事業の拡充(再掲:274)	推進		○	
147 乳幼児健康支援デイサービス事業の推進(再掲:194)	推進		○	
148 ファミリーサポート事業の推進(再掲:074)	推進		○	
149 小規模分園型(サテライト型)母子生活支援施設の設置について検討	推進			○
150 公営住宅優先入居に関する情報提供の推進	推進		○	
151 ひとり親家庭日常生活支援事業の充実【新規】	推進		○	
152 ひとり親家庭生活支援事業の父子家庭を中心とした拡充(生活支援講習会等事業の検討、ひとり親家庭情報交換事業の拡大)	推進			○
153 ひとり親家庭(特に父子家庭)の相互交流の促進	推進			○
154 就業相談から就職情報の提供までより効果的に実施するため、就業・自立支援センターとの体制及び機能の充実【新規】	推進		○	
155 公共職業安定所等関係機関との連携の強化	推進		○	
156 各種施策情報の提供と利用援助の推進(特に公共職業訓練及び雇用促進施策等)	推進		○	

		平成20年度 実績		
		完了 (充実)	推進中 (継続)	着手前
157 就職セミナー、就業支援講習会事業及び特別相談の推進	推進		○	
158 自立支援教育訓練給付金事業及び高等技能訓練促進費事業の推進【新規】	推進		○	
159 母子寡婦福祉資金貸付金の活用(技能習得資金、修業資金及び生活資金)	推進		○	
160 母子家庭の母等の就業に関する企業等の理解と協力を求める求人開拓を行うなど、就職促進活動の推進	推進		○	
161 児童扶養手当、母子寡婦福祉資金等の各種制度施策情報の周知徹底	推進		○	
162 母子寡婦福祉資金制度のより効果的な運用	推進		○	
163 養育費に関する啓発活動の実施	推進		○	
164 養育費の確保に関する情報提供と特別相談(法律相談)の推進	推進		○	
165 母子家庭等医療費支給制度の推進	推進		○	
166 奨学金、生活保護等関係制度施策についての情報提供の推進	推進		○	
167 福祉事務所職員等の研修の充実等と資質の更なる向上	推進		○	
168 ひとり親家庭にかかる関係機関の連携の強化(福祉事務所、母子福祉センター、就業・自立支援センター、母子生活支援施設、婦人相談所、配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所)等)	推進		○	
169 福祉事務所等関係機関のドメスティック・バイオレンスについての理解と適切な対応の実施に向けた研修の充実	推進		○	
170 ホームページ、パンフレット等を活用した情報の発信と啓発の実施	推進		○	

第3章 子どもを安心して生み健やかに育てることのできるまちづくり

(1) 思春期のこころとからだの健康づくり

		平成20年度 実績		
		完了 (充実)	推進中 (継続)	着手前
171 思春期の性に関する教育の推進	《重点》		○	
172 性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒に関する正しい情報提供の充実	《重点》		○	
173 思春期の健康づくりに関する教育	推進		○	
174 思春期のこころの健康に関する取組の推進	推進		○	
175 思春期に関わる関係機関の連携の強化	推進		○	

(2) 安心して妊娠・出産できる環境づくり

176 不妊への支援の充実	《重点》		○	
177 マタニティブルーズ、産後うつ病の早期発見と対応の充実	《重点》	○		
178 妊産婦の健康の保持増進のための支援	推進	○		

		平成20年度 実績		
		完了	推進中 (充実)	着手前 (継続)
179	妊娠、出産、産後に生じる様々な不安、ストレスの軽減や解消	推進	○	
180	妊娠婦に優しい環境づくりの推進【新規】	推進		○
181	出産について妊婦や家族が望む出産ができるような情報の提供	推進		○
182	妊婦への歯科相談、歯科健診の受診勧奨	推進		○

(3) 子どもの健やかな発達と育児不安を軽減するための支援

183	乳幼児健康診査未受診者等養育上の問題を抱える家庭への支援【新規、再掲:006】	《重点》		○	
184	すぐすぐ育児・サポート教室の充実	《重点》		○	
185	乳幼児健康診査の充実	《重点》		○	
186	必要な育児情報の提供	推進		○	
187	母親の心身の健康の確保	推進		○	
188	父親の育児参加の推進	推進		○	
189	親子のふれあいの機会や場の提供	推進		○	
190	望ましい食べる力を育むための環境づくり【新規、再掲:295～298】	推進		○	
191	乳幼児期の歯科相談の充実【新規】	推進		○	

(4) 子どもが健やかに育つための安全な環境づくり

192	小児救急医療体制の充実	《重点》		○	
193	子どもの事故防止に関する取組の充実【新規】	《重点》		○	
194	病気回復期の子どもを持つ親への育児支援の充実	《重点》		○	
195	難病等慢性疾患や障害のある子どもの療養生活の支援	《重点》		○	
196	乳幼児突然死症候群(SIDS)予防の推進	推進		○	
197	予防接種の取組の推進	推進	○		
198	応急手当の知識、技能の普及の推進	推進		○	

(5) 子どもの安全な生活が確保される安心してくらせるまちづくり

199	子どもの交通安全を確保するための活動の推進	《重点》		○	
200	子どもの安全を含む地域の総合的なネットワークづくり【新規】	《重点》		○	
201	市公用車「安心・安全のあたたかいまなざしプロジェクト」の推進【新規】	推進		○	

第4章 次代を担う子どもたちが心豊かに生きる力をはぐくむことができるまちづくり

(1) 生きる力をはぐくむ教育環境づくり

ア 開かれた学校づくりと地域ぐるみ・市民ぐるみの教育の推進

	202 人づくり21世紀委員会 203 まち全体を学びと育ちの場とする「みやこ子ども土曜塾」【新規】 204 学校運営協議会【新規】 205 学校評議員制度と学校評価システム 206 保・幼・小・中連携の推進【新規】 207 学校支援ボランティア 208 大学との連携による学生ボランティア学校サポート事業 209 地域生徒指導連絡協議会	《重点》	平成20年度 実績		
			完了	推進中 (充実) (継続)	着手前
202 人づくり21世紀委員会	《重点》			○	
203 まち全体を学びと育ちの場とする「みやこ子ども土曜塾」【新規】	《重点》			○	
204 学校運営協議会【新規】	《重点》			○	
205 学校評議員制度と学校評価システム	《重点》			○	
206 保・幼・小・中連携の推進【新規】	《重点》			○	
207 学校支援ボランティア	《重点》			○	
208 大学との連携による学生ボランティア学校サポート事業	《重点》			○	
209 地域生徒指導連絡協議会	推進			○	

イ 子どもたちの安全の確保

210 京都市子ども安全会議の設置【新規】	《重点》			○	
211 子どもの安全を含む地域の総合的なネットワークづくり【新規、再掲:200】	《重点》			○	
212 子どもたちのインターネット等の「活用指針」検討プロジェクト	《重点》	○			
213 「子ども110番のいえ」の活用	推進			○	
214 関係機関・団体と提携しての「安全マップ」の充実	推進			○	

ウ 家庭への働きかけ

215 「おやじの会」	《重点》			○	
216 子育てサポーター養成事業	《重点》			○	
217 地域に開かれた子育て支援推進事業	《重点》			○	
218 地域子育て相談事業	《重点》			○	
219 私立幼稚園の保護者等の負担軽減	《重点》	○			
220 家庭の教育力向上サポートチーム	推進	○			
221 行動するPTA(京都市PTA連絡協議会)	推進			○	
222 溫もりのある地域社会づくり推進事業	推進			○	

エ 乳幼児の子育て支援の総合推進拠点「こどもみらい館」における施策推進

223 乳幼児の子育て支援に関する専門的な調査・研究、子育て支援のための人材育成機能の拡充	《重点》			○	
224 親教育プログラムの開発と体系化【新規】	《重点》		○		
225 子育て支援ボランティアの育成	《重点》			○	
226 乳幼児子育てサポート推奨制度の創設【新規】	《重点》			○	

			平成20年度 実績		
			完了	推進中 (充実) (継続)	着手前
227 「子育てサポート推進チーム(仮称)」の創設【新規】	《重点》	○			
228 他都市の子育て支援中核施設との共同連絡会議の設立【新規】	《重点》			○	
229 乳幼児の子育て支援の道標としての役割を果たす研究機能の充実	推進			○	
230 共同機構研修事業の充実	推進			○	
231 子育て支援ボランティアの養成と子育てサークルへの支援	推進			○	
232 子育ての悩みや不安を持つ保護者のための総合的な相談事業の推進	推進			○	
233 子育て不安の解消や仲間づくりをも視野に入れた「子育て講座」の開催	推進			○	
234 子育て図書館による絵本、お話をふれあう機会づくりの推進	推進			○	
235 的確な子育て情報の発信(情報誌、インターネット、イベントなど)	推進			○	

オ 確かな学力と豊かな創造性をもつ子どもたちの育成

236 「学習指導ステップアップ大綱」の推進【新規】	《重点》			○	
237 小中一貫教育の推進	《重点》		○		
238 「理科好きな子ども」の育成をめざす理科教育の推進	《重点》			○	
239 「本好きな子ども」を育む「子ども読書活動推進計画」の推進	《重点》		○		
240 実践を通して環境の大切さを学ぶ環境教育の推進	《重点》		○		
241 国際都市京都に相応しい小学校からの英語教育の推進	《重点》		○		
242 時代のニーズに即応したIT教育・起業家教育の推進	《重点》			○	
243 人権尊重の精神や生命に対する畏敬の念を培う道徳教育の振興	《重点》			○	
244 総合育成支援教育の推進(再掲:033)	《重点》		○		
245 特色ある学校づくりの新たな教育課題に挑戦する「みやこ学校創生事業」	推進	○			
246 「研究会テスト」を発展・充実させた「学力定着調査」	推進			○	
247 伝統と文化を理解・尊重し、継承する子どもたちの育成を目指す伝統文化教育の推進	推進			○	
248 人権の大切さを理解し人権尊重を規範とした日常の行動がとれる子どもたちの育成を目指す人権教育の推進	推進			○	

カ 心身ともに健全でたくましい子どもたちの育成

249 不登校生徒のための「洛風中学校」創設【新規】	《重点》	○			
250 休日地域児童スポーツクラブの創設【新規】	《重点》			○	
251 こども専用体育館の建設【新規】	《重点》	○			
252 地産地消(知産知消)推進プロジェクト【新規】	《重点》			○	
253 スクールカウンセラーモードの充実	《重点》			○	
254 エイズ教育、薬物乱用防止対策	《重点》		○		

	完了	平成20年度 実績		着手前
		(充実)	(継続)	
255 中学生の「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業	推進		○	

キ 魅力ある高校づくりの推進

256 生徒の進路希望実現に向けた取組	《重点》		○	
257 新学科と中高一貫教育の推進 西京高校・西京高校附属中学校【新規】	《重点》		○	
258 市立高校改革のパイロット校 堀川高校	推進		○	
259 豊かな国際センスとコミュニケーション能力の涵養 紫野高校	推進		○	
260 「ものづくり」のスペシャリストの育成 洛陽工業高校	推進		○	
261 京都市スーパー・ハイスクールの指定 ~塔南・日吉ヶ丘・伏見工業高校~	推進		○	
262 全国唯一の公立美術工芸科単独高校 銀駒美術工芸高校	推進		○	
263 全国唯一の公立音楽科単独高校 音楽高校	推進		○	
264 定時制教育の取組	推進		○	

ク 子どもたちを取り巻く教育環境の整備

265 小・中学校での30人学級の導入【新規】	《重点》		○	
266 小・中学校普通教室冷房化推進【新規】	《重点》	○		
267 全校校内LAN整備【新規】	《重点》	○	←	
268 教員評価システムの構築【新規】	《重点》		○	
269 NPOとの連携による小学校の校庭の芝生化の推進	推進		○	
270 学校施設の耐震診断・耐震補強の推進	推進		○	
271 教育実践功績表彰	推進		○	

(2) 子どもの健全育成のための環境づくり

272 一元化児童館の整備	《重点》		○	
273 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業の実施【新規, 再掲:083】	《重点》		○	
274 学童クラブ事業の充実	《重点》		○	
275 中高生と赤ちゃんふれあい交流事業の充実【新規】	《重点》		○	
276 児童館の事業内容の充実を図るため、「京都市児童館活動指針」のより一層の推進	推進		○	
277 児童館における障害のある児童の受入促進	推進		○	
278 児童館における自由来館機能の強化	推進		○	
279 児童館における土曜日及び学校長期休業中の事業充実	推進		○	
280 幼児クラブ及び母親クラブ等地域組織活動のネットワーク化【新規】	推進		○	
281 「やんちゃフェスタ」の実施	推進		○	

		平成20年度 実績		
		完了	推進中 (充実)	着手前 (継続)
(3) 青少年の自主性と創造力をはぐくむまちづくり	282 中高生の居場所づくり推進事業	《重点》		○
	283 青少年活動センターにおける青少年の自主的活動・社会参加活動の支援	《重点》		○
	284 青少年の意見を市政やまちづくりに反映する場の設置	推進		○
	285 ボランティア活動の推進	推進		○
	286 市民活動総合センターを拠点とした青少年の活動等の推進	推進		○
	287 国際的な視野を培う機会の充実	推進		○
	288 地域社会への参加の促進	推進		○
	289 地域における様々な団体の連携の促進	推進		○
	290 指導者の養成	推進		○
	291 問題行動を未然に防ぐ積極的な施策の推進	推進		○
	292 問題行動を防止する地域の取組の推進	推進		○
	293 総合的な相談体制の構築	推進		○
	294 中高生と赤ちゃんふれあい交流事業の充実(再掲:275)	推進	○	

(4) 望ましい食べる力をはぐくむための環境づくり

		《重点》	○		
295 京(みやこ)・食育行動指針(仮称)の策定【新規】	《重点》	○			
296 わくわく京(みやこ)・食探検ガイド(仮称)の作成と普及啓発【新規】	《重点》			○	
297 地産地消(知産知消)推進プロジェクト会議【新規, 再掲:252】	《重点》			○	
298 発育・発達段階に応じた食育	推進			○	

		完了	推進中 (充実)	着手前 (継続)	着手前
重点施策 実数 (再掲項目を除いた実数)	102	9	21	72	0
進捗率	100.0%	8.8%	20.6%	70.6%	0.0%
推進施策 実数 (再掲項目を除いた実数)	130	2	7	118	3
進捗率	97.7%	1.5%	6.1%	90.8%	2.3%
施策実数 合計 (再掲項目を除いた実数)	232	11	28	190	3
進捗率	98.7%	4.7%	12.1%	81.9%	1.3%

重点施策 延べ数	131	10	31	90	0
推進施策 延べ数	167	2	15	147	3
施策延べ数 合計	298	12	46	237	3

(備考)

平成19年度進ちょく状況報告書から、実施区分の定義を見直し、次のとおりとしました。

完了: 施策目的を達成し、取組を終えたもの
推進中(充実): 当該年度内に充実を図ったもの(前年度「着手前」であったものを含む。)
推進中(継続): 前年度とおおむね同様の内容で取組を推進したもの
着手前: 着手前のもの

新「京(みやこ)・子どもいきいきプラン」に掲げた施策の進ちょく状況(施策別詳細)

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	-----

1 子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり

(1) 市民・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり

35

(2) 子どものいのちと人権を守るネットワーク、虐待防止対策

38

《重点》	001	子どものいのちと人権を守るネットワークの充実	推進中 (充実)	<p>子どもの人権を守り、家庭での子育てを総合的・一体的に支援するため、重層的なネットワークを構築しています。</p> <p>＜全市レベル＞</p> <p>児童福祉センター、こどもみらい館、こども相談センター・パトナ、京(みやこ)あんしんこども館が総合的かつ専門的な機能を生かしてネットワークの中核施設としての事業を進めるとともに、子どもと家庭に関わる行政、民間の関係機関・団体等による京都子どもネットワーク連絡会議を設置し、子育て支援を総合的に推進するための連絡調整を行っています。</p> <p>京都子どもネットワーク連絡会議 ⑯全体会1回、進捗管理部会1回、京都市機関連絡推進会議1回、課題別検討会議2回開催</p> <p>＜行政区レベル＞</p> <p>子ども支援センター及び保健所を拠点として総合相談・区域内関係機関のネットワークの構築、情報発信等を行っています。</p> <p>＜地域レベル＞</p> <p>地域子育て支援ステーション指定箇所数 ⑯160箇所 → ⑰170箇所</p> <p>児童相談所における児童虐待相談・通告件数のうち関係機関からの相談・通告が占める割合 ⑯48% → ⑰47%</p>	子どもネットワーク運営、児童福祉センター(児童相談所)、子育て支援総合センターこどもみらい館 他	保健福祉局 教育委員会	児童家庭課、児童福祉センター こどもみらい館	40

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》 002	中核機関の連携強化と機能充実	推進中 (継続)	<p>児童福祉センター、こどもみらい館、こども相談センター・パトナ、京(みやこ)あんしんこども館等、子どもの人権問題をはじめとして子育てに関わる相談機能等を有する中核機関の連携、地域の子育て支援機関との連携を強化し、機能の充実に努めています。</p> <p>＜児童福祉センター＞ 各区で実施されている児童虐待防止三者協議会に児童相談所の行政区担当ケースワーカーが出席し、保健所、福祉事務所、児童相談所の三者で児童虐待に関するケース情報、処遇、処遇後の状況を共有しています。また、子ども支援センターの育児支援家庭訪問事業担当者会議に児童相談所の行政区担当ケースワーカーが出席し、指導及び助言等を行っています。</p> <p>＜子育て支援総合センター こどもみらい館＞ 乳幼児の子育て支援に関する事業の円滑かつ効果的な推進を図るために、こどもみらい館が実施する施策の調整及び情報交換などを行う「こどもみらい館推進会議」を設置し、公立・私立の保育所及び幼稚園の属する関係機関との連携を図っています。</p> <p>＜教育相談総合センター(こども相談センター・パトナ)＞ こども相談総合案内(電話ガイド)により、相談内容に応じて適切な相談機関を紹介しています。また、学校、PTA、大学、医療関係者、スクールカウンセラー、フリースクール、行政等が不登校の解決に向け連携し、支援事業を行う『児童生徒登校支援連携協議会』の取組を進めています。</p>	児童福祉センター、子ども保健医療相談・事故防止センター(京(みやこ)あんしんこども館)、子育て支援総合センター・こどもみらい館、教育相談総合センター(こども相談センター・パトナ)他	保健福祉局 教育委員会	児童家庭課、児童福祉センター、保健医療課 こどもみらい館、こどもパトナ	40
《重点》 003	児童福祉センターの体制再編と機能充実【新規】	推進中 (継続)	<p>○児童福祉センター組織改正(平成17年4月) ①児童相談所(非行等の要保護児童対策・虐待防止子育て支援部門) ②発達相談所(障害部門)※児童相談所支援課の障害児担当、知的障害者更生相談所及び総合療育所を再編 ○発達障害者支援センター開設(平成17年11月) ○児童福祉センターの体制強化(平成20年4月) ・児童相談所において、児童福祉司(1名)を増配置</p> <p>児童虐待の増加に対して適切な対応を図るとともに、自閉症等の発達障害を含む障害児等に対する相談及び療育を一元的に行うため、児童相談所支援課の障害児担当、知的障害者更生相談所及び総合療育所を再編し、平成17年4月に発達相談所を設置しました。また、自閉症児等は、知的障害が伴わない場合は福祉施策の対象となっていませんでしたが、児童福祉センター自閉症外来との連携のもと、相談、療育、就労支援及び啓発・研修を総合的に行う拠点として、平成17年11月に発達障害者支援センターを開設しました。さらに、平成20年4月には、児童相談所において職員の増配置を行うことにより、虐待や非行相談、発達相談など、児童に関する相談により的確な対応ができるよう、体制の強化充実を図りました。</p>	児童福祉センター(児童相談所、発達相談所、情緒障害児短期治療施設「青葉寮」、児童療育センター)	保健福祉局	児童福祉センター	40

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁	
《重点》	004 子ども支援センターの機能充実	推進中 (継続)	<p>行政区内在における子どもとその家庭に対する支援ネットワークの拠点として、各区役所・支所福祉部(福祉事務所)に「子ども支援センター」を設置し、専任職員による子育てに関する総合相談や区域内の関係機関のネットワークの構築、情報発信等に取り組んでいます。</p> <p>また、必要に応じて、定期的な家庭訪問により育児の助言等を含めた相談援助を行う、「育児支援家庭訪問事業」を実施しています。</p> <p>子ども支援センターにおける年間延べ相談件数 ⑨1,773件 → ⑩1,890件</p>	子どもネットワーク運営(子ども支援センター)	保健福祉局	児童家庭課	41	
《重点》	005 地域子育て支援ステーションの設置の拡大(再掲:055)	推進中 (充実)	(再掲:055)				41	
《重点》	006 育児支援家庭訪問事業の実施【新規】	推進中 (継続)	<p>子どもの養育について支援を必要としながらも自ら支援を求める家庭(新生児等訪問指導未希望者、乳幼児健診未受診者等)に対し、子ども支援センター又は保健所の専門職員が家庭訪問等による積極的な援助活動を行っています。</p> <p>訪問延べ回数 ⑨2,834件 → ⑩3,312件</p>	育児支援家庭訪問事業	保健福祉局	児童家庭課、保健医療課	41	
《重点》	007 被虐待児をはじめとする子どもたちの自立に向けた支援施策の充実(再掲:015)	推進中 (継続)	(再掲:015)				41	
《重点》	008 ドメスティック・バイオレンスに対する関係機関との連携強化と支援の充実	推進中 (継続)	<p>関係機関、NPO等との連携を更に強化するとともに、民間シェルター等への支援を行うなど、配偶者等からの暴力による被害者の支援に取り組みました。</p> <p>また、インターネットを通じたアンケート調査を実施したほか、各相談窓口でのアンケート調査を実施しました。</p> <p>京都市域の女性への暴力に関するネットワーク会議 ⑩4回(うち1回は事例検討会)</p> <p>同ネットワーク会議との共催によるシンポジウム開催 ⑩10月30日 参加者172人</p> <p>DV被害者支援ボランティア入門講座開催 ⑩講座5回、見学会2回、受講者20人</p> <p>民間シェルターへの助成 ⑩1団体</p> <p>母子家庭・DV被害者等のための自立支援パソコン講座開催 ⑩全10回、受講者15人</p> <p>ウイングス京都において、女性に対する暴力専門相談を実施</p> <p>「インターネットアンケート調査」を実施</p> <p>期間:10月1日～12月31日</p> <p>有効回答数:108人</p> <p>「相談窓口アンケート調査」</p> <p>期間:平成20年8月から継続的に実施</p> <p>有効回答数:⑩45人</p> <p>平成13年10月に配偶者暴力防止法が施行され、DVケースに関する一時保護については都道府県の事務とされました。京都市ではそれ以降も緊急一時保護を実施し、市内2箇所の母子生活支援施設において、一時保護された世帯に対して生活費、施設に対して施設利用料を支給しています。</p>	女性に対する暴力の防止に関する取組、男女共同参画センター(ウイングス京都)	文化市民局	男女共同参画推進課	41	
					母子生活支援施設	保健福祉局	児童家庭課	41

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 009	妊娠婦の健康の保持増進のための支援(再掲:178)	推進中 (充実)	(再掲:178)				41
推進 010	乳幼児健康診査の充実(再掲:185)	推進中 (継続)	(再掲:185)				41
推進 011	母親の心身の健康の確保(再掲: 187)	推進中 (継続)	(再掲:187)				41
推進 012	子育て相談事業	推進中 (充実)	<p>児童福祉センター、こどもみらい館、こども相談センター・パトナ、京(みやこ)あんしんこども館、子ども支援センター、保健所、保育所、幼稚園、児童館など、子育て支援機関による相談事業を推進しています。</p> <p>児童福祉センター(児童相談所)相談受理件数 ⑯6,139件→⑰7,260件 子育て支援総合センターこどもみらい館相談件数 ⑯3,475件→⑰3,845件 教育相談総合センター(こども相談センター・パトナ)来所相談件数 ⑯延17,776人 件→⑰延17,055人 件 京(みやこ)あんしんこども館相談件数 ⑯1,219件→⑰1,379件 子ども支援センター年間相談受付件数 ⑯1,773件→⑰1,890件 地域子育て支援ステーション(保育所、児童館)相談件数 ⑯5,805件→⑰7,866件 (地域子育て支援ステーション指定箇所数 ⑯160箇所→⑰170箇所)</p>	児童福祉センター、子ども保健医療相談・事故防止センター(京(みやこ)あんしんこども館)、子育て支援総合センターこどもみらい館、教育相談総合センター(こども相談センター・パトナ) 他	保健福祉局 教育委員会	児童家庭課、 保育課、児童 福祉セン ター、保健医 療課 教育総務課、 こどもみらい 館、こどもパ トナ	42
推進 013	自立援助ホームへの運営補助	推進中 (継続)	(再掲:020)				42

(3) 養護等が必要な子どもの福祉

《重点》 014	乳児院や児童養護施設等における個別的なケアの充実【新規】	推進中 (継続)	心理療法担当職員の常勤化、家族療法事業の対象施設拡大など、支援体制が強化されました。	児童福祉施設措置費	保健福祉局	児童家庭課	46
-------------	------------------------------	-------------	--	-----------	-------	-------	----

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》 015	被虐待児をはじめとする子どもたちの自立に向けた支援施策の充実	推進中 (継続)	<p>児童養護施設退所児童や不登校・不就労の子どもたちの自立支援の場である「自立援助ホーム」への運営補助や、児童養護施設入所児童に対する個別的ケア、自立支援のための職員配置等を行っています。また、財団法人による施設退所児童への生活自立支援金の給付事業等の協力も受けています。</p> <p>自立援助ホーム入所児童年間延べ人数(各月1日付け入所児童数基準) ⑯74人 →⑰95人</p>	自立援助ホーム運営補助、児童福祉センター(児童相談所)	保健福祉局	児童家庭課、児童福祉センター	46
《重点》 016	児童福祉センターの体制再編と機能充実【新規、再掲:003】	推進中 (継続)	(再掲:003)				46
《重点》 017	ショートステイ、トワイライト事業の充実(再掲:074)	推進中 (継続)	(再掲:074)				46
《重点》 018	子どものいのちと人権を守るネットワークの充実(再掲:001)	推進中 (充実)	(再掲:001)				46
推進 019	施設職員の専門性の向上	推進中 (継続)	<p><児童福祉センター></p> <p>児童福祉センター内職員研修 ⑯22件(延べ482人が参加) 児童相談所、発達相談所診療部門・療育部門等における定期的な研修の実施</p>	児童福祉センター(児童相談所、発達相談所、情緒障害児短期治療施設「青葉寮」、児童療育センター)他	保健福祉局	児童家庭課、児童福祉センター	47
推進 020	自立援助ホーム運営補助	推進中 (継続)	<p>児童養護施設退所児童や不登校・不就労の子どもたちの自立支援の場である「自立援助ホーム」に対し、その運営に必要な人件費及び事業費の補助を行っています。</p> <p>自立援助ホーム入所児童年間延べ人数(各月1日付け入所児童数基準) ⑯74人 →⑰95人 自立援助ホームに対する負担金及び補助金 ⑯18,476千円→⑰18,654千円</p>	自立援助ホーム運営補助	保健福祉局	児童家庭課	47

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 推進	021 専門里親や週末里親等の拡充	推進中(継続)	被虐待児童等専門的な処遇を必要とする児童を家庭的な雰囲気の中で養育し精神的な支援を行うため、要保護児童の委託先である里親のうち特に専門里親を養成しています。専門里親研修は、(社)恩賜財団母子愛育会に委託しています。 専門里親研修の受講者数 ⑯1人→⑰3人 週末里親研修 ⑰年間 1件、延べ参加人数8人 週末里親委託数 ⑯10件→⑰8件	児童虐待対策の充実(専門里親制度) 他	保健福祉局	児童家庭課、児童福祉センター	47
推進	022 少年非行対策	推進中(継続)	少年非行に関わる相談機関や関係団体と連携し、家庭・地域との協力による非行の防止や早期対応に取り組んでいます。 児童相談所における 触法及びぐるみ相談受理件数 ⑯246件→⑰285件 児童福祉法第27条第1項第4号(家裁送致)送致件数 ⑯3件→⑰14件	児童福祉センター(児童相談所)	保健福祉局	児童福祉センター	47
推進	023 地域生徒指導連絡協議会の取組の推進(再掲:209)	推進中(継続)	(再掲:209)				47
推進	024 青少年に対する総合的な相談体制の構築(再掲:293)	推進中(継続)	(再掲:293)				47
推進	025 性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒に関する正しい情報提供の充実(再掲:172)	推進中(継続)	(再掲:172)				47

(4) 障害や疾病等で支援が必要な子どもの福祉

《重点》	026 自閉症・発達障害者支援センターの設置【新規】	推進中(継続)	児童福祉センター自閉症外来との密接な連携のもと、自閉症等の発達障害のある方に対する支援を総合的に行う地域の拠点として、平成17年11月に「京都市発達障害者支援センター(愛称:かがやき)」を開設しました。 ①発達支援、②相談支援、③就労支援、④普及啓発・研修の4つを柱に事業を展開しています。 平成20年度実績 ①実支援人数:96人 ②実支援人数:563人 ③実支援人数:28人 ④研修実施回数:60回 平成20年度は第5回京都市発達障害者支援連携協議会を開催しました。(3月)	発達障害者支援センター(かがやき)	保健福祉局	障害保健福祉課、児童福祉センター	50
------	----------------------------	---------	---	-------------------	-------	------------------	----

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
《重点》	027 障害のある子どもたちへの地域における相談体制の充実	推進中(継続)	<p>在宅心身障害児(者)療育支援事業により、障害児(者)に対する療育に係る相談や訪問による療育指導、施設職員等に対する療育技術の指導を行いました。</p> <p>また、障害者地域生活支援センター、福祉事務所や支援学校等の地域における関係機関による会議を開催するなど、障害のある児童への相談支援体制の充実に努めました。</p> <p>さらに、障害児の支援が円滑に行われるよう、障害のある就学前の児童の療育を行う「ののはな教室」を開設し、障害の早期発見のための療育器具を保健所に整備しました。</p>	障害者地域生活支援センター運営事業 他	保健福祉局	障害保健福祉課	50
《重点》	028 育児支援家庭訪問事業【新規、再掲:006】	推進中(継続)	(再掲:006)				50
《重点》	029 居宅介護等事業(ホームヘルプサービス)の充実	推進中(継続)	<p>入浴介助や排泄介助、食事介助等のホームヘルパーを派遣することにより、障害のある子どもとその家族の日常生活を支援し、福祉の向上を図りました。また、外出時に支援を要する障害のある子どもに対して、ガイドヘルパーを派遣することにより、障害のある子どもの社会参加を促進しました。なお、平成18年10月以降については、障害者自立支援法の施行により、ガイドヘルパーの派遣は地域生活支援事業に位置付けられています。</p> <p>年度末現在支給決定者数 ⑩居宅介護等 2,429人 移動支援 3,562人 年間派遣活動時間数 ⑩ 1,385,803.5時間</p>	障害児者ホームヘルプサービス(家庭奉仕員)	保健福祉局	障害保健福祉課	50
《重点》	030 児童デイサービス等の充実	推進中(充実)	<p>障害のある乳幼児及びその保護者に対して、日常生活動作訓練や集団適応訓練等を行うことにより、障害のある子どもの発育を促すとともに保護者に対して、家庭における育児方法の助言を行う児童デイサービス事業について、平成20年4月から、「和(なかよし)」が事業を開始しました。</p> <p>このほか、重症心身障害児(者)に対し、その発達や身体機能の維持を図るために、通園の方法により日常生活動作、運動機能等の訓練を行うとともに、保護者に対して、家庭における療育技術に関する助言を行う重症心身障害児(者)通園事業を実施しました。</p> <p>児童デイサービス、重症心身障害児(者)通園事業のサービス提供事業所数 ⑯9箇所 → ⑩10箇所</p>	重症心身障害児(者)通園事業	保健福祉局	障害保健福祉課	51
《重点》	031 短期入所(ショートステイ)事業の充実	推進中(継続)	<p>在宅の重度障害のある子どもを介護している家族などが疾病その他の理由により、介護できなくなった場合に、一時的に子どもを施設に受け入れることにより、在宅の重度障害のある子どもや家族の福祉の向上を図りました。</p> <p>利用定員の総数 ⑯30人→⑩34人</p>	短期入所事業	保健福祉局	障害保健福祉課	51

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
《重点》	032 障害児タイムケア事業(仮称)の実施の検討【新規】	推進中(継続)	<p>総合支援学校の放課後や長期休業中において、障害のある中高生にいきいきと過ごせる活動場所を確保し、障害のある中高生の健全な育成と保護者の就労を支援するため、小学校の教室を利用した預かりサービスである「障害のある中高生のタイムケア事業」を、市内4箇所で実施しました。</p> <p>○対象者 総合支援学校(地域制)に通学する屋間留守家庭の中学生及び高校生</p> <p>○実施日時及び利用料金 月曜日～金曜日 放課後～午後6時：800円 土曜日及び長期休業中 午前9時～午後6時：1日(9時間)1,500円、半日(4時間)800円</p> <p>利用者数 ⑯43人 → ⑰92人</p>	障害のある中高生のタイムケア事業	保健福祉局	障害保健福祉課	51
《重点》	033 総合育成支援教育の推進	推進中(充実)	<p>＜総合支援学校での教育＞ 障害種別を超えて児童生徒一人一人の障害の状況や発達段階に応じた多種多様なニーズに応える教育を行うとともに、総合支援学校7校に設置している「育(はぐくみ)支援センター」において地域の小中学校等をはじめ、地域に居住する障害のある幼児児童生徒への支援も積極的に進めています。(20年度相談件数:約2,000件)</p> <p>⑰総合育成支援教育ボランティア事業:総合育成支援教育ボランティア養成講座(全5回講座)を地域制4校の「育支援センター」で2期に分けて開催(173人が修了)。修了者による市立学校でのボランティア活動を促進しました。(20年度活動者:48名)</p> <p>＜小・中学校等での教育＞ 育成学級を236校429学級設置(平成20年度)。必要な学校には100%設置しています。 また、LD等通級指導教室を16校から22校へ拡大するとともに、平成20年10月から普通学級に在籍するLD等の発達障害や肢体不自由等の子どもたちに対し、学習指導の補助や学校生活上の介助等を行う「総合育成支援員」の配置を開始し、必要な幼稚園、小中高等学校すべてに配置しました。(20年度実績:233校園、311名)</p>	総合育成支援教育ボランティア事業の推進、総合支援学校デュアルシステムの推進、育成学級の設置・推進、総合育成支援員の配置	教育委員会	総合育成支援課	51
推進	034 京都市子ども保健医療相談・事故防止センター「京(みやこ)あんしんこども館」の運営(再掲:193)	推進中(継続)	(再掲:193)				52
推進	035 早期発見のための各種スクリーニング検査等の実施	推進中(継続)	<p>＜児童福祉センター＞ 就学前の発達検査実施件数 ⑯1,497件→⑰1,835件→⑱1,979件 そのうち知的障害 ⑯840件→⑰1,079件→⑱1,161件 自閉症スペクトラム障害の疑い等 ⑯754件→⑰894件→⑱1,125件</p> <p>＜その他＞ 先天性代謝異常検査実施件数 ⑯14,521件→⑰14,779件</p>	児童福祉センター(児童相談所、発達相談所、情緒障害児短期治療施設「青葉寮」、児童療育センター)、先天性代謝異常等検査	保健福祉局	児童福祉センター、保健医療課	52

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 推進	036 障害のある児童の保育の充実	推進中(継続)	<p>京都市では、障害のある児童と障害のない児童が一緒に活動し、共に育ち合うことをを目指す統合保育形態を採用しており、肢体不自由・知的障害等の障害のある児童をほぼ全保育所で受け入れています。</p> <p>障害児保育実施箇所数(障害児の入所している保育所数) ⑯200箇所→⑰208箇所 障害児保育児童数 ⑯695人→⑰706人</p>	障害児保育対策	保健福祉局	保育課	52
推進	037 幼稚園における総合育成支援教育の充実	推進中(充実)	<p>育支援センターと連携した取組を推進するとともに、管理職を含む教職員研修の充実、LD等の発達障害のある子どもの実態把握、支援のあり方の研究を進めました。</p> <p>また、全幼稚園に総合育成支援教育主任及び総合育成支援教育委員会を設置するとともに、「総合育成支援員」を6園に6名配置し、より一層の支援体制の充実を図りました。</p>	育支援センターの取組推進、総合育成支援員の設置	教育委員会	総合育成支援課	52
推進	038 障害のある子どもの早期からの教育相談と就学相談・指導の充実	推進中(継続)	保護者同意を原則として、学校での教育相談、就学指導委員会での就学相談、学校での就学指導と子どもの障害の状況にあつた就学指導に取り組みました。(⑩就学相談15回開催)	京都市就学指導委員会の運営	教育委員会	総合育成支援課	52
推進	039 訪問教育の充実	推進中(継続)	障害の程度が重く医師が通学困難と認めた者や障害の状態や特性等により訪問での教育が適切と考えられる児童生徒、長期入院や退院後家庭療養を要するときされた児童生徒に対して、教員が週3回2時間ずつ自宅を訪問し、指導を行っています。	総合支援学校の運営	教育委員会	総合育成支援課	52
推進	040 交流教育の充実	推進中(継続)	「交流教育の手引き」を活用し、管理職研修や校内研修の充実を図っており、小・中学校の育成学級設置校では、校内交流を全校で実施しました。また、すべての総合支援学校においても学校間・居住地校交流を実施しました。	総合支援学校の運営、育成学級の運営	教育委員会	総合育成支援課	52

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 041	総合育成支援教育就学奨励費支給事業	推進中 (継続)	育成学級児童生徒に係る所得上限を要保護・準要保護基準よりも引き上げ、対象を拡大して実施しました。(20年度は615人を認定)	総合育成支援教育就学奨励費支給事業	教育委員会	調査課	52
推進 042	学童クラブ事業の充実(再掲:274)	推進中 (継続)	(再掲:274)				52
推進 043	子どもたちの「心の居場所」づくりの推進(再掲:253)	推進中 (継続)	(再掲:253)				52
推進 044	総合養護支援学校における進路指導の充実	推進中 (充実)	白河、鳴滝総合支援学校では、長期にわたる就業体験を通して、企業が求める実践的な技術・技能を習得するとともに、生徒一人一人の就職希望を実現するための新たな進路指導に取り組んでいます。平成17年度からは、授業と企業での長期的・計画的な実習を組み合わせ、学校で学んだことを企業で実際に体験する新たな職業教育「デュアルシステム」に取り組んでいます。 こうした取組の結果、両校の職業学科では、卒業生の企業等への就職率が3年連続100%を達成しました。また、高等部職業学科の定員拡大及び白河総合支援学校への新コース設置に向け、21年度募集定員を2校で12名拡大、60名としました。	総合支援学校デュアルシステムの推進、巣立ちのネットWORKの取組推進、障害のある市民の雇用フォーラムの開催	教育委員会	総合育成支援課	52
推進 045	総合養護支援学校におけるクックチル方式の導入による子どもたち一人一人の障害の実態や年齢に合った給食の充実	推進中 (継続)	安全衛生管理面で高い評価を得ているクックチル方式により、子どもの咀嚼・嚥下能力に応じ形状や柔らかさを3段階に調整した特別食や、アレルギー対応食、カロリー調整食など、子どもの障害に応じた給食を提供するほか、中学部、高等部では副食を増やすなど子どもの成長に応じた給食を実施しています。 ・20年度給食実施回数 年間197回	学校給食の充実	教育委員会	体育健康教育室	52
推進 046	福祉施設職員等の人材確保と育成	推進中 (継続)	福祉施設職員等の人材確保と育成を行うため、各施設への補助を行いました。 補助施設数 ⑯73施設 → ⑰75施設	民間社会福祉施設援護	保健福祉局	障害保健福祉課	52

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 推進	047 在宅福祉を支える人材育成	推進中(継続)	<p>在宅福祉を支える人材育成として、以下の事業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害ヘルパー研修事業 ⑯実績 1回 → ⑰実績 1回 ⑰研修修了者数 30名 ・視覚障害者ガイドヘルパー養成研修 ⑯実績 1回 → ⑰実績 1回 ⑰研修修了者数 93名 ・医療的ケア研修 ⑰実績 1回（新規事業） ⑰研修修了者数 42名 		保健福祉局	障害保健福祉課	52
推進	048 補装具等の交付・修理	推進中(継続)	<p>身体障害者手帳所持者に対し、義肢、装具、眼鏡、補聴器、車いす等補装具の交付及び修理を行いました。また、在宅の重度障害者及びその介護者の経済的負担を軽減するため、国基準で定められている自己負担額を京都市独自に減免しました。（原則1割の利用者負担が必要ですが、京都市独自に月額負担上限額を国基準の1/2とする等、減額措置を講じています。）</p> <p>交付・修理件数(児童) ⑰665件</p>	補装具等の交付・修理、在宅自立支援給付費	保健福祉局	障害保健福祉課	52
推進	049 難病等慢性疾患や障害のある子どもの療養生活の支援(再掲:195)	推進中(継続)	(再掲:195)				52
推進	050 桃陽病院スクール事業	推進中(継続)	<p>アトピー・ぜん息スクール 6月25日(水) 参加者 8名 9月17日(水) 参加者 3名 肥満スクール 8月7日(木)(サマースクール) 参加者 23名 3月1日(日)(スプリングスクール) 参加者 8名</p>	桃陽病院	保健福祉局	桃陽病院	52

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	---------

2 次世代をはぐくむすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり

53

(1) 子育てを支え合える地域のネットワーク、情報発信

53

《重点》	051	子育てを支え合える地域のネットワークの充実	推進中(充実)	<p>子ども支援センターを行政区画内の子育て支援ネットワークの拠点として、平成11年9月に開設。①子どもと家庭に関する総合相談、②区域内の関係機関のネットワークづくり、③地域子育て支援ステーションへの支援、④児童相談所・保健所等関係機関との連携・協働による育児支援、⑤子育てに関する市民啓発・情報発信、⑥子育てに関する自主活動への支援、⑦人材の育成等の取組を進めています。</p> <p>また、身近な地域における相談・ネットワークの拠点として、小学校区を基礎単位に、保育所及び児童館を「地域子育て支援ステーション」に指定し、子育て相談や子育て講座の実施や主任児童委員等と連携した学区内のネットワークづくりに取り組んでいます。子育てサークルや幼児・母親クラブの育成、夏祭り等の地域交流事業や園庭・プール開放等を実施し、地域の育児力の向上と子育て支援を推進しています。</p> <p>地域子育て支援ステーションの相談件数 ⑯5,805件→⑰7,866件 地域子育て支援ステーションの子育て講座等参加人数 ⑯339,473人 →⑰369,607人 地域子育て支援ステーション指定箇所数 ⑯160箇所(保育所118、児童館42) →⑰170箇所(保育所123、児童館47)</p>	子どもネットワーク運営(子ども支援センター、地域子育て支援ステーション事業)	保健福祉局	児童家庭課、保育課、保健医療課	54
《重点》	052	中核機関の連携強化と機能充実	推進中(継続)	(再掲:002)				54
《重点》	053	子育て支援機関のバックアップ組織としての「子育てサポート推進チーム(仮称)」の創設【新規、再掲:227】	完了	(再掲:227)				54
《重点》	054	他都市の子育て支援中核施設との共同連絡会議の設立【新規、再掲:228】	推進中(継続)	(再掲:228)				54

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》 055	地域子育て支援ステーションの設置の拡大	推進中 (充実)	<p>身近な地域における相談・ネットワークの拠点として、小学校区を基礎単位に、保育所及び児童館を「地域子育て支援ステーション」に指定し、子育て相談や子育て講座の実施や主任児童委員等と連携した学区内のネットワークづくりに取り組んでいます。平成20年度も、全ての小学校区への設置を目標に指定拡大に努めました。</p> <p>地域子育て支援ステーションの相談件数 ⑯5,805件→⑰7,866件 地域子育て支援ステーションの子育て講座等参加人数 ⑯339,473人→⑰369,607人 地域子育て支援ステーション指定箇所数 ⑯160箇所(保育所118、児童館42)→⑰170箇所(保育所123、児童館47)</p>	子どもネットワーク運営(地域子育て支援ステーション事業)	保健福祉局	児童家庭課、 保育課	54
《重点》 056	子育て支援ボランティア・子育てサポートナーの育成とコーディネートの充実(再掲:090)	推進中 (継続)	(再掲:090)				54
《重点》 057	子育て支援への企業の参画促進と行政との連携(再掲:92、102~105)	推進中 (継続)	(再掲:92、102~105)				54
推進 058	民生委員・児童委員、主任児童委員の活動の活性化(再掲:094)	推進中 (継続)	(再掲:094)				55
推進 059	児童福祉施設関係職員の研修の強化	推進中 (継続)	<p>京都養護施設職員研究会への支援 児童福祉センター職員に対する研修 児童福祉センター内職員研修 ⑰年間22件(延べ482人が参加) 派遣研修 ⑰年間30件、延べ参加人数59人</p>	児童福祉センター(児童相談所)	保健福祉局	児童家庭課、 児童福祉センター	55
推進 060	子育て相談員養成研修等の実施	推進中 (継続)	<p>子ども支援センターにおいて月例研修会を実施</p> <p>電話相談ボランティア6期生の養成講座を実施しました。</p>	<p>子どもネットワーク運営(子ども支援センター)</p> <p>子育て支援総合センターこどもみらい館</p>	保健福祉局 教育委員会	児童家庭課 こどもみらい館	55

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 061	幼児クラブ及び母親クラブ等地域組織活動のネットワーク化【新規、再掲：280】	推進中 (継続)	(再掲：280)				55
推進 062	正確な子育て支援情報を、的確に「家庭」へ伝える施策推進	推進中 (継続)	未来の京都を担っていく新しい「いのち」である出生児を養育する家庭に対し、これから始まる家庭での「子育て」を応援するために、市長からの出産お祝いレターを添えて、子育ての知識や本市施策・事業あるいは子育ての不安や悩みを相談できる機関などを紹介した「子育て応援パンフレット」を送付しています。 年間出生数 ⑯11,740人→⑰11,860人	出産お祝いレター等お届け事業	保健福祉局	児童家庭課	55
推進 063	出生児宅への出産お祝いレター及び子育て応援パンフレット等のお届け事業【新規】	推進中 (継続)	未来の京都を担っていく新しい「いのち」である出生児を養育する家庭に対し、これから始まる家庭での「子育て」を応援するために、市長からの出産お祝いレターを添えて、子育ての知識や本市施策・事業あるいは子育ての不安や悩みを相談できる機関などを紹介した「子育て応援パンフレット」を送付しています。 年間出生数 ⑯11,740人→⑰11,860人	出産お祝いレター等お届け事業	保健福祉局	児童家庭課	55
推進 064	インターネット等による子育て情報の発信【新規】	推進中 (継続)	・児童福祉センターHP、子どもSOS児童虐待防止HP「あした笑顔になあれ」(⑩アクセス件数132,874件) ・こどもみらい館HP(⑩アクセス件数329,587件) ・京(みやこ)あんしんこども館HP ・子ども支援センターHP ・児童家庭課HP 他		保健福祉局 教育委員会 他	児童家庭課、 児童福祉センター、 保健医療課 こどもみらい 館	55
推進 065	子育て支援シンポジウムの開催	推進中 (継続)	京都やんちゃフェスタ(第2部)において「NPO法人共育コーディネートグループSHAKEによる子育て支援講演会」を開催 【日時】 平成20年11月29日(土) 【場所】 みやこめっせ 【参加者】 約150人	京都やんちゃフェスタ	保健福祉局	児童家庭課	55
推進 066	人づくり21世紀委員会関連(再掲：202)	推進中 (継続)	(再掲：202)				55

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	-----

(2) 子どもといふ生活に生きがいを感じられる家庭・職場・地域社会づくり

56

ア 子育て家庭への支援

56

《重点》	067	育児支援家庭訪問事業の実施【新規、再掲:006】	推進中(継続)	(再掲:006)				58
	068	地域における子育て支援の拠点として保育所・幼稚園・児童館等の児童施設の機能強化	推進中(充実)	<p>＜保育所・児童館＞ 身近な地域における相談・ネットワークの拠点として、小学校区を基礎単位に、保育所及び児童館を「地域子育て支援ステーション」に指定し、子育て相談や子育て講座の実施や主任児童委員等と連携した学区内のネットワークづくりに取り組んでいます。</p> <p>地域子育て支援ステーションの相談件数 ⑯5,805件→⑰7,866件 地域子育て支援ステーションの子育て講座等参加人数 ⑯339,473人→⑰369,607人 地域子育て支援ステーション指定箇所数 ⑯160箇所(保育所118、児童館42)→⑰170箇所(保育所123、児童館47)</p> <p>＜幼稚園＞ 地域に開かれた幼稚園づくりの推進及び家庭や地域における子育て機能の向上をめざし、幼児・保護者同士の交流を促進する取組や子育ての悩み相談などの子育て支援の事業を実施しています。</p>	子どもネットワーク運営(地域子育て支援ステーション事業)	保健福祉局	児童家庭課 保育課	58
	069	地域において住民相互で行われる子育て支援活動への支援【新規】		<p>子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業を市内14箇所で実施し、地域住民相互で子育て支援を行える親子の集いの場を提供しました。また、子ども支援センターにおいて、こどもみらい館や区社会福祉協議会等と連携し、各行政区内の育児サークルや子育てボランティアサークル等への活動支援を行い、地域子育て支援ステーションにおいては、子育てサークルや幼児・母親クラブの育成、夏祭り等の地域交流事業や園庭・プール開放等を実施し、地域の育児力の向上と子育て支援を推進しています。</p> <p>こどもみらい館においては、保育所や幼稚園の園庭開放や子育て講座などで活動する地域子育て支援ボランティアの養成講座を実施しています。平成20年度は児童家庭課・児童館連盟と連携し、子育てボランティアバンク登録者、つどいの広場などへの受講参加を募りました。修了生 ⑳36人(修了生総数 191人) 京(みやこ)・地域福祉パイロット事業において、地域福祉に関する住民主体の先進的な事業について助成を実施。地域における子育て支援に関する事業も複数採択されました。</p> <p>つどいの広場事業実施箇所数 ⑯9箇所→⑰14箇所</p>	子どもネットワーク運営(子ども支援センター、地域子育て支援ステーション)、子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業、子育て支援総合センターこどもみらい館、地域福祉推進事業	保健福祉局 教育委員会	児童家庭課、こどもみらい館、地域福祉課	58

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》 070	子育て支援を行うNPO等への活動支援	推進中 (継続)	<p>市民活動総合センターにおいて、青少年活動を含む幅広い分野のNPO・市民活動団体等に活動場所を提供するとともに、活動活性化の支援のための相談、市民活動団体等の育成、幅広い市民の交流の場の提供、連携・共同事業の展開などの事業を展開しました。</p> <p>市民活動総合センター入館者数 ⑯131,834人→⑰139,464人 市民活動総合センターホームページアクセス数 ⑯129,726人→⑰129,372人</p>	市民活動総合センターの運営	文化市民局	地域づくり推進課	58
《重点》 071	子育て支援における公共的団体やNPO等と行政との連携強化【新規】	推進中 (継続)	<p><子どもネットワーク> 子どもの人権を守り、家庭での子育てを総合的・一体的に支援するため、重層的なネットワークを構築し、全市レベルでは、子どもと家庭に関わる行政、民間の機関・団体等による京都子どもネットワーク連絡会議を設置し、子育て支援を総合的に推進するための連絡調整を行っています。行政区レベルでは、子ども支援センターを設置し、保健所、小中学校、主任児童委員、医師会等をはじめとした区域内の子どもに関わる関係機関及び児童相談所との連絡調整の場として、子育て支援調整会議を開催するとともに、虐待等に関する課題別部会や個別ケースについてのケースカンファレンスを実施しています。地域レベルでは、地域子育て支援ステーションを拠点に子育て相談や子育て講座の実施や主任児童委員等と連携した学区内のネットワークづくりに取り組んでおり、子育てサークルや幼児・母親クラブの育成、夏祭り等の地域交流事業や園庭・プール開放等を実施し、地域の育児力の向上と子育て支援を推進しています。</p> <p><地域福祉推進事業> 京(みやこ)・地域福祉推進プランに基づき、「区地域福祉推進委員会」を各区に設置し、住民・公共的団体・行政による横断的な協働システムの構築を進めています。</p> <p><乳幼児子育て支援研究プロジェクト> 子育てサークル、NPO等と協働で、子どもが心豊かに育つための乳幼児期の子育て環境づくりなど子育て支援のあり方について研究しています。「親のニーズから見る子育て支援の方向性」をメインテーマに京都市内の子育て当事者、団体、支援者、行政機関などの参加を得て、5年間の取組と研究成果を発信する報告会を実施するとともに、「研究プロジェクト報告書」を発行しました。</p>	子どもネットワーク運営、 地域福祉推進事業	保健福祉局	児童家庭課、 地域福祉課	58
《重点》 072	子育て支援ボランティア・子育てサポートナーの育成とコーディネートの充実(再掲:090)	推進中 (継続)	(再掲:090)	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	58
《重点》 073	親教育プログラムの開発と体系化【新規、再掲:224】	推進中 (充実)	(再掲:224)				59

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》	074 一時預かり事業の推進	推進中 (充実)	<p>＜ファミリーサポート事業＞ 子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と子育ての援助を行いたい人(提供会員)とが会員となり、お互いに育児の助け合いを行う事業です。19年度には、市内の各行政区・支所ごとにファミリーサポートセンターの支部を開設しました。 ファミリーサポート会員数 ⑯3,577人→⑰4,137人</p> <p>＜子育て支援短期利用事業(ショートステイ)＞ 保護者等の疾病、出産、看護、事故、災害等により、家庭での養育が一時的に困難となった児童(小学校修了前)を児童福祉施設等において一定期間養育します。 ショートステイ実施施設 ⑯11箇所→⑰11箇所</p> <p>＜子育て支援短期利用事業(トワイライトステイ)＞ 保護者等が仕事の都合などで帰宅が恒常的に遅くなり、児童の生活指導や家事の面で困難を生じている場合に、その児童(小学生)を児童養護施設又は母子生活支援施設において午後10時まで預かり、生活指導や夕食の提供等を行います。 トワイライトステイ実施施設 ⑯11箇所→⑰11箇所</p> <p>＜一時保育事業＞ 保護者が断続的勤務、短時間勤務等の非定型就労、緊急理由、私的な理由により希望する場合、就学前の児童を保育所で一時的に保育する制度です。 一時保育事業延べ利用人数 ⑯43,888人→⑰45,320人 一時保育事業実施保育所数 ⑯33箇所→⑰37(4箇所増)</p> <p>＜乳幼児健康支援デイサービス事業＞ 乳幼児を対象として、市内の5箇所の医療機関において、病気回復期にある子どもを家庭で保育できない方のために一時的な保育を実施しています。 延べ利用者数 ⑯948人→⑰714人</p>	ファミリーサポート事業、子育て支援短期利用事業(ショートステイ、トワイライトステイ)、民営保育所一時保育事業、公営保育所一時保育事業、乳幼児健康支援デイサービス事業	保健福祉局	児童家庭課、 保育課、保健 医療課	59
推進	075 妊産婦の健康の保持増進のための支援(再掲:178)	推進中 (充実)	(再掲:178)				59
推進	076 乳幼児及び母親の心身の健康の確保(再掲:185, 187)	推進中 (継続)	(再掲:185, 187)				59
推進	077 子育て相談事業(再掲:012)	推進中 (充実)	(再掲:012)				59
推進	078 正確な子育て支援情報を、的確に「家庭」へ伝える施策推進(再掲:062)	推進中 (継続)	(再掲:062)				59
推進	079 出生児宅への出産お祝いレター及び子育て応援パンフレットのお届け事業【新規、再掲:063】	推進中 (継続)	(再掲:063)				59

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 080	インターネット等による子育て情報の発信【新規、再掲:064】	推進中 (継続)	(再掲:064)				59
推進 081	「人づくり21世紀委員会ニュース KYOTO子どもエンジョイつうしん」の発行やホームページによる情報発信(再掲:202)	推進中 (継続)	(再掲:202)				59
推進 082	シルバー人材センターによる子育て支援事業の実施	推進中 (継続)	認可外保育施設(ばあばサービス ピノキオ)での「一時預かり保育」の実施 利用延人数 ⑯4,519人→⑰4,221人	シルバー人材センター	保健福祉局	長寿福祉課	59

イ 地域子育て支援の場づくり

60

《重点》 数値	083 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業の実施【新規】 【目標】H16年度:0箇所 →H21年度:20箇所	推進中 (充実)	子育て中の親の子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育てができる環境を整備し、身近な地域の子育て支援機能の充実を図るため、NPO法人等の市民団体やボランティア等と連携・協力して、地域住民相互で子育て支援を行える親子の集いの場を提供しています。具体的には、①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、②子育てアドバイザーによる子育てに関する相談、援助の実施、③地域の子育て関連情報の提供、④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施、⑤地域の子育て力を高める取組の実施などを行っています。平成20年度は新たに5箇所の拠点施設を開設しました。 委託箇所数 ⑯9箇所→⑰14箇所 延べ利用者数 ⑯39,241人→⑰54,802人	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業	保健福祉局	児童家庭課	62
《重点》	084 子ども支援センターの機能充実(再掲:004)	推進中 (継続)	(再掲:004)				62
《重点》	085 地域における子育て支援の拠点として保育所・幼稚園・児童館等の児童施設の機能強化(再掲:068)	推進中 (充実)	(再掲:068)				62
《重点》	086 地域において住民相互で行われる子育て支援活動への支援【新規、再掲:069】	推進中 (継続)	(再掲:069)				62

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》	087 地域のまちづくり支援拠点「暮らしの工房」づくりの支援【新規】	推進中 (継続)	地域での市民活動やNPO活動の拠点として利用いただける「暮らしの工房」を整備しています。 平成20年度以降は8区9箇所で事業を継続しています。	暮らしの工房づくり支援事業	文化市民局	地域づくり推進課	62
《重点》	088 子育て支援を行うNPO等への活動支援(再掲:070)	推進中 (継続)	(再掲:070)				63
《重点》	089 子育て支援における公共的団体やNPO等と行政との連携強化【新規, 再掲:071】	推進中 (継続)	(再掲:071)				63
《重点》	090 子育て支援ボランティア・子育てサポートナーの育成とコーディネートの充実	推進中 (継続)	<p>子ども支援センターにおいて、こどもみらい館や区社会福祉協議会等と連携し、子育てボランティア等の育成を支援しています。</p> <p>＜ファミリーサポート事業＞ 子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と子育ての援助を行いたい人(提供会員)とが会員となり、お互いに育児の助け合いを行うファミリーサポートセンター事業を実施。19年度には、市内の各行政区・支所ごとにファミリーサポートセンターの支部を開設しました。 依頼会員・提供会員数 ⑯3,577人→⑰4,137人</p> <p>＜子育てボランティアバンク事業＞ 児童館・学童クラブ事業やファミリーサポート事業などに積極的に参画してもらえる子育て知識の豊かなボランティアを養成するため、登録制度を創設するとともに、講習会を実施しました。</p> <p>保育所や幼稚園の園庭開放や子育て講座などで活動する地域子育て支援ボランティアの養成講座を実施しています。平成20年度は児童家庭課・児童館連盟と連携し、子育てボランティアバンク登録者、つどいの広場などへの受講参加を募りました。 修了生 ⑮36人(修了生総数 191人)</p>	子どもネットワーク(子ども支援センター), ファミリーサポート事業, 子育てボランティアバンク事業	保健福祉局 児童家庭課	63	
《重点》	091 乳幼児子育てサポート推奨制度の創設【新規, 再掲:226】	推進中 (継続)	(再掲:226)		教育委員会	こどもみらい館	63

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
《重点》 092	地域の子育て支援活動への市民団体や大学、企業等の参加の促進【新規】	推進中 (継続)	<p>京都やんちゃフェスタに、市民団体、企業等が協賛、協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部：小学生以上を主な対象とする屋外型イベント 【日時】平成20年10月25日(土) 【場所】京都市梅小路公園 【来場者数】39,000人 ・第2部：乳幼児親子を対象とする屋内型イベント 【日時】平成20年11月29日(土) 【場所】京都市勧業館みやこめつせ 【来場者数】6,000人 	京都やんちゃフェスタ	保健福祉局	児童家庭課	63
《重点》 093	地域子育て支援ステーションの設置の拡大(再掲:055)	推進中 (充実)	(再掲:055)				63
推進 094	民生委員・児童委員、主任児童委員の活動の活性化	推進中 (継続)	<p>民生委員・児童委員活動の活性化のため、各種事業を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員全体研修会の実施 ・全国主任児童委員研修会や全国規模の研修会への派遣 ・各区民生児童委員会における研修や専門部会活動の実施 ・学区民生児童委員協議会における月1回の定例会の実施 		保健福祉局	地域福祉課	63
推進 095	社会福祉協議会との連携	推進中 (継続)	<p>京都市社会福祉協議会の「地域福祉推進計画」と十分な連携し、「京(みやこ)・地域福祉推進プラン」における取組を推進しています。</p> <p>また、子ども支援センターでは、こどもみらい館や区社会福祉協議会等と連携し、区域内の育児サークルや子育てボランティアサークル等への活動支援(子育てに関する自主活動への支援)を行ったり、子育てボランティア等の育成(人材の育成)を支援しています。</p>	子どもネットワーク運営(子ども支援センター) 他	保健福祉局	地域福祉課、児童家庭課	63
推進 096	児童館の整備を進め、幼児クラブ及び母親クラブ等地域組織活動のネットワーク化や地域住民との交流、ボランティア活動の推進などの事業を推進する。(再掲:272~281)	推進中 (充実)	(再掲:272~281)				63
推進 097	すくすく育児・サポート教室の充実(再掲:184)	推進中 (継続)	(再掲:184)				63

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 98	図書館での「おはなし会」等の催しの一層の充実、読み聞かせボランティアの育成、子どもの読書活動を推進する民間団体の支援	推進中 (充実)	(再掲:239)				63
推進 099	「子ども文庫活動」「おもちゃライブラリー」等、子ども対象の地域ボランティア活動への支援	推進中 (継続)	<p>＜福祉ボランティアセンター＞</p> <p>区域におけるボランティア活動の拠点である区ボランティアセンターと連携しながら、市全域における子どもを対象としたボランティア活動を総合的に支援するため、各種事業を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉ボランティア活動を中心とする様々な情報の収集・提供 ・福祉ボランティア活動についての相談・紹介の実施 ・ボランティア活動に関する各種講座の開催 ・ボランティアグループへの活動支援 ・ボランティア活動の振興のための調査・研究 <p>＜子育て応援マップ＞</p> <p>子育て応援マップに子ども文庫の所在地を掲載しています。</p> <p>「地下鉄子ども文庫」において、ボランティアによる児童書・絵本の配付、絵本の読み聞かせ等実施しました。</p>	福祉ボランティアセンター(ひと・まち交流館京都) 子育て応援マップ	保健福祉局	地域福祉課、 児童家庭課	63
推進 100	子育て語り合いサロン等の保護者同士や親子の交流の場づくりの促進(再掲:220)	推進中 (継続)	(再掲:220) 各学校・幼稚園が学校ふれあいサロン等を活用して気楽な雰囲気の中で、お互いに子育ての悩みなどを語り合う井戸端談義風の子育て教室を実施しています。 ②実施回数:362回		教育委員会	生涯学習部 家庭地域教育支援担当	63
推進 101	学校ふれあいサロン事業をはじめとする学校施設の地域開放の促進(再掲:220)	推進中 (継続)	(再掲:220) 学校の余剰教室等を生涯学習に利用できる施設に改修・整備し、学区内の子どもからお年寄りまであらゆる世代の市民が集い、学びあえる身近な生涯学習の場として広く開放し学校を核とした地域コミュニティの再生を目指しています。 ②利用人数:330,765人		教育委員会	生涯学習部 生涯学習推進担当	63

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	-----

ウ 働き方の見直し(仕事と育児の両立支援)

65

《重点》	102 「子どもネットワーク」への企業等の参画と連携強化	推進中（継続）	<p>子どもネットワークの全市レベルにおける取組である京都子どもネットワーク連絡会議に、京都商工会議所や京都経営者協会等に参画していただいています。</p> <p>京都子どもネットワーク連絡会議構成員数(平成20年度末現在) 77(関係機関・団体44, 京都市機関33)</p>	子どもネットワーク	保健福祉局	児童家庭課	69
《重点》	103 働き方の見直し・男性の育児参加に関する啓発事業の実施【新規】	推進中（継続）	<p>女性の能力の積極的な活用や、仕事と家庭の両立支援など、男女がともにいきいきと働くことができる職場づくりに向けて積極的に取り組んでいる企業等を「きょうと男女共同参画推進宣言」事業者として登録するとともに、特に意欲的な取組を推進している事業者を表彰しました。</p> <p>登録事業者 51社(20年度末現在) 表彰事業者 ⑩2社</p>	男女共同参画講座の運営、男女共同参画に関する啓発冊子作成	文化市民局	男女共同参画推進課	69
			<p>やんちゃフェスタにおいて、子育て啓発ブースを設け、情報提供(パンフレット配布等)を行いました。</p>	やんちゃフェスタ	保健福祉局	児童家庭課	69
《重点》	104 企業等に対する次世代育成支援対策の推進に向けた子育て支援情報の提供【新規】	推進中（継続）	<p>子どもと家庭に関わる行政、民間の関係機関・団体等による京都子どもネットワーク連絡会議を設置し、子育て支援を総合的に推進するための連絡調整を行っています。</p> <p>京都子どもネットワーク連絡会議には、京都商工会議所や京都経営者協会等に参画していただいています。</p> <p>京都子どもネットワーク連絡会議構成員数(平成20年度末現在) 77(関係機関・団体44, 京都市機関33)</p>	子どもネットワーク	保健福祉局	児童家庭課	69
《重点》	105 地域の子育て支援活動への企業・労働者の参加の促進【新規、再掲:092】	推進中（継続）	(再掲:092)				70
《重点》	106 保育所や学童クラブ事業などの保育サービスの一層の充実(再掲:122～138、274)	推進中（充実）	(再掲:122～138、274)				70

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 107	各種イベントでの啓発活動の実施	推進中 (継続)	やんちゃフェスタにおいて、子育て啓発ブースを設け、情報提供(パンフレット配布等)を行いました。	やんちゃフェスタ	保健福祉局	児童家庭課	70
推進 108	子育て支援シンポジウムの開催(再掲:065)	推進中 (継続)	(再掲:065)				70
推進 109	勤労者情報システム「さわやかわーく」の充実	推進中 (継続)	勤労者情報HPを運営。勤労者福祉の向上を図るとともに、近年の就業構造の多様化等に伴い、発生する労働問題に的確に対応できるよう、労働に関する基本的知識等を提供しました。 勤労者情報HPアクセス件数 112,718件(平成21年3月末) ⑯4,866→⑰6,042	勤労者情報システムの整備	文化市民局	勤労福祉青少年課	70

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	---------

(3) 子どもの生活環境の整備

71

《重点》	110 「ユニバーサルデザイン」の理念に基づき、子育てしやすい生活環境の整備【新規】	推進中 (充実)	<p>平成17年4月1日施行の「京都市みやこユニバーサルデザイン推進条例」に基づき、すべての人にとって利用しやすいデザインを目指す「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れた社会環境の整備(製品、施設、情報の伝達、サービスの提供)を、京都市、事業者、市民等の協働により推進しています。</p> <p>平成20年度は、平成19年度に引き続きユニバーサルデザインの考え方の普及推進を図るとともに、事業者や市民の主体的な取組へのきっかけづくりを進めました。</p> <p>周知冊子の配布数 ⑯21,500冊→⑰12,100冊 周知事業の参加者数 ⑯9,500人→⑰4,500人</p>	みやこユニバーサルデザインの推進(みやこUD賞の募集・表彰、みやこユニバーサルデザインフォーラム交流協働支援、ユニバーサル上映補助制度の創設、冊子「ユニバーサル上映をつくろう」作成など)	保健福祉局	保健福祉総務課	73
《重点》	111 児童館の整備の推進(再掲:272)	推進中 (充実)	(再掲:272)				73
《重点》	112 宝が池公園「新・子どもの楽園」の整備	完了	<p>周辺の自然環境を生かした都市防災、スポーツ、レクリエーション、自然教育、憩い等の多様な機能を持つ宝が池公園において、自然とのふれあいや様々な体験を通して子どもたちの感性を豊かにし、次代の京都を担う人材を育んでいくための活動拠点として「新・子どもの楽園」の整備を行い、平成20年3月26日に開園しました。</p>	宝が池公園「新・子どもの楽園」整備	建設局	緑政課	73
推進	113 都市公園の整備	推進中 (継続)	⑯整備6箇所、開園4箇所→⑰整備8箇所、開園4箇所	街区公園の整備	建設局	緑政課	73
推進	114 ちびっこひろばの運営助成	推進中 (継続)	<p>ひろばに必要な遊具類、フェンス等の設置や廃止の際の費用(遊具類の撤去)の全部又は一部の助成を行いました。</p> <p>ちびっこひろば設置件数 ⑯253箇所→⑰238箇所</p>	ちびっこひろば	文化市民局	地域づくり推進課	73

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 115	児童厚生施設「桂坂野鳥遊園」の運営	推進中(継続)	自然や野鳥の観察を行う「桂坂野鳥遊園」の運営に対して補助を行っています。 (運営:(福)京都市社会福祉協議会) 年間利用者数 ⑯22,121人→⑰20,059人	桂坂野鳥遊園運営補助	保健福祉局	児童家庭課	73
推進 116	保育所・幼稚園などの子育て支援施設の地域への開放の一層の推進(再掲:132, 217, 218)	推進中(継続)	(再掲:132, 217, 218)				73
推進 117	公共的施設に授乳コーナーやベビールーム、トイレ内ベビーシート等の設備の拡充	推進中(継続)	みやこユニバーサルデザイン推進指針に基づき、全庁的に取組を進めています。	みやこユニバーサルデザインの推進	保健福祉局他	保健福祉総務課他	73
推進 118	公共的施設や公的な催し、会議等に保育コーナーを設置	推進中(継続)	みやこユニバーサルデザイン推進指針に基づき、全庁的に取組を進めています。	みやこユニバーサルデザインの推進	保健福祉局他	保健福祉総務課他	73
推進 119	子育て世帯、中堅ファミリー世帯向けの住宅供給の促進	推進中(継続)	戸数の規模、設備、賃貸条件等が一定の基準に適合する中堅ファミリー向けの優良な賃貸住宅の計画であると市長が認定した場合、当該住宅の建設工事費の一部に対する補助や入居者に応じた家賃減額補助を実施しています。 (建設については平成17年度から行っていません。) 特定優良賃貸住宅 ⑯134団地 2,783戸を管理	特定優良賃貸住宅供給促進事業	都市計画局	住宅室住宅政策課	73

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 120	多様な世代のニーズに対応した市営住宅等の供給	推進中(継続)	計画的な建て替え、改善により、多様な世代のニーズに応じた市営住宅の供給を実施しています。 ⑯しゅん工1棟50戸→⑰しゅん工1棟173戸	公営住宅建設事業 改良住宅等改善事業 住宅地区改良事業 住宅市街地総合整備事業	都市計画局	住宅室すまいまちづくり課	73
推進 121	シックハウス等の住まいの衛生対策として情報提供や実態調査等の実施	推進中(継続)	揮発性有機化合物等による室内空気環境の悪化を原因とするシックハウス症候群をはじめ、住まいに起因する健康問題及び不快感を改善するための情報提供を行うとともに、住まいの実態調査を行う等、健康で快適な居住環境の確保対策を実施しています。 調査及び助言 延べ相談受付件数 ⑯708件→⑰763件 測定及び検査 延べ測定等件数 ⑯161件→⑰159件	住まいの衛生に関する情報提供、調査・助言	保健福祉局	生活衛生課	73

(4) 子育てに必要な経済的負担のあり方

74

(5) 多様で柔軟な保育サービスの提供

77

ア 保育所待機児童の解消

78

《重点》 数値	122 施設整備による保育所定員の拡大 【目標】H16年度:23,865人 →H21年度:24,650人	推進中(継続)	平成20年度においては、施設整備による保育所定員の拡大を行いましたが、1箇所廃止としました。今後とも保育需要を的確に判断し、取組を進めていきます。 保育所定員 ⑯24,420人→⑰24,450人	保育所	保健福祉局	保育課	83
《重点》 数値	123 一時保育の拡大(再掲:129)	推進中(充実)	(再掲:129)				83
推進	124 保育所定員の調整	推進中(充実)	保育需要の減少した地域の保育所定員を削減し、保育需要の増大している地域の保育所定員を増やしました。(45名分)	保育所	保健福祉局	保育課	83

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 125	定員弾力化による受入児童数の推進	推進中(継続)	保育の実施は、原則として定員の範囲内で行う必要がありますが、京都市においては、待機児童を解消するため、年度当初から定員を超えて保育の実施を行っており、平成20年度も定員弾力化による受入れを継続して実施しました。 (受入上限 年度当初定員の15%、年度途中定員の25%)	保育所	保健福祉局	保育課	83
推進 126	昼間里親事業の推進	推進中(継続)	昼間里親事業は、保育に欠ける主に3歳未満のお子さんを昼間、個人の家庭等の家庭的雰囲気の中で保育する制度で、市長が適当と認めた方を昼間里親として登録し、希望する児童を昼間里親に保育委託します。 年度途中入所や地域の保育需要に柔軟に対応できる本事業を積極的に推進しています。 昼間里親入室児童数(年度平均) ⑯318人→⑰315人 昼間里親数 ⑯33箇所→⑰32箇所	昼間里親運営委託	保健福祉局	保育課	83

イ 多様な保育サービスの提供

84

《重点》 数値	127 延長保育の拡大 【目標】H16年度：131箇所 →H21年度：190箇所	推進中(充実)	就労時間帯の多様化等による保育需要の増加に合わせ、通常の保育時間(基本保育時間：午前8時30分～午後5時、特例保育時間：基本保育時間の前後1時間)を上回る保育について、市内の設置バランスを考慮したうえで実施保育所を拡大します。 延長保育事業実施保育所数 ⑯164箇所→⑰169箇所(5箇所増)	民営保育所延長保育事業、公営保育所延長保育事業	保健福祉局	保育課	90
《重点》	128 時間延長の拡充	推進中(継続)	平成20年度においては、保育所、昼間里親と時間延長の拡充について協議を行いました。保護者のニーズとともに、保育所等で過ごす時間が増加することによる児童への影響、職員体制等の施設運営上の問題、夜間保育所等の他の制度との関係も踏まえ、本事業の導入については、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)等の社会的な動向を注視しながら、慎重に検討を続けていきます。	民営保育所延長保育事業、公営保育所延長保育事業	保健福祉局	保育課	90
《重点》 数値	129 一時保育の拡大 【目標】H16年度：25箇所 →H21年度：42箇所	推進中(充実)	保護者が断続的勤務・短時間勤務等の非定型就労、緊急理由、私的な理由により希望する場合、就学前の児童を一時的に保育する制度です。 様々な保育需要への対応が可能で、また未就園児童への子育て支援サービスの提供に今後も大きな役割を果たすことが期待できることから、市内の設置バランスを考慮したうえで実施保育所を拡大しています。 一時保育事業延べ利用人数 ⑯43,888人→⑰45,320人 一時保育事業実施保育所数 ⑯33箇所→⑰37(4箇所増)	民営保育所一時保育事業、公営保育所一時保育事業	保健福祉局	保育課	90

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》 数値	130 休日保育の拡大 【目標】H16年度：2箇所 →H21年度：5箇所	推進中 (継続)	日曜・祝日に勤務する保護者等に対する保育サービスとして、休日保育事業を実施しています。 休日保育事業延べ利用人数 ⑯1,661人→⑰1,969人 休日保育事業実施保育所数 ⑯3箇所→⑰3箇所	民営保育所休日保育事業、公営保育所休日保育事業	保健福祉局	保育課	91
《重点》	131 障害やアレルギー疾患のある等配慮を要する児童の保育の充実	推進中 (継続)	全ての保育所が障害やアレルギー疾患のある等配慮を要する児童を受け入れ、一人ひとりの児童に配慮した保育の提供に努めるとともに、必要な職員体制の整備を行い、また適宜巡回相談等を実施し保育の質の向上に努めています。併せて、保育所関係職員に対する研修を実施しています。 障害児保育実施箇所数 ⑰208箇所 障害児保育児童数 ⑰706人	障害児保育対策	保健福祉局	保育課	91
《重点》	132 保育所、昼間里親における地域子育て支援施策の充実	推進中 (継続)	全ての保育所、昼間里親が地域の子育て支援の拠点として、その持っている知識、経験、場所等の資源を家庭、地域で活用し、地域子育て支援ステーション事業等により、子育て機能の充実を図っています。	子どもネットワーク運営(地域子育て支援ステーション事業) 他	保健福祉局	保育課	91
推進	133 低年齢児保育の推進	推進中 (継続)	今後とも需要が見込まれる産休明け、育休明け保育をはじめ、保育所・昼間里親における低年齢児(0~2歳児)保育を推進しています。 低年齢児(0~2歳児)の受入数(4月1日現在) 保育所 ⑯9,580人→⑰9,729人 昼間里親 ⑯ 267人→⑰ 251人	保育所 昼間里親	保健福祉局	保育課	91
推進	134 夜間保育事業の推進	推進中 (継続)	就労形態の多様化に伴う夜間保育需要の増加に対応するため、夜間、保護者の就労等のため保育所での受け入れが真にやむを得ない児童について、夜間保育を実施しています。 平成20年度は、前年度から引き続き、市内7箇所で夜間保育を行いました。	夜間保育事業	保健福祉局	保育課	91

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 135	保育所関係職員の研修の充実	推進中(継続)	<p>全ての子育て家庭への支援に対応できるよう、多様な保育サービスを提供するための保育所職員の研修を実施しています。平成19年度からは、民営保育所職員に対する研修を事業化し、更なる保育所における質の向上を図るために、人材育成、資質向上、専門的知識・技術の習得を目指し、研修の充実を図っています。</p> <p>平成20年度は、以下の研修を実施しました。</p> <p>新保育所保育指針研修会、障害児保育研修会(新規実施)、子育て支援研修会、給食関係者研修会、保健衛生研修会、階層別保育士研修、分野別保育士研修 等</p>	保育所職員の資質向上のための研修プログラム	保健福祉局	保育課	91
推進 136	認可外保育施設に対する指導の強化	推進中(継続)	<p>児童福祉の観点から、安全、衛生面や保育の水準を確保するため、届出制の活用により認可外保育施設の実態把握と指導を行っています。</p> <p>立入調査施設数 ⑯19施設→⑰38施設 書面調査施設数 ⑯53施設→⑰36施設</p>		保健福祉局	監査指導課 保育課	91
推進 137	乳幼児健康支援デイサービス事業 (再掲:194)	推進中(継続)	(再掲:194)				91
推進 138	「保育フェスタ」の実施	推進中(継続)	<p>平成9年度から、「子育て支援都市・京都」の実現に向け、乳幼児健全育成に対する市民の理解と認識を深め、職員の資質向上を図るとともに、京都市の保育所(園)及び昼間里親の保育実践を広く市民に周知するため、子育て講演会、絵画展、イベントを開催しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て講演会 【日時】 平成21年2月5日(火) 【会場】 京都市北文化会館 【内容】 「ゆりかごの中の科学者」(講師:榎原洋一氏) 【入場者】 162人 ・絵画展・イベント 【日時】 平成21年2月7日(土)～9日(月) 【会場】 みやこめっせ 【入場者】 10,944人 	保育フェスタ	保健福祉局	保育課	91

(6) ひとり親家庭の自立促進

《重点》 139	母子家庭の母親等の就労支援	推進中(継続)	<p>母子家庭等就業・自立支援センターにおいて、①就業支援事業、②就業支援講習会等事業、③母子家庭等地域生活支援事業を実施しています。また、平成18年1月から、母子自立支援プログラム事業を開始し、個々の児童扶養手当受給者等の状況・ニーズに応じ、ハローワークとの連携などを行いながら、自立支援計画を個別に策定し、きめ細かな自立・就労支援を母子家庭等就業・自立支援センター事業と一体として、母子家庭の母親等の就労支援を進めています。</p> <p>母子自立支援プログラム事業開始(平成18年1月) 参加者⑯26人→⑰43人 就業・自立支援センターの就業相談件数 ⑯306件→⑰495件</p>	母子福祉センター運営	保健福祉局	児童家庭課	99
-------------	---------------	---------	--	------------	-------	-------	----

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》	140 母子生活支援施設の整備【新規】	推進中 (継続)	<p>保護を要する母子家庭に、安全で安定した生活を行うことができる場を必要に応じて提供することができるよう、一時保護機能も備えた母子生活支援施設の市内バランスを考慮した整備を行っています。</p> <p>平成17年9月に母子生活支援施設「ヴェインテ」を開設。</p>	母子生活支援施設	保健福祉局	児童家庭課	99
《重点》	141 母子福祉センターの再整備【新規】	完了	<p>北山ふれあいセンター実施設計。 寄付受納地である左京区下鴨北野々神町の市有地に、複合施設を整備するための実施設計を行いました。 平成21年4月1日、上京区に設置していた京都市母子福祉センターを北山ふれあいセンター内に移転しました。</p> <p>＜主な施設内容＞ すべての子どもたちが利用できる施設(心身障害児福祉会館、知的障害児母子通園施設、母子福祉センター、児童館)、地域に根ざした高齢者のための施設、障害がある方のための施設、市民が利用できる交流施設</p>	母子福祉センター運営	保健福祉局	児童家庭課	99
《重点》	142 関係機関の連携とドメスティック・バイオレンス被害者への自立支援【新規】	推進中 (継続)	<p>関係機関、NPO等との連携を更に強化するとともに、民間シェルター等への支援を行うなど、配偶者等からの暴力による被害者の支援に取り組みました。 また、インターネットを通じたアンケート調査を実施したほか、各相談窓口でのアンケート調査を実施しました。</p> <p>京都市域の女性への暴力に関するネットワーク会議 ⑩4回(うち1回は事例検討会) 同ネットワーク会議との共催によるシンポジウム開催 ⑩10月30日 参加者172人 DV被害者支援ボランティア入門講座開催 ⑩講座5回、見学会2回、受講者20人 民間シェルターへの助成 ⑩1団体 母子家庭・DV被害者等のための自立支援パソコン講座開催 ⑩全10回、受講者15人 「ウイングス京都において、女性に対する暴力専門相談を実施 「インターネットアンケート調査」を実施 期間:10月1日～12月31日 有効回答数:108人 「相談窓口アンケート調査」 期間:平成20年8月から継続的に実施 有効回答数:⑩45人</p> <p>平成13年10月に配偶者暴力防止法が施行され、DVケースに関する一時保護については都道府県の事務とされましたが、京都市ではそれ以降も緊急一時保護を実施し、市内2箇所の母子生活支援施設において、一時保護された世帯に対して生活費、施設に対して施設利用料を支給しています。</p>	女性に対する暴力の防止に関する取組、男女共同参画センター(ウイングス京都)	文化市民局	男女共同参画推進課	99
推進	143 保育所や昼間里親の定員の拡大による入所しやすい環境づくりの推進(再掲:122～126)	推進中 (充実)	(再掲:122～126)	母子生活支援施設	保健福祉局	児童家庭課	99
							100

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 144	延長保育、一時保育、休日保育といった多様で柔軟な保育サービスの充実(再掲:127~130)	推進中 (充実)	(再掲:127~130)				100
推進 145	子育て支援短期利用事業の実施施設の拡大と事業内容の拡充(再掲:074)	推進中 (継続)	(再掲:074)				100
推進 146	学童クラブ事業の拡充(再掲:274)	推進中 (継続)	(再掲:274)				100
推進 147	乳幼児健康支援デイサービス事業の推進(再掲:194)	推進中 (継続)	(再掲:194)				100
推進 148	ファミリーサポート事業の推進(再掲:074)	推進中 (継続)	(再掲:074)				100
推進 149	小規模分園型(サテライト型)母子生活支援施設の設置について検討	着手前		母子生活支援施設	保健福祉局	児童家庭課	100
推進 150	公営住宅優先入居に関する情報提供の推進	推進中 (継続)	市役所及び区役所等で配布している市営住宅の募集案内、市民しんぶん(9月号)、京都市住宅供給公社及び住宅政策課ホームページにおいて情報提供を行っています。	公営住宅入居者募集における母子世帯及び子育て世帯優先選考の実施	保健福祉局 都市計画局	児童家庭課 住宅政策課	100
推進 151	ひとり親家庭日常生活支援事業の充実【新規】	推進中 (継続)	疾病や就学等のために一時的に生活援助、保育サービスを必要とする場合に、家庭生活支援員を派遣するなどして、ひとり親家庭の生活の安定を図っています。 家庭生活支援員延べ派遣件数 ⑨1,303件→⑩879件	母子福祉センター運営	保健福祉局	児童家庭課	100

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 152	ひとり親家庭生活支援事業の父子家庭を中心とした拡充(生活支援講習会等事業の検討、ひとり親家庭情報交換事業の拡大)	着手前		母子福祉センター運営	保健福祉局	児童家庭課	100
推進 153	ひとり親家庭(特に父子家庭)の相互交流の促進	着手前		母子福祉センター運営	保健福祉局	児童家庭課	100
推進 154	就業相談から就職情報の提供までより効果的に実施するため、就業・自立支援センターの体制及び機能の充実【新規】	推進中 (継続)	母子家庭等就業・自立支援センターにおいて、①就業支援事業、②就業支援講習会等事業、③母子家庭等地域生活支援事業を実施しています。また、平成18年1月から、母子自立支援プログラム事業を開始し、個々の児童扶養手当受給者等の状況・ニーズに応じ、ハローワークとの連携などを行いながら、自立支援計画を個別に策定し、きめ細かな自立・就労支援を母子家庭等就業・自立支援センター事業と一体として、母子家庭の母親等の就労支援を進めています。 母子自立支援プログラム事業開始(平成18年1月) 参加者⑨26人→⑩43人 就業・自立支援センターの就業相談件数 ⑨306件→⑩495件	母子福祉センター運営	保健福祉局	児童家庭課	100
推進 155	公共職業安定所等関係機関との連携の強化	推進中 (継続)	平成18年1月から、母子自立支援プログラム事業を開始し、個々の児童扶養手当受給者等の状況・ニーズに応じ、ハローワークとの連携などを行いながら、自立支援計画を個別に策定し、きめ細かな自立・就労支援を母子家庭等就業・自立支援センター事業と一体として、母子家庭の母親等の就労支援を進めています。	母子福祉センター運営	保健福祉局	児童家庭課	100
推進 156	各種施策情報の提供と利用援助の推進(特に公共職業訓練及び雇用促進施策等)	推進中 (継続)	京都府主催の母子家庭の母等に対する訓練(準備講習付き)について情報提供	母子福祉センター運営	保健福祉局	児童家庭課	100

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 157	就職セミナー、就業支援講習会事業及び特別相談の推進	推進中(継続)	<p>母子家庭等就業・自立支援センター事業において、就職セミナー、就業支援講習会事業及び特別相談を実施しています。</p> <p>就職セミナー ⑯6回開催→⑰6回開催 パソコン講習会 ⑯4クラス開講→⑰4クラス開講 特別相談 ⑯69件→⑰78件</p>	母子福祉センター運営	保健福祉局	児童家庭課	100
推進 158	自立支援教育訓練給付金事業及び高等技能訓練促進費事業の推進【新規】	推進中(継続)	<p>自立支援教育訓練給付金として、母子家庭の母の主体的な能力開発の取組を支援するため、指定の教育訓練講座を受講し修了した場合に、受講に必要な経費の一部を支給しています。</p> <p>高等技能訓練促進費として、母子家庭の母が就職や生活の安定に有利な資格を取得するため、養成訓練期間の生活の負担の軽減を図るために費用を支給しています。</p> <p>自立支援教育訓練給付金 納付件数 ⑯58件→⑰39件 高等技能訓練促進費 納付件数 ⑯19件→⑰39件</p>	母子家庭自立支援給付金事業	保健福祉局	児童家庭課	101
推進 159	母子寡婦福祉資金貸付金の活用(技能習得資金、修業資金及び生活資金)	推進中(継続)	<p>母子家庭の母及び寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せてその扶養している児童の福祉を増進するため、資金の貸付及び自立援助の指導を行っています。</p> <p>技能習得資金 ⑯17件 8,016,696円→⑰20件 8,607,544円 修業資金 ⑯8件 3,394,850円→⑰12件 5,825,200円 生活資金 ⑯20件 23,985,000円→⑰24件 22,968,512円</p>	母子寡婦福祉資金貸付事業	保健福祉局	児童家庭課	101
推進 160	母子家庭の母等の就業に関して企業等の理解と協力を求め求人開拓を行うなど、就職促進活動の推進	推進中(継続)	ひとり親家庭にかかる関係機関との連携につき、機会をとらえて強化を行っています。		保健福祉局	児童家庭課	101
推進 161	児童扶養手当、母子寡婦福祉資金等の各種制度施策情報の周知徹底	推進中(継続)	児童扶養手当の制度周知パンフレットを窓口に設置しています。 母子家庭しあわせ応援ハンドブックを配布しています。 市民しんぶんへの掲載を行っています。	児童扶養手当事務費 他	保健福祉局	児童家庭課	101

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 162	母子寡婦福祉資金制度のより効果的な運用	推進中 (継続)	母子家庭の母及び寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せてその扶養している児童の福祉を増進するため、資金の貸付及び自立援助の指導を行っています。	母子寡婦福祉資金貸付事業	保健福祉局	児童家庭課	101
推進 163	養育費に関する啓発活動の実施	推進中 (継続)	母子家庭に対する無料法律相談についての情報が記載されているチラシを福祉事務所等に設置し、啓発に努めています。	母子福祉センター運営	保健福祉局	児童家庭課	101
推進 164	養育費の確保に関する情報提供と特別相談(法律相談)の推進	推進中 (継続)	特別相談 ⑨69件→⑩78件	母子福祉センター運営	保健福祉局	児童家庭課	101
推進 165	母子家庭等医療費支給制度の推進	推進中 (継続)	母子家庭の母及び児童の医療保険の一部負担金を助成しています。 ⑨28,550人 989,377,640円 → ⑩29,071人 994,234,567円	母子家庭等医療費支給事業	保健福祉局	地域福祉課	101
推進 166	奨学金、生活保護等関係制度施策についての情報提供の推進	推進中 (継続)	母子家庭しあわせ応援ハンドブックを作成し、配布しています。	母子家庭しあわせ応援ハンドブック	保健福祉局	児童家庭課	101

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 167	福祉事務所職員等の研修の充実等と 資質の更なる向上	推進中 (継続)	各業務の担当者研修、関係団体主催の研修など、機会をとらえて様々な研修に 参加しています。		保健福祉局	児童家庭課	101
推進 168	ひとり親家庭にかかわる関係機関の 連携の強化(福祉事務所、母子福祉 センター、就業・自立支援センター、母 子生活支援施設、婦人相談所、配偶 者暴力相談支援センター(婦人相談 所)等)	推進中 (継続)	ひとり親家庭にかかわる関係機関との連携につき、機会をとらえて強化を行って います。		保健福祉局	児童家庭課	101
推進 169	福祉事務所等関係機関のドメスティック・バイオレンスについての理解と適 切な対応の実施に向けた研修の充実	推進中 (継続)	関係機関と連携して、引き続き充実に努めています。		保健福祉局	児童家庭課	101
推進 170	ホームページ、パンフレット等を活用し た情報の発信と啓発の実施	推進中 (継続)	母子家庭しあわせ応援ハンドブックを作成し、配付しています。 また、子育ての知識や本市施策・事業あるいは子育ての不安や悩みを相談できる 機関などを紹介した「子育て応援パンフレット」等を作成し、配付しています。(子育 て応援パンフレットは、児童家庭課のホームページにも掲載しています。)	母子家庭しあわせ応援ハ ンドブック、出産お祝いレ ター等お届け事業	保健福祉局	児童家庭課	101

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	-----

3 子どもを安心して生み健やかに育てることのできるまちづくり

102

(1) 思春期のこころとからだの健康づくり

102

《重点》	171 思春期の性に関する教育の推進	推進中 (継続)	<p>＜中高生と赤ちゃんとの交流事業＞ 児童館において、中高生と赤ちゃんふれあい交流事業を実施し、中高生が将来親となる気持ちを育めるよう取組を進めています。 実施児童館 ⑯22箇所→⑰26箇所</p> <p>平成14年度に発行した「学校・園における性教育・エイズ教育指導資料」をもとに、教職員の共通理解を図り、保護者等の理解が得られるよう、子どもの発達段階に応じた性教育を推進しています。</p>	中高生と赤ちゃんとの交流事業 他	保健福祉局	児童家庭課、 保健医療課	104
《重点》	172 性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒に関する正しい情報提供の充実	推進中 (継続)	<p>関係する専門機関(保健所、こころの健康増進センター、少年サポートセンター、保健医療関係団体等)によるそれぞれの役割に応じた正しい情報提供の充実を図っています。 平成20年度の取組状況は、主に以下のとおりです。</p> <p>＜性感染症対策＞ 市内高校生(市内高校59校)対象に、リーフレット14,500部、啓発ポスター332部を配布。</p> <p>＜薬物乱用防止啓発＞ 教育機関及び警察等関係団体に薬物乱用防止啓発ポスター(5,400枚作成)を配布し、掲示を依頼。 教育機関における薬物乱用防止教室等に薬事監視員を講師として派遣。 標語入り啓発物品(エコバッグ)を10,000個作成し、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動等で活用。 大学関係者を対象に啓発セミナーを開催(参加者 40名)。</p> <p>＜こころの健康増進センター＞ ・薬物に関する相談及び診察 61件 ・自助グループ(NA)の支援 47回 (女性NA)47回 ・若者の薬物問題について考える講演会 参加者170人</p>	こころの健康増進センター 管理運営(センター事業) 他	保健福祉局	保健医療課 生活衛生課	104

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 173	思春期の健康づくりに関する教育	推進中 (継続)	中学校等における健康教室に、保健師を講師として派遣。 ②中学校等4回実施	すくすく子育てサポート事業	保健福祉局 教育委員会	保健医療課	105
推進 174	思春期のこころの健康に関する取組の推進	推進中 (継続)	<p>こころの健康増進センターにおける思春期外来や相談、保健所におけるこころの相談、こども相談センター・パトナにおける相談などを実施しています。 平成20年度の取組状況は、主に以下のとおりです。</p> <p>＜こころの健康増進センター＞ ○相談及び診察 ○思春期・青年期精神保健ケースマネジメント事業(連続講座・講演会・運営検討会議・事例支援) ○ひきこもりについての支援 ・「ひきこもり」について考える家族教室(10回) ・ひきこもり家族ミーティングの実施(10回) ・ひきこもり本人グループの実施(23回)</p> <p>＜教育相談総合センター(こども相談センター・パトナ)＞ 京都市在住の小学生から高校生までの子ども及び保護者を対象に、心のケアを要すると思われることについて、また子どもの教育上の様々な課題や子育ての不安について相談業務を実施しています。</p>	こころの健康増進センター 管理運営(センター事業), 教育相談総合センター(こ ども相談センター・パトナ) 他	保健福祉局 教育委員会	こころの健康 増進センター 生徒指導課, こどもパトナ	105
推進 175	思春期に関わる関係機関の連携の強化	推進中 (継続)	<p>＜思春期・青年期精神保健ケースマネジメント事業(こころの健康増進センター)＞ 一つの機関だけでは対応できない複雑困難な背景をもつ問題について、保健・医療・福祉・教育・司法等の関係機関の連携強化と相談支援体制を充実させることにより、効果的な支援のあり方を構築するために実施しています。 ・相談窓口をこころの健康増進センター内に設置し、相談・検討を行い、必要な場合、支援活動チームを編成し支援しています。 ・連続講座(関係機関対象)の開催 ・若者の薬物問題について考える講演会(市民・関係者対象)の開催 ・思春期・青年期のこころの健康について考える講演会(市民・関係者対象)の開催 ・運営検討会議の開催</p> <p>＜教育相談総合センター(こども相談センター・パトナ)＞ こども相談総合案内(電話ガイド)により、相談内容に応じて適切な相談機関を紹介するとともに(②利用者:729人)、学校、PTA、大学、医療関係者、スクールカウンセラー、フリースクール、行政等が不登校の解決に向け、支援事業を行う「児童生徒登校支援連携協議会」の取組により連携を進めています。</p>	こころの健康増進センター 管理運営(センター事業), 教育相談総合センター(こ ども相談センター・パトナ) 他	保健福祉局 教育委員会	こころの健康 増進セン ター、保健医 療課 生徒指導課, こどもパトナ	105

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	---------

(2) 安心して妊娠・出産できる環境づくり

106

《重点》	176	不妊への支援の充実	推進中 (継続)	<p>＜不妊相談事業＞ 下京保健所・京(みやこ)あんしんこども館において、不妊に関する知識・情報の提供、不妊に関する相談及び不妊に係る悩みを持つ方同士の交流会を実施しています。(交流会は下京保健所のみ実施) 不妊相談者数 下京保健所 ⑯18件→⑰8件 京(みやこ)あんしんこども館 ⑯11件→⑰6件</p> <p>＜不妊治療費助成制度＞ 不妊治療を受けている夫婦等に対し、市内に居住している間に受けた治療に要した医療費の自己負担額の2分の1を、1年度の治療につき1人あたり3万円を限度として助成しています。また、医療保険が適用されない特定不妊治療(体外受精、顕微授精)については、1回の治療につき10万円まで、1年度当たり2回を限度として助成しています。 不妊治療費助成件数 ⑯2,428件→⑰2,518件</p>	不妊相談事業、不妊治療費助成制度	保健福祉局	保健医療課	107
《重点》	177	マタニティブルーズ、産後うつ病の早期発見と対応の充実	推進中 (充実)	<p>母子健康手帳交付時に妊娠婦健康相談、新生児等訪問指導時に母親の心身の健康状態を確認し、保健指導等を実施しています。</p> <p>＜新生児等訪問指導の拡充(こんにちは赤ちゃん事業)＞(平成20年度) 平成20年7月から、従来の、訪問を希望する家庭への新生児等訪問指導を拡充し、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、育児に関する様々な不安や悩みを聞き、相談に応じるほか、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境の把握及び助言を行い、支援が必要と判断される家庭については、育児支援家庭訪問事業をはじめ適切なサービスにつなげています。</p>	母子健康手帳及び副読本等の交付、新生児等訪問指導、妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症)等対策	保健福祉局	保健医療課	107
推進	178	妊娠婦の健康の保持増進のための支援	推進中 (充実)	<p>妊娠健康診査や健康教室、訪問等を実施する中での母体の健康状態の確認と保健指導を実施しています。</p> <p>＜妊娠健康診査の拡充＞(平成20年度) 妊娠・出産に係る経済的負担を軽減し、積極的な健診の受診を図るため、平成20年7月から公費負担の回数を1回から5回に拡充するとともに、里帰り出産等で府外の医療機関で受診する場合についても新たに公費負担の対象としました。</p> <p>＜新生児等訪問指導の拡充(こんにちは赤ちゃん事業)＞ 再掲</p>	母子健康手帳及び副読本等の交付、新生児等訪問指導、すくすく子育てサポート事業、妊娠婦健康相談、妊娠健康診査、妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症)等対策、B型肝炎母子感染防止対策 他	保健福祉局	保健医療課	108

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 179	妊娠、出産、産後に生じる様々な不安、ストレスの軽減や解消	推進中 (充実)	保健所での妊娠中の健康教室等において育児の情報提供や参加者間の交流に努め、夫や家族へ理解と協力を求めています。 保健所において、こころの健康に関する相談を行っています。また、こころの健康相談センターにおいて、こころの健康に関する相談及び診察を行っています。 <新生児等訪問指導の拡充(こんにちは赤ちゃん事業)> 再掲	こころの健康増進センター 管理運営(センター事業), すくすく子育てサポート事業, 新生児等訪問指導, 育児支援家庭訪問事業, 精神保健福祉相談	保健福祉局	こころの健康 増進セン ター、保健医 療課	108
推進 180	妊娠婦に優しい環境づくりの推進【新規】	推進中 (継続)	妊娠婦に優しい環境づくりを進めるためのシンボルマーク「プレママ・マーク」を活用し、妊娠婦への配慮ある社会を目指しています。 プレママ・バッヂ交付数 ⑨12,702個→⑩12,883個	プレママ支援事業	保健福祉局	保健医療課	108
推進 181	出産について妊婦や家族が望む出産ができるような情報の提供	推進中 (継続)	テキスト「赤ちゃんといっしょ」に、出産に関する情報を掲載し、情報提供しています。	すくすく子育て情報発信事 業	保健福祉局	保健医療課	109
推進 182	妊娠婦への歯科相談、歯科健診の受診勧奨	推進中 (継続)	妊娠婦対象の歯科健康診査として、成人・妊娠歯科相談を実施しています。 実施回数 ⑨148回→⑩150回 妊娠婦受診者数 ⑨926人→⑩942人	成人・妊娠歯科相談、すく すく子育てサポート教室 (パパママ教室)	保健福祉局	保健医療課	109

(3) 子どもの健やかな発達と育児不安を軽減するための支援

110

《重点》 183	乳幼児健康診査未受診者等養育上の問題を抱える家庭への支援【新規、再掲:006】	推進中 (継続)	(再掲:006)				111
-------------	---	-------------	----------	--	--	--	-----

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
《重点》 184	すくすく育児・サポート教室の充実	推進中 (継続)	<p>子どもを安心して産み育てる環境づくりの推進を図るため、保健所や地域で乳幼児と親に対し、①子どもの健康や安全に関する知識・情報の提供、②子育て親子の交流、集いの場の提供、③親の子育てへの負担感緩和を目的とした教室の開催などを行っています。</p> <p>◇保健所実施型 子育てパパ・ママ教室 ⑯実施回数246回 受講組数4,261組→⑰実施回数248回 受講組数4,131組</p> <p>◇地域出張型 ⑯実施回数219回 受講組数4,135組→⑰実施回数208回 受講組数3,637組</p> <p>◇親子の心の健康支援教室 ⑯実施回数160回 参加組数873組→⑰実施回数205回 受講組数833組</p>	すくすく子育てサポート事業	保健福祉局	保健医療課	112
《重点》 数値 185	乳幼児健康診査の充実 【目標】H15年度:92.9% →H21年度:97.0%	推進中 (継続)	<p>子どもの健やかな成長のため、発達・発育障害の早期発見・支援及び親子のこころの健康支援等の観点から4か月児、8か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査を実施しています。</p> <p>1歳6か月児健康診査受診率 ⑮92.9%→⑯93.2%→⑰92.5%→⑱93.1%→⑲94.7%→⑳95.3%</p>	乳幼児健康診査	保健福祉局	保健医療課	112
推進 186	必要な育児情報の提供	推進中 (継続)	<p>京都市独自のテキスト「赤ちゃんといっしょ」を作成し、妊娠中の過ごし方、出産の経過、赤ちゃんの育て方、予防接種等についての情報を提供するため、母子健康手帳とともに配布しています。(保健医療課、⑯12,702部→⑰12,883部) また、育児情報に関する発行物として、リーフレット「ほっこり子育て」、「すくすく子育てアドバイス!」等を発行しています。(こどもみらい館)</p> <p>＜育児情報に関する主な発行物＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援パンフレット ・母子健康手帳、母子健康手帳副読本等 ・テキスト「赤ちゃんといっしょ」 ・乳幼児健康診査時に配布するパンフレット ・「子どもの事故防止実践マニュアル」とび「子どもの事故の応急手当マニュアル」 ・リーフレット「ほっこり子育て」 ・すくすく子育てアドバイス! <p>＜新生児等訪問指導の拡充(こんにちは赤ちゃん事業)＞ 再掲</p>	すくすく子育て情報発信事業、新生児等訪問指導他	保健福祉局 教育委員会	児童家庭課、 保育課、保健医療課 こどもみらい館	112

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 187	母親の心身の健康の確保	推進中 (継続)	<p>保健所において、育児不安や心理的負担感が強い母親を対象に親子の心の健康支援教室を実施。継続的な支援が必要な家庭には、育児支援家庭訪問指導事業として家庭訪問による個別的な支援を行っています。</p> <p>こころの健康増進センターにおいて、こころの健康に関する相談及び診察を行っています。</p> <p>地域子育て支援ステーションや児童館、子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)において、交流や仲間づくりの場を設けています。</p> <p>＜新生児等訪問指導の拡充(こんにちは赤ちゃん事業)＞ 再掲</p>	<p>新生児等訪問指導、すくすく子育てサポート事業、育児支援家庭訪問事業、こころの健康増進センター管理運営(センター事業)、子どもネットワーク(地域子育て支援ステーション事業)他</p>	保健福祉局	こころの健康増進センター、児童家庭課、保育課、保健医療課	112
推進 188	父親の育児参加の推進	推進中 (継続)	すくすく子育てサポート事業(プレパパ・ママ教室)やふれあいファミリー食セミナー(プレママ・パパコース)など、妊娠中・育児中の保護者を対象とした教室を開催する中で、父親の育児への関わりを推進しています。	すくすく子育てサポート事業、ふれあいファミリー食セミナー	保健福祉局	保健医療課	113
推進 189	親子のふれあいの機会や場の提供	推進中 (継続)	すくすく子育てサポート事業や絵本ふれあい事業等の教室を通して、親子の交流機会をつくり、ふれあいの場を提供しています。	すくすく子育てサポート事業 絵本ふれあい事業	保健福祉局	保健医療課	113
推進 190	望ましい食べる力を育むための環境づくり【新規、再掲:295～298】	推進中 (継続)	(再掲:295～298)				113
推進 191	乳幼児期の歯科相談の充実【新規】	推進中 (継続)	<p>0歳から就学前までの乳幼児を対象に、各保健所・支所において2箇月に1回、歯科医師による健診相談と歯科衛生士による保健指導を実施しています。</p> <p>実施回数 ⑯84回→⑰84回 受診者数 ⑯623人→⑰683人</p>	乳幼児歯科相談	保健福祉局	保健医療課	113

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	-----

(4) 子どもが健やかに育つための安全な環境づくり

114

《重点》	192	小児救急医療体制の充実	推進中 (継続)	平日夜間及び休日等における急病患者に対する初期診療体制の確保及び診療のため、京都市急病診療所を市内6箇所(うち小児科2箇所)に設置しています。 京都市急病診療所小児科受診者数 ⑯18,137人→⑰19,575人	急病診療所等運営	保健福祉局	医務審査課	115
				平成17年9月1日から、休日・夜間等における小児科の初期救急医療体制の充実を図るため、京都市急病診療所の小児科診療の診療日・受付時間を拡充しました。 ・平日準夜帯(午後9時から午前0時)の診療を開始 ・日曜日、祝日、年末年始、お盆は、「午前10時から午後10時」を「午前10時から午前0時」に延長 ・土曜日は、「午後6時から午後10時」を「午後2時から午前0時」に拡大				
《重点》	193	子どもの事故防止に関する取組の充実【新規】	推進中 (継続)	<主な取組> 「京(みやこ)あんしんこども館」における市民に対する相談、指導、情報提供及び子育てに関わる機関の職員に対する研修(来館者数 ⑯3,160人→⑰2,907人) 保健所で行う母子健康手帳の交付、乳幼児健康診査、妊娠中からの子育て支援教室(両親教室)、訪問指導における相談、指導、情報提供 保育所や幼稚園、児童館など子どもを預かる施設における事故防止に向けた環境整備と子どもへの指導	子ども保健医療相談・事故防止センター(京(みやこ)あんしんこども館) 他	保健福祉局	児童家庭課、保育課、保健医療課	116
				全市立幼稚園16園において交通教室を実施するとともに、防犯監視システム(カメラ・モニタ・センサー等)による安全管理を推進しています。	幼稚園	教育委員会	学校指導課、体育健康教育室	116
《重点》	194	病気回復期の子どもを持つ親への育児支援の充実	推進中 (継続)	<乳幼児健康支援デイサービス事業> 乳幼児を対象として、市内の5箇所の医療機関において、病気回復期にある子どもを家庭で保育できない方のために一時的な保育を実施しています。 延べ利用者数 ⑯948人→⑰714人	乳幼児健康支援デイサービス事業	保健福祉局	保健医療課	116
				慢性疾患や障害のある子どもが、地域で安心して暮らせるように医療給付及び日常生活用具の給付を行うとともに、保健師の家庭訪問等による相談を行っています。	小児慢性特定疾患治療研究事業、特定疾患治療研究事業、自立支援医療(育成医療)、未熟児養育医療給付 他	保健福祉局	保健医療課	116

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 196	乳幼児突然死症候群(SIDS)予防の推進	推進中(継続)	母子健康手帳に掲載し、啓発を行っているほか、新生児等訪問、乳幼児健康診査時に指導を実施しています。	母子健康手帳及び副読本等の交付、乳幼児健康診査、すくすく子育てサポート事業、新生児等訪問指導事業	保健福祉局	保健医療課	117
推進 197	予防接種の取組の推進	推進中(充実)	定期の予防接種を実施しています。 <麻しん・風しん予防接種の拡充>(平成20年度) 乳幼児期に1回だけ接種している世代について、中学1年生と高校3年生に相当する年齢の方を対象に2回目の接種を実施しました。当該拡充については、平成25年3月までの5年間実施します。	予防接種(百日咳、ジフテリア、破傷風、麻しん、風しん、日本脳炎、ポリオ、BCG)	保健福祉局	保健医療課	117
推進 198	応急手当の知識、技能の普及の推進	推進中(継続)	保育関係者を対象に、いざというときに必要な応急手当ができるよう救命講習を実施しました。 (実績) 47回 838人	救急高度化事業	消防局	救急課	117

(5) 子どもの安全な生活が確保される安心してくらせるまちづくり

118

《重点》 199	子どもの交通安全を確保するための活動の推進	推進中(継続)	やんちゃフェスタに「交通安全母と子のつどい」のブースを出展し、子ども運転免許証コーナーやパトカー・白バイ試乗コーナーなどを実施しています。 (やんちゃフェスタ(第1部)参加者:39,000人)	交通安全啓発	文化市民局	地域づくり推進課	118
《重点》 200	子どもの安全を含む地域の総合的なネットワークづくり【新規】	推進中(継続)	小学校区や元学区単位で、地域住民(各種団体)と区役所・支所、学校、警察署、消防署等の関係機関が連携し、防犯、防災、子どもの安全、地域福祉などの幅広い分野で地域特性に応じた取組を展開しています。 平成20年度までに累計149学区で実施	安全教育の推進	教育委員会	体育健康教室	118
				地域の安心安全ネットワーク形成事業	文化市民局	地域づくり推進課	118

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 201	市公用車「安心・安全のあたたかいまなざしプロジェクト」の推進【新規】	推進中 (継続)	<p>平成16年度から、市公用車約1,200台に「こども・地域あんしん・あんぜんパトロール中」のステッカーを貼付して走行することにより、子どもたちをねらう犯罪をはじめ事件や事故が起こりにくいまちの環境を作り出す取組を実施しています。現在、小学校、PTA等においても、車にステッカーを貼付して走行する自主的な活動が進められています。</p> <p>また、平成17年度には、上下水道局職員が水道メーター点検時等に「あんしん・あんぜんパトロール中」の腕章を着用する取組を開始し、さらに、教職員やPTA等が着用する「あんしん・あんぜんパトロール中」の腕章及び自転車用プレートを、全市立小学校等に配布するなど取組の拡大を図っています。</p>		総合企画局	市民協働政策推進室	119

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	-----

4 次代を担う子どもたちが心豊かに生きる力をはぐくむことができるまちづくり

(1) 生きる力をはぐくむ教育環境づくり

ア 開かれた学校づくりと地域ぐるみ・市民ぐるみの教育の推進

《重点》	202 人づくり21世紀委員会	推進中 (継続)	<p>人づくり21世紀委員会は、「子どもたちのために、今、大人として何ができるか、共に考え行動する」ネットワークとして、平成10年2月に発足しました。平成16年6月からは、子どもの命にかかる緊急課題に取り組み、その成果をもとに、平成18年6月、市内96団体の幹事団体や市民の声を「人づくり21世紀委員会からの提言」にまとめ、京都市長に提出しました。平成20年度も、「子どもを共に育む京都市民憲章」の普及実践に向けて、子どもを取り巻く様々な課題の解決のためのフォーラムや研修会の実施、各行政区実行委員会での地域に根差した取組や啓発活動を実施しました。</p> <p>＜平成20年度実施状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子どもを取り巻く緊急課題に関する「人づくり連続講座」の開催(年2回) ②行政区別「人づくり」ネットワーク実行委員会の取組(通年、計48事業、延べ参加者数7500人) (中学生と地域の大人との「ふれあいトーク」、身近な子育てについての話し合いなど) ③人づくりフォーラムの開催(参加者2500人) ④人づくりニュースの発行(年3回、153,000部) 	人づくり21世紀委員会	教育委員会	生涯学習部 家庭地域教育支援担当	121
《重点》	203 まち全体を学びと育ちの場とする「みやこ子ども土曜塾」【新規】	推進中 (継続)	<p>完全学校週5日制を契機とし、土曜日・日祝日、夏休み等の学校休業日において、京都ならではの多様な学習資源を生かした豊かな学びと育ちの場を子どもたちに提供しています。また、企業や大学、博物館、神社仏閣、NPO法人などの市民ボランティアが、事業趣旨を踏まえ、伝統芸能、芸術、スポーツ、自然活動など様々な体験活動を企画・実施。情報誌「GoGo土曜塾」及びホームページにより情報発信しています。</p> <p>＜平成20年度実施状況＞</p> <p>【土曜塾企画】企画数:約5,000企画、参加者数:約100,000人 【GoGo土曜塾】発行回数:年9回、発行部数:各号130,000部</p>	みやこ子ども土曜塾	教育委員会	生涯学習部 家庭地域教育支援担当	122
《重点》	204 学校運営協議会【新規】	推進中 (継続)	<p>京都市では、学校運営協議会制度を、保護者や地域の方々の学校教育への参画意識を高め、ボランティアなどによる学校への支援を充実させるための「核」と位置づけており、指定の拡大を図りながら、その成果を本市教育の充実につなげています。</p> <p>⑨110校に設置(90小学校、10中学校、4総合支援学校、6幼稚園) →⑩142校に設置(114小学校、17中学校、5総合支援学校、6幼稚園)</p>	学校運営協議会推進事業	教育委員会	学校指導課	122

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》	205 学校評議員制度と学校評価システム	推進中 (継続)	<p>保護者や地域の方々などから学校運営に関する様々な御意見をいただく学校評議員制度と、教職員による自己評価、保護者や地域の方々による外部評価、児童・生徒による評価を柱に学校評価システムを全学校・幼稚園で導入しており、両制度を活用して教育活動の充実を図っています。</p> <p>⑯全校・幼稚園で延1,936名の学校評議員を委嘱 →⑰全校・幼稚園で延1,231名の学校評議員を委嘱</p>	開かれた学校づくり(学校評議員制度と学校評価システム)	教育委員会	学校指導課	122
《重点》	206 保・幼・小・中連携の推進【新規】	推進中 (継続)	<p>保育所(園)、幼稚園、小学校、中学校の間で、子どもたちの発達の連続性を考慮しながら円滑な接続を図るため、保育所(園)の保育士、幼稚園・小・中学校の教員等を対象とした合同研修会を開催しています。また、中学校区を単位とする地域において、その地域内の子どもたちの健全育成を図るために、地域全体での連携を推進する実践推進校を指定し、研究・実践を進めています。</p> <p><平成20年度の主な取組> 各中学校区で実践研究に取り組み、保育士・教員の合同研修会を開催しました。</p>	保幼小中連携	教育委員会	学校指導課	122
《重点》	207 学校支援ボランティア	推進中 (継続)	<p>様々な職業や分野についての豊富な知識や技能を有する地域の人たちのゲストティーチャーをはじめ、図書館や学校行事などに、ボランティアとして学校を支援していただいている。なかでも広域で活動していただける方については、登録したうえで学校からの申請に基づき派遣しています。</p> <p>登録者 ⑯328人→⑰378人 延派遣人数 ⑯1,764人→⑰1,659人</p>	開かれた学校づくり(学校支援ボランティア)	教育委員会	学校指導課	122
《重点》	208 大学との連携による学生ボランティア 学校サポート事業	推進中 (継続)	<p>市内外の大学等との連携の下、教職を目指す学生や高い専門的知識・技能をもった学生を学校・幼稚園にボランティアとして派遣し、各教科やクラブ活動の指導補助などの教育支援を行うことにより、一人一人の子どもに対するきめ細かな指導の充実をはじめ、学校教育活動の一層の活性化を図っています。平成20年度も連携大学の拡大を図りました。</p> <p>連携大学・短期大学等 ⑯61大学→⑰67大学 活動学生数 ⑯1415人→⑰1486人</p>	「学生ボランティア」学校サポート事業	教育委員会	教員養成支援室	122
推進	209 地域生徒指導連絡協議会	推進中 (継続)	<p>地域生徒指導連絡協議会は、PTAや地域の各種団体及び学校を構成員として、すべての中学校区ごとに組織されており、地域における子どもたちの健全育成や問題行動の未然防止を図る取組を展開しています。</p> <p><平成20年度実施状況></p> <p>①地域生徒指導連絡協議会数 72中学校区 ②京都市地域生徒指導連合会研修会の開催(人づくり21世紀委員会主催共催)</p>	地域生徒指導連絡協議会	教育委員会	生涯学習部 家庭地域教育支援担当	123

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	---------

イ 子どもたちの安全の確保

123

《重点》	210	京都市子ども安全会議の設置【新規】	推進中 (継続)	平成16年4月に、学校・PTA、人づくり21世紀委員会等の代表の参画を得て、「京都市子ども安全会議」を設置。地域ぐるみで子どもを守る取組を推進するとともに、市民一人一人が安心・安全に暮らせる地域づくりを目指した「京都市版・安心安全ネットづくり」と連携し、子どもの安心安全ネットワークを構築しています。	⑩京都市子ども安全会議を1回開催	京都市子ども安全会議	教育委員会	体育健康教育室	123
《重点》	211	子どもの安全を含む地域の総合的な ネットワークづくり【新規、再掲:200】	推進中 (継続)	(再掲:200)					124
《重点》	212	子どもたちのインターネット等の「活用 指針」検討プロジェクト	完了	(平成17年1月に検討プロジェクトから報告書が提出され、検討を完了しました。) 子どもたちのインターネットの利用の現状と課題を分析し、学校教育、家庭教育における活用指針等を作成する検討プロジェクトから提出された報告書を、小・中学校の全教職員に配布するとともに、各学校では「情報モラル」指導が実践されています。また、家庭用パンフレットを全家庭に配布しました。 また、子どもの命にかかる「携帯電話・インターネット」の課題解決に向け、NPO青少年メディア研究協会と連携しながら、「語り部」(携帯電話市民インストラクター)を養成し、家庭教育学級等で周知・啓発活動に努めています。 <20年度実施状況> 携帯電話市民インストラクター17人、活動実績43回		'子どもを取り巻く緊急課題'語り部養成講座	教育委員会	情報化推進 総合センター	124
推進	213	「子ども110番のいえ」の活用	推進中 (継続)	教職員による「子ども110番のいえ」巡りなどを行い、地域の防犯推進委員会等との連携を強化するとともに、子ども自身も訪問し、緊急時に備える取組を進め、学校・家庭・地域が連携して子どもの安全を確保できる体制づくりを推進。			教育委員会	体育健康教育室	124
推進	214	関係機関・団体と提携しての「安全 マップ」の充実	推進中 (継続)	各学校で、通学路や学校周辺の危険箇所を点検し、危険内容と箇所を地図に明記した「安全マップ」を作成、児童・生徒に周知しています。また、「安全マップ」は子どもの視点に立って、学校・地域の連携のもと、適宜更新しています。			教育委員会	体育健康教育室	124

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	-----

ウ 家庭への働きかけ

124

《重点》	215「おやじの会」	推進中 (継続)	<p>学校単位での「おやじの会」による様々な活動を通して、父親たちの家庭教育や地域活動への参加促進を図っています。</p> <p><平成20年度実施状況> おやじの会実施校・園数 ⑩178校・園(小154, 中12, 総3, 幼9) おやじEXPO2008の開催 「OK企業」(O:おやじの K:子育て参加に理解がある)認定企業の促進 【認定企業数】186社</p>		教育委員会	生涯学習部 家庭地域教育支援担当	125
《重点》	216 子育てサポーター養成事業	推進中 (継続)	<p>子育てに不安を抱える親への助言や子育て交流事業の企画・運営をはじめ、地域における子育てネットワークの構築などの活動を担う人材(子育てサポーター)の育成を図っています。平成20年度は、活動の支援を充実させるとともに、これまでの成果と課題を踏まえ、今後のあり方についての検討を行いました。</p> <p><平成20年度実施状況> 子育てサポーター ⑩151名</p>	実践講座 スキルアップ講座 親と子のほっとタイム	教育委員会	生涯学習部 家庭地域教育支援担当	125
《重点》	217 地域に開かれた子育て支援推進事業	推進中 (継続)	地域に開かれた幼稚園づくりの推進及び家庭や地域における子育て機能の向上をめざし、児童・保護者同士の交流を促進する取組や子育ての悩み相談などの子育て支援の事業を実施しています。		教育委員会	学校指導課	125
《重点》	218 特色ある幼稚園教育推進事業 (地域子育て相談事業)	推進中 (継続)	<p>平成13年度から私立幼稚園において取り組まれてきた「地域子育て相談事業」を発展させ、各園・地域の特色や課題に対応した各園独自の教育実践をさらに推進するため、平成19年度から「特色ある幼稚園教育推進事業」として、「預り保育の充実」等、対象となる事業を拡大するとともに、より柔軟に活用できる制度とし、(社)京都市私立幼稚園協会が各園で取り組んでいる特色ある幼稚園教育に対して、京都市から事業充実のための助成を行っています。</p> <p>私立幼稚園協会への補助 ⑩45,000千円</p>	私立幼稚園等助成	教育委員会	総務課	125
《重点》	219 私立幼稚園の保護者等の負担軽減	推進中 (充実)	<p>保護者の経済的負担の軽減と公私間格差の是正を図るため、国庫補助事業として保育料を補助しています。また、教材費補助及び第3子以降の保育料ほぼ無料化を図る同時に在園加算補助として、国庫補助対象外の部分についても、京都市独自に補助を実施しています。(第3子以降の保育料ほぼ無料化を図る同时に在園加算補助は、平成20年度から)</p> <p>補助対象者数 ⑩16,147人</p>	私立幼稚園保護者助成	教育委員会	調査課	125

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 220	家庭の教育力向上サポートチーム	完了	<p>「子育て語り合いサロン」や「学校ふれあいサロン」、「子育てサポート養成事業」の実施(平成15年度以降)によって地域での子育て支援の仕組みが定着したこと、また、「子どもを共に育む『親支援』プログラム」(224参照)の平成22年度本格実施に向けて、外部委員を含む統括部会、年代別部会等を創設したことから、「家庭の教育力向上サポートチーム」は発展的に解消しました。</p> <p>⑩子育てサポートー委嘱者合計:151名 ⑩子育て語り合いサロンの実施学校・幼稚園数:91校園 ⑩学校ふれあいサロン等の利用人数:330,765人</p>		教育委員会	生涯学習部 家庭地域教育支援担当	126
推進 221	行動するPTA(京都市PTA連絡協議会)	推進中(継続)	<p>「PTA指導者研修事業」として、各校PTA役員等を対象にPTA活動実践講座を実施するとともに、「PTA指導者育成事業」を各支部PTAに委託して実施しています。あわせて校種別にPTA研修会を実施しています。</p> <p>また、全市のPTA会員が一堂に集い各校種の特色を生かした手作りのイベントとして「京都市PTAフェスティバル」を開催し、平成20年度は2万3千人の参加を得ました。</p> <p>さらに、「PTA人権啓発活動」として、人権啓発パレードや人権尊重街頭啓発活動を実施するとともに、情報発信として、子どもの安心安全情報等の発信機能を持つPTA・おやじの会ホームページ開設するとともに、「京都市PTAしんぶん」を概ね2ヶ月に1回、年間7回程度の発行し、全家庭に配布(108,000部発行)しています。</p>		教育委員会	生涯学習部 社会教育担当	126
推進 222	温もりのある地域社会づくり推進事業	推進中(継続)	<p>子育ての悩みや生活の知恵などあらゆる相談に応じるボランティア電話相談事業「温もりの電話」や地域での様々なふれあい事業、子育て支援活動など、京都市地域女性連合会を中心に、大人から子どもまですべての人が安心して暮らせる温もりのある地域づくりのための取組を進めています。</p> <p>＜平成20年度の主な取組＞ 子育て支援事業「となりのおばちゃん子育て支援をする！」を、各地域で継続実施。</p>		教育委員会	生涯学習部 社会教育担当	126

エ 乳幼児の子育て支援の総合推進拠点「こどもみらい館」における施策推進

《重点》 223	乳幼児の子育て支援に関する専門的な調査・研究、子育て支援のための人材育成機能の拡充	推進中(継続)	<p>＜乳幼児子育て支援研究プロジェクト＞</p> <p>平成20年度は実行委員会を6回開催し、平成19年度に引き続き「親のニーズから見る子育て支援の方向性」をメインテーマに京都市内の子育て当事者、団体、支援者、行政機関などの参加を得て、5年間の取組と研究成果を発信する報告会を実施するとともに、「研究プロジェクト報告書」を発行しました。</p>	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127
-------------	---	---------	---	--------------------	-------	---------	-----

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
《重点》 224	親教育プログラムの開発と体系化【新規】	推進中(充実)	「子どもを共に育む京都市民憲章」の趣旨を踏まえ、親自身が「親」としての心構えや知識、技術等を子どもの発育・発達段階に応じて学ぶ体系的なシステムを研究・開発するとともに、保育園(所)、幼稚園、学校、保健所、民間の子育てサークル、関係機関等での活用を推進し、「親の学び」を支援する「子どもを共に育む親支援プログラム」の策定・実践を進めています。 平成22年度からの本格実施に向けて、平成20年度は、プロジェクト会議及び妊娠期乳幼児期、学童期思春期の2つの年代別部会を設置し、「学習プログラム」の検討を行いました。	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127
《重点》 225	子育て支援ボランティアの育成	推進中(継続)	全市的な子育て支援土壤作りをめざして、市民ボランティアの育成に取り組んでいます。 <こどもみらい館子育て支援ボランティア養成講座実施(元気ランド・図書館・読み聞かせ)> ⑩登録者57人(登録者総数 213人) <地域子育て支援ボランティア養成講座実施> ⑩修了生36人(修了生総数191人)	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127
《重点》 226	乳幼児子育てサポート推奨制度の創設【新規】	推進中(継続)	子育て支援総合センターこどもみらい館において、子育て支援のために遊びの場・活動の場を提供してもらえるパートナーを募集し、家庭で孤立する親子をサポートするとともにサークル活動の活性化を図っています。また、こどもみらい館に子育てサークルを登録し、その情報を発信することにより、子育て家庭へのサークルの参加を促進しています。 ・子育てサークル等の募集(34件、平成21年3月末現在) ・乳幼児を持つ保護者や子育てサークル等に対して、活動の場を提供していただける方をホームページで募集し、情報発信(55件、平成21年3月末現在)	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127
《重点》 227	「子育てサポート推進チーム(仮称)」の創設【新規】	完了	保育士・幼稚園教諭のカウンセリングマインド向上のため平成17~18年度の2年にわたり「子育てサポートチーム」を設置し、研究報告書を作成しました。 研究報告書の活用方法等や、現場における事例等を把握するためアンケートを実施し、平成20年度には、そのアンケートにより実施状況をまとめました。	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127
《重点》 228	他都市の子育て支援中核施設との共同連絡会議の設立【新規】	推進中(継続)	他都市からの参加も得て、こどもみらい館での3つの研究プロジェクトの5年間の取組と研究成果を発信する報告会を実施するとともに、報告会の内容を含めた冊子「こどもみらい館研究プロジェクト報告会」を他都市の幼児教育センター・子育て支援センター等に情報発信しました。	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 229	乳幼児の子育て支援の道標としての役割を果たす研究機能の充実	推進中 (継続)	<p>＜乳幼児子育て支援研究プロジェクト＞</p> <p>乳幼児期の子育て環境づくりについて、京都市内の子育て当事者、団体、支援者、行政機関などの参加を得て研究を推進しています。平成20年度は実行委員会を6回開催し、「親のニーズから見る子育て支援の方向性」をメインテーマに、5年間の取組と研究成果を発信する報告会を実施するとともに、「研究プロジェクト報告書」を発行しました。</p> <p>＜就学前教育研究プロジェクト＞</p> <p>保育園(所)・幼稚園での主体的な遊びを中心とした保育の意義を明らかにし、総合的な生活の中から学びの芽を読み取り、小学校教育へのつながりを考えるプロジェクトを推進しています。平成20年度は「子どもの心の育ち」をテーマとし、毎月エピソードをまじえての話し合いを実施しました。</p> <p>＜地域と結ばれた事例研究プロジェクト＞</p> <p>地域の資源や教育力を活かし、日々の保育の中で、地域の人々とのふれあいや、地域の文化・行事にふれる体験の機会を意図的に取り入れている事例について取りまとめました。</p> <p>＜こどもみらい館研究プロジェクト報告会の実施と報告書の作成＞</p> <p>こどもみらい館において、3つの研究プロジェクトの5年間の取組と研究成果を発信する報告会を実施し、報告会の内容を含めた冊子を発行しました。</p>	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127
推進 230	共同機構研修事業の充実	推進中 (継続)	家庭教育と幼児教育の充実などが新たに盛り込まれた新教育基本法や幼稚園教育要領、保育所保育指針の改定等を踏まえ、「乳幼児期に大切に育てたい心の土台」「幼稚園教育要領、保育所保育指針の改定内容の周知を含め保育者としての実践力の向上」「親育ちへの家族支援」をねらいとし9回11講座の研修会を実施し、参加者は延べ2,873人となり、前年に比べ36.9%の増員となりました。	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127
推進 231	子育て支援ボランティアの養成と子育てサークルへの支援	推進中 (継続)	子育て支援ボランティア(元気ランドボランティア、読み聞かせボランティア、図書館ボランティア)の養成(⑯登録者57人、登録者総数213人)を推進しています。また、子育てサークルに活動場所の情報を提供し、サークルの登録をホームページで情報発信するとともに、「子育てサークル情報コーナー」を設け、サークルのチラシや情報誌等の配架しています。(平成21年3月末現在、34サークル登録)	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127
推進 232	子育ての悩みや不安を持つ保護者のための総合的な相談事業の推進	推進中 (継続)	対面相談、健康相談、電話相談、こども元気ランドでの相談を行っています。 対面 相談件数 ⑯2,122件→⑰2,500件 健康 相談件数 ⑯ 90件→⑰ 121件 電話 相談件数 ⑯ 956件→⑰ 989件 元気ランド相談件数 ⑯ 307件→⑰ 235件	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 233	子育て不安の解消や仲間づくりをも視野に入れた「子育て講座」の開催	推進中(継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての井戸端会議(⑩87回 参加者2,814人) <うち 双子の井戸端会議(6回 181人) おとうさんといっしょ(6回 117人)> ・館長の井戸端サロン(⑩13回 参加者879人) ・父親のための 育ちあいの子育て講座の開催(⑩7回試行) ・こどもみらいすぐすぐ教室(⑩6回連続 参加者延べ128組) 	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127
推進 234	子育て図書館による絵本、お話とふれあう機会づくりの推進	推進中(継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援ボランティアによる絵本の読み聞か(毎日2回) ・毎月1回のお楽しみ会(人形劇等) ・毎月第3金曜日の赤ちゃんと絵本のふれあい会 ・みらいっこまつりでの絵本リサイクルの実施 	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127
推進 235	的確な子育て情報の発信(情報誌、インターネット、イベントなど)	推進中(継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報誌「みらいっこ」(赤ちゃん版)の発行 ・こどもみらい館ホームページでこどもみらい館の事業内容、子育て図書館の蔵書情報、各種子育て支援情報を発信 	子育て支援総合センターこどもみらい館	教育委員会	こどもみらい館	127

才 確かな学力と豊かな創造性をもつ子どもたちの育成

128

《重点》 236	「学習指導ステップアップ大綱」の推進【新規】	推進中(継続)	<p>小・中学校での指導の充実や読書・理科の市民会議の答申などを踏まえた家庭学習の充実を目指す総合的な指針として、「教育課程指導計画」、「わかる・のばす学びの事例集」、「総合的な学習の時間実践事例集」、「家庭学習の手引き」の項目から成る「京都市立学校学習指導ステップアップ大綱」を作成し、取組を推進しています。</p>		教育委員会	学校指導課	128
《重点》 237	小中一貫教育の推進	推進中(充実)	<p>義務教育9年間の子どもたちの学びを保障するため、文部科学省「教育課程特例校」指定(旧構造改革特区「京都市小中一貫教育特区」)に加え、20年度新たに、教育課程・教育活動の連続性の向上、小中学校教職員間の連携の充実、家庭・地域との連携・協力の推進等に先進的に取組む小中学校を独自に実践校として指定し、その成果を全市に展開しています。</p> <p><平成20年度指定>小中一貫教育校:6中学校ブロック 小中一貫教育推進校:17中学校ブロック</p>		教育委員会	学校指導課	128

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
《重点》	238 「理科好きな子ども」の育成をめざす理科教育の推進	推進中(継続)	<p>「21世紀の『理科』を考える京都市民会議」の提言を踏まえ、子どもたちが科学についての正確な理解力や判断力を身につけるとともに、自然に親しみ自然のものの成り立ちを理解することを目指して、学校、家庭、地域が一体となった市民ぐるみの「理科・科学」の振興を図っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年科学センター総利用数 ⑩154,334人 ・「京都理科市民会議ニュース」発刊回数 ⑩3回 ・理科支援員・特別講師の配置(配置学級率) ⑩51.9% 	理科教育振興	教育委員会	青少年科学センター	128
《重点》	239 「本好きな子ども」を育む「子ども読書活動推進計画」の推進	推進中(充実)	<p>「京都市子ども読書活動推進計画」の計画期間終了に伴い、新計画の策定に向けて「京都市子ども読書活動推進計画次期計画策定委員会」を設置しました。また、読書活動についての子ども・保護者アンケートを実施し、これまでの取組の成果と課題を確認しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「めざせ100冊！読書マラソン」 ・京都市子ども読書活動優秀実践団体(者)表彰 ・京都市子どもの読書活動優秀実践学校・幼稚園表彰 	教育委員会	生涯学習部 家庭地域教育支援担当	129
《重点》	240 実践を通して環境の大切さを学ぶ環境教育の推進	推進中(充実)	<p>児童・生徒が豊かな地球環境を守り大切にすることについて考え方行動していくよう、平成20年度は小・中・総合支援学校全260校(⑩242校)で「KES学校版」の取組を行いました。</p>	KES学校版「環境にやさしい学校」の認証取得、こどもエコライフチャレンジ推進事業	教育委員会	学校指導課	129
《重点》	241 国際都市京都に相応しい小学校からの英語教育の推進	推進中(充実)	<p>京都市独自の「京(みやこ)英語スタンダード」を作成し、全ての小学校においてもALTを活用した英語活動を展開するなど、小中連携による英語教育を推進しています。平成20年度は、次期学習指導要領(平成23年度から実施)を先取りし、全小学校の高学年(5・6年)において、小学校英語活動を年間35時間実施しました。</p>	国際理解教育・英語教育の推進	教育委員会	学校指導課	129

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》 242	時代のニーズに即応したIT教育・起業家教育の推進	推進中 (継続)	<p>「光京都(ひかりのきょうと)ネット」や校内LANの整備などの最新教育環境のもと、産学公連携により、情報を活用した教育教材を総合的・体系的に開発することを目的に設置された「21世紀型教育コンテンツ開発委員会」を中心に実施しています。</p> <p>また、産学公の連携により、小中学校段階から望ましい勤労観・職業観を育む「キャリア教育」を推進しており、「京都まなびの街生き方探究館」内に、小・中学生が社会や経済の仕組を学習する「スチューデントシティ」「ファイナンスパーク」と、京都の企業創業者・科学者等の業績等を展示する「京都モノづくりの殿堂」、殿堂に関連したモノづくりの体験学習が可能な「モノづくり工房」を開設しました。</p> <p>スチューデントシティ実施校数⑩177校 ファイナンスパーク実施校⑩32校</p>	スチューデントシティ、ファイナンスパーク事業	教育委員会	情報化推進 総合センター 京都まなび の街生き方 探究館 学校指導課	129
《重点》 243	人権尊重の精神や生命に対する畏敬の念を培う道徳教育の振興	推進中 (継続)	「京都市道徳教育振興市民会議」から提出された最終提言となる「メッセージ」の趣旨を踏まえ、心豊かで思いやりにあふれる子どもたちの育成を図るため、小学校指導資料「夢いっぱい」、中学校指導資料「心の旅」を作成・配付しています。また、「しなやかな道徳教育」推進校による創意工夫をこらした取組の展開など、学校・家庭・地域が一体となった道徳教育を推進しています。	しなやかな道徳教育推進 校 「夢いっぱい」「心の旅」等 の作成	教育委員会	学校指導課	129
《重点》 244	総合育成支援教育の推進(再掲: 033)	推進中 (充実)	(再掲:033)				129
推進 245	特色ある学校づくりの新たな教育課題に挑戦する「みやこ学校創生事業」	完了	「みやこ学校創生事業」は平成19年度をもって完了しました。	みやこ学校創生事業	教育委員会	学校指導課	129
推進 246	「研究会テスト」を発展・充実させた 「学力定着調査」	推進中 (継続)	小学校1年生から中学校2年生までの全児童・生徒を対象に「学力定着調査」を実施し、学力の定着度合いを測るとともに、指導の充実に生かす取組を推進しています。	学力向上総合支援事業	教育委員会	学校指導課	130

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 247	伝統と文化を理解・尊重し、継承する子どもたちの育成を目指す伝統文化教育の推進	推進中 (継続)	「京の雅探求総合推進事業」として、京都三大祭等の伝統文化体験活動、伝統産業職人を派遣した制作体験教室の実施等、京都ならではの教育活動等を推進しています。	京の雅探検隊 京都三大祭等の伝統文化体験活動、伝統産業職人を派遣した制作体験教室の実施	教育委員会	学校指導課	130
推進 248	人権の大切さを理解し人権尊重を規範とした日常の行動がとれる子どもたちの育成を目指す人権教育の推進	推進中 (継続)	学校において人権教育を推進するための指針である「《学校における》人権教育を進めるにあたって」に基づき、人権という普遍的文化の担い手の育成を目指して、各学校において教育活動全体を通じ家庭・地域との連携のもとで取組を進めるとともに、平成18年4月に作成した「人権教育指導資料集」を効果的に活用し、発達段階に留意した系統的な指導を推進しています。		教育委員会	学校指導課	130

力 心身ともに健全世界でたくましい子どもたちの育成

《重点》 249	不登校生徒のための「洛風中学校」の創設(及び「洛友中学校」の創設) 【新規】	完了	不登校経験のある子どもたちの進路展望を見出す学びと育ちの場として平成16年10月に「洛風中学校」を、平成19年4月に「洛友中学校」を開校しました。平成20年度、洛風中に43名、洛友中に8名の生徒が在籍しています。	不登校相談支援センターの運営	教育委員会	生徒指導課	131
《重点》 250	休日地域児童スポーツクラブの創設 【新規】	推進中 (継続)	地域住民の方々の協力を得て学区を越えてスポーツクラブを設置いただき、休日における児童のスポーツ活動を推進しています。平成20年度は、20小学校区(13中学校区)において、788名の児童が活動に参加しました。(実施種目:卓球、バド、硬テ、Gゴルフ、少林寺、茶道、手芸、竹太鼓等)		教育委員会	体育健康教育室	131
《重点》 251	こども専用体育館の建設【新規】	完了	子どもを対象にスポーツ活動を行っている団体に、気軽に交流試合等が行える場を提供し、さらなる子どもたちの健全育成等を図ることを目的に、平成18年4月に開館しました。年間で2万人以上の方に利用いただいています。	京都市スポーツ少年団育成事業	教育委員会	体育健康教育室	131

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》	252 地産地消(知産知消)推進プロジェクト【新規】	推進中 (継続)	<p>＜未来の農業センター育成事業＞ 子ども達に都市農業の持つ多面的機能及び「食」について理解を深めてもらい、その大切さを実感させるため、農作業体験や農家との交流活動、地元野菜を使った調理実習、地元農業についての学習会等の機会を提供しています。 【参加生徒数】左京区 修学院小107名、中京区 仁和小68名、北区 鷹峯小40名、南区 上鳥羽小169名、伏見区 向島小54名</p> <p>＜学校給食＞ 小学校給食等において、地場産物については従来から積極的に使用していますが、「地産地消(知産知消)推進プロジェクト」の提言を受け、京野菜を使用した献立の実施や、生産地を紹介する指導資料等の学校への配付等を通じて、さらなる食教育を推進しています。</p>	未来の農業センター育成事業、 学校給食	産業観光局 教育委員会	農業振興整備課 体育健康教育室	131
《重点》	253 スクールカウンセラーアイデアコンテスト	推進中 (継続)	<p>スクールカウンセラーの全市立中学校・高等学校への配置を継続し、小学校への配置を拡大しました。</p> <p>配置数 ⑨111校 → ⑩113校(中 75校、高 12校、小 26校)</p>	スクールカウンセラーアイデアコンテストの配置	教育委員会	生徒指導課	132
《重点》	254 エイズ教育、薬物乱用防止対策	推進中 (充実)	<p>①中京青少年活動センターにおいて、若者自身が支援者になるピアセンター養成講座(性などの問題について同年代(青少年)の支援者を養成する講座)を実施しました。 ⑨養成講座2回、参加者13名 → ⑩養成講座1回、参加者4名 HIV/AIDS映像とポスター展(わかものサロンにて) 37日間実施</p> <p>②南青少年活動センターにおいて、月2回、性に関する相談を実施しました。平成20年度から、出張レンアイロク向上委員会として、中京青少年活動センター・山科青少年活動センターでも実施しました。 ⑨相談22件、参加者79名 → ⑩相談20件、参加者49名 出張レンアイロク向上委員会 相談2件、14名</p> <p>警察官や学校薬剤師等、外部講師を招いた「薬物乱用防止教室」を全中・高等学校で実施するとともに、小学校での取組を充実させています。</p>	青少年活動センター	文化市民局	勤労福祉青少年課(財京都都市ユースサービス協会)	132

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 255	中学生の「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業	推進中 (継続)	中学生が事業者の協力を得て、それぞれの興味・関心に応じた多彩な職場体験や勤労体験を行っています。平成20年度は、78中学校・総合支援学校の生徒10,600名が約3,700の事業所で5日間の職場体験活動を実施しました。	中学生の「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業	教育委員会	生き方探究館	132

キ 魅力ある高校づくりの推進

132

《重点》 256	生徒の進路希望実現に向けた取組	推進中 (継続)	日々の授業改善や7时限授業の導入によるきめ細やかな教科指導をはじめ、大学見学会や進路懇談会、学習合宿、進学補習、校内模擬試験などを積極的に実施し、普通科系5校で4年制大学現役進学率は過去最高の61.8%を達成しました。また、厳しい就職状況の中、資格取得の推進や企業見学会、インターンシップによる勤労観・社会性の涵養等、社会で求められる素養の習得を図るとともに、教育委員会・校長会による経済団体への求人拡大要請はもとより、教職員による積極的な企業訪問・求人開拓等を行い、学校あっせんによる就職内定率は、全日制・定時制の全校で5年連続100%を達成しました。	特色ある高校づくり推進	教育委員会	学校指導課	133
《重点》 257	新学科と中高一貫教育の推進 西京高校・西京高校附属中学校【新規】	推進中 (継続)	未来社会創造学科「エンタープライ징科」と西京高校附属中学校の教育活動をさらに充実させるべく、学術顧問や外部講師を招いての講演会や活発な国際交流をはじめ、6年間の中高一貫教育の特色も生かしつつ、「社会で生きる力」「社会に貢献する力」を身に付けるための幅広い教育活動を展開しています。	特色ある高校づくり推進	教育委員会	学校指導課	133
推進 258	市立高校改革のパイロット校 堀川高校	推進中 (継続)	文部科学省指定「スーパー・サイエンス・ハイスクール」として平成14年度から3年間にわたり行った研究成果が高く評価され、引き続き17年度から5年間の指定延長を受け、研究開発と成果の普及に取り組んでいます。元本能小学校跡地に新設された理科分野の専門実験室や大講義室等において、理数系教育や探究活動等の教育実践を深めるほか、地域に開かれた「コミュニティカレッジ事業」、研究成果の発信のための「教育研究大会」を開催するなど教育センター機能の充実を図っています。	特色ある高校づくり推進	教育委員会	学校指導課	133
推進 259	豊かな国際センスとコミュニケーション能力の涵養 紫野高校	推進中 (継続)	文部科学省指定「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」(15~17年度)としての研究成果を生かし、英語による自己表現力や様々な情報通信機器を用いて世界と対話し、国際社会で活躍できる人材の育成を目指して、「発信・交流型」総合英語活動を展開しています。	特色ある高校づくり推進	教育委員会	学校指導課	133

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 260	「ものづくり」のスペシャリストの育成 洛陽工業高校	推進中 (継続)	文部科学省指定「目指せスペシャリスト」(15~17年度)の研究成果を生かし、産業界・大学との有機的な連携による工業教育プログラムを実践し、京都の産業界を担う若き起業家の育成に努めています。	特色ある高校づくり推進	教育委員会	学校指導課	134
推進 261	京都市スーパーハイスクールの指定 ～塔南・日吉ヶ丘・伏見工業高校～	推進中 (継続)	塔南高校および日吉ヶ丘高校は平成16年度、伏見工業高校は平成17年度で指定終了しました。 塔南高校では、平成19年4月に全国初の教員養成学科「教育みらい科」を創設するとともに、21年度までの3年間、文部科学省「研究開発学校」の指定を受け、将来の教育を担う優れた教育者を養成するための研究開発に取り組んでいます。 日吉ヶ丘高校では、平成19年度から3年間、文部科学省「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」の指定を受け、「英語科」で培った指導法の普通科への普及を目指し「コミュニケーション重視の文法指導法」の研究開発に取り組んでいます。 伏見工業高校においては、平成18年度から3年間、文部科学省「目指せスペシャリスト」の指定を受け、産業界とともに未来のスペシャリストを育成する工業教育のあり方について研究開発に取り組みました。	特色ある高校づくり推進	教育委員会	学校指導課	134
推進 262	全国唯一の公立美術工芸科単独高校 銅駒美術工芸高校	推進中 (継続)	平成16年度に従前の8学科を「美術工芸科」1科に学科改編し、大学等でのより高度な美術専門教育を念頭に教育活動の充実を図ってきました。その充実した教育実践の下、19年3月に卒業した「美術工芸科」第1期生は卒業生の3分の1が国公立大学に合格するという過去最高の進路実現を達成、第2期生(20年3月卒)・第3期生(21年3月卒)も卒業生の4分の1が国公立大学に現役合格するなどの進学実績を挙げています。	特色ある高校づくり推進	教育委員会	学校指導課	134
推進 263	全国唯一の公立音楽科単独高校 音楽高校	推進中 (継続)	中京区の元城巽中学校跡地への平成22年4月移転・開校に向け、芸術創造都市・京都にふさわしい音楽・美術活動の拠点施設となる新校舎、音楽ホール、地域開放型ギャラリー等を整備するとともに、将来の日本を代表する音楽専門家として活躍し、本市の文化芸術の発展に寄与する人材の育成に向け、教育内容の一層の充実に取り組んでいます。	特色ある高校づくり推進	教育委員会	学校指導課	134

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 264	定時制教育の取組	推進中 (継続)	平成19年4月に、昼間に学ぶことを希望する中学生の志望に応えるため、デュアルシステム等の新しい教育システムを導入した昼間定時制「システム工学科キャリア実践コース」を伏見工業高校に新設するなど、生徒の多様な興味・関心や進路実現に対応する教育を展開しています。	特色ある高校づくり推進	教育委員会	学校指導課	134

ク 子どもたちを取り巻く教育環境の整備

135

《重点》 265	小・中学校での30人学級の導入【新規】	推進中 (継続)	義務教育の最終段階である中学校3年生で、よりきめ細かい学習指導・進路指導を行えるよう、国の学級編制基準が40人である状況のもと、平成19年度から市独自で常勤講師を任用し30人学級を実施しています。 また、平成15年度から小学校1年生で、平成16年度からは小学校2年生まで拡大して35人学級を実施しています。	小学校1・2年生での35人学級の実施	教育委員会	教職員人事課	135
《重点》 266	小・中学校普通教室冷房化推進【新規】	完了	子どもたちの更なる教育環境の充実のため、小・中学校の全普通教室へエアコンを設置する政令指定都市で初めての「小・中学校全普通教室冷房化推進事業」を計画し、完了しました。 ⑯～⑰ 中学校全普通教室冷房化完了 ⑱ PFI手法導入による、小学校全普通教室冷房化完了	学校等施設整備	教育委員会	教育環境整備室	135
《重点》 267	全校校内LAN整備【新規】	完了	コンピューターを効果的に活用した創意工夫ある教育活動の展開を可能とするため、平成20年度に新たに38校で整備を行い、京都市立学校全校(270校)で校内LANの整備を完了しました。	学校コンピュータ環境整備	教育委員会	情報化推進総合センター	135
《重点》 268	教職員評価システムの構築【新規】	推進中 (継続)	平成17年度から全校・園の教諭を対象に試行実施しており、その結果に基づき、学識経験者、保護者代表、校長代表からなる「教員の評価に関する調査研究協力者会議」が平成18年2月に最終報告をとりまとめました。 平成18年度からは対象職種に養護教諭・養護職員、実習助手、栄養教諭・栄養職員、事務職員を加え、平成19年度からは新たに管理用務員、給食調理員も対象とし、全職種に対して実施しています。		教育委員会	教職員人事課	136

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 269	NPOとの連携による小学校の校庭の芝生化の推進	推進中 (継続)	気温の上昇や砂塵の発散などを防止し、環境への負荷を低減とともに、感受性と豊かな心を育成し「生きた教材」として環境教育に役立てるため、現在、9校で校庭を芝生化しています。(⑩東総合支援学校で実施)	学校等施設整備	教育委員会	教育環境整備室	136
推進 270	学校施設の耐震診断・耐震補強の推進	推進中 (継続)	昭和56年の新耐震基準以前に建築された学校施設の耐震化を図るため、平成17年度に全校完了した耐震診断の結果を踏まえ、平成22年度までの8ヵ年計画で学校統合や改築計画している学校を除き、全校での耐震化を着実に進行しています。平成20年度は、27校48棟の補強工事を実施し、全市の耐震化率81.4%となりました。	学校等施設整備	教育委員会	教育環境整備室	136
推進 271	教育実践功績表彰	推進中 (継続)	年齢や経験年数にとらわれず優れた教育活動の実践者を表彰する「教育実践功績表彰」について、市民や経済界が参画する選考委員会を経て、平成20年度は、511名の優秀教員を表彰しました。		教育委員会	教職員給与課	136

(2) 子どもの健全育成のための環境づくり

137

《重点》 数値	272 一元化児童館の整備 【目標】H16年度：101館 →H21年度：130館	推進中 (充実)	2館の新規整備(東福寺、葵) 一元化児童館数 ⑯109館→⑰111館	児童館(自由来館、学童クラブ事業)	保健福祉局	児童家庭課	140
《重点》 数値	273 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業の実施【新規、再掲:083】	推進中 (充実)	(再掲:83)				140

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
《重点》	274 学童クラブ事業の充実	推進中(継続)	<p>登録児童数 ⑯7,596人→⑰7,893人(平成20年4月現在、対前年比297人増) 待機児童対策実施(児童館新設・施設増築・学童分室整備等)</p> <p>平成18年4月から、多様な就労形態や子育ての実態を把握し、多様なニーズに対応できるよう、学校長期休業中及び土曜日における学童クラブ事業実施時間を拡大しています。 開始時間:(変更前)午前9時開始 → (変更後)午前8時30分開始</p>	児童館(自由来館、学童クラブ事業) 放課後児童健全育成事業(学童保育所実施分)	保健福祉局	児童家庭課	141
《重点》 数値	275 中高生と赤ちゃんふれあい交流事業の充実【新規】 【目標】H16年度:10箇所 →H21年度:30箇所	推進中(充実)	<p>中学生や高校生が、子どもを生み育てることの意義を理解し、子どもや家庭の大切さを理解できるようにするために、児童館を活用し乳幼児とふれあう機会を広げるための取組を進めています。</p> <p>(事業内容) ①児童館における「中高生と赤ちゃんとのふれあい交流会」の開催、②「赤ちゃん講座」の実施、③関連施設の見学、④関連イベントへの参加・ボランティア体験</p> <p>事業実施箇所数 ⑯22箇所→⑰26箇所</p>	中高生と赤ちゃんとの交流事業	保健福祉局	児童家庭課	141
推進	276 児童館の事業内容の充実を図るために、「京都市児童館活動指針」のより一層の推進	推進中(継続)	児童館が社会全体における子育てと次世代育成の中心となっていくために果たしていくべき役割を具体的に定めた活動指針である「京都市児童館活動指針」が、日々の児童館の活動に積極的に生かされるよう、児童館職員の研修等で活用し推進しています。	児童館(自由来館、学童クラブ事業)	保健福祉局	児童家庭課	141
推進	277 児童館における障害のある児童の受け入れ促進	推進中(継続)	<p>障害のある児童も障害のない児童も、共に健やかに育つための環境整備を図るため、障害のある児童の受入を促進しています。</p> <p>学童クラブ事業における障害のある児童の受入数 ⑯291人→⑰295人</p>	児童館(自由来館、学童クラブ事業)	保健福祉局	児童家庭課	141
推進	278 児童館における自由来館機能の強化	推進中(継続)	<p>児童の健全育成の拠点としての機能をより一層強化するため、自由来館児童の利用実態に基づき、開館時間の延長や施設機能の検討を行っています。</p> <p>年間自由来館者数 ⑯817,417人→⑰831,607人</p>	児童館(自由来館、学童クラブ事業)	保健福祉局	児童家庭課	141

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 279	児童館における土曜日及び学校長期休業中の事業充実	推進中(継続)	多様なニーズに対応できるよう、平成18年4月から学校長期休業中及び土曜日における学童クラブ事業実施時間を拡大しています。 開始時間:(変更前)午前9時開始 → (変更後)午前8時30分開始	児童館(自由来館、学童クラブ事業)	保健福祉局	児童家庭課	141
推進 280	幼児クラブ及び母親クラブ等地域組織活動のネットワーク化【新規】	推進中(継続)	「京都市児童館活動指針」の改定を受けて、乳幼児クラブ及び母親クラブの事業充実を図りました。	児童館(自由来館、学童クラブ事業)	保健福祉局	児童家庭課	141
推進 281	「やんちゃフェスタ」の実施	推進中(継続)	これまで、実施してきた「京都やんちゃフェスタ」及び「子ども・子育ていきいきフェア」について、その開催趣旨を引き継ぎつつ、「子どもを共に育む京都市民憲章」を踏まえ、より効果的・効率的に子育て支援を推進するため、子どもや子育て中の家庭を始めとするすべての市民を対象とした一連の総合的イベントとして見直し、2部構成で開催しました。 ・第1部：小学生以上を主な対象とする屋外型イベント 【日時】 平成20年10月25日(土) 【場所】 京都市梅小路公園 【来場者数】 39,000人 ・第2部：乳幼児親子を対象とする屋内型イベント 【日時】 平成20年11月29日(土) 【場所】 京都市勧業館みやこめつせ 【来場者数】 6,000人	やんちゃフェスタ	保健福祉局	児童家庭課	141

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載頁
------	-----	------	-------------------------------	------------------	-----	-----	-----

(3) 青少年の自主性と創造力をはぐくむまちづくり

142

《重点》	282	中高生の居場所づくり推進事業	推進中 (継続)	<p>①中京青少年活動センターにおいて、センターに訪れた青少年たちが交流できる機会を提供する「よるっチャ！」を実施しました。 26回、参加者160名</p> <p>②南青少年活動センターにおいて、個別的な相談支援、ケーキ作り・ダンス体験などの小グループでのプログラムなど、居場所づくりの支援事業を実施しました。 小プログラム22回、参加者253名 HPの更新11回、参加者453名</p> <p>③伏見青少年活動センターにおいて、在住外国人青少年交流事業を実施しました。 ⑯3回、参加者80名 → ⑰3回、参加者55名</p>	青少年活動センター	文化市民局	勤労福祉青少年課(財)京都市ユースサービス協会)	143
				<p>各児童館において、自主性を尊重し社会性をはぐくむことを重視しながら思春期児童の活動支援を行っています。</p> <p>日ごろの児童館活動では、中高生は年少の子どもたちのプレイリーダーやジュニアリーダーとしての役割を担っています。また、毎年開催しているやんちゃフェスタにおいては、中高生自らが企画する中高生ブースを開設しています。</p>	児童館(自由来館、学童クラブ事業)	保健福祉局	児童家庭課	143
《重点》	283	青少年活動センターにおける青少年の自主的活動・社会参加活動の支援	推進中 (継続)	<p>7箇所の青少年活動センターで約37万人の青少年が利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録青少年グループ ⑯509グループ→⑰429グループ ・育成団体 ⑯101団体→⑰102団体 ・相談件数 ⑯1,637件→⑰1,800件 	青少年活動センター	文化市民局	勤労福祉青少年課(財)京都市ユースサービス協会)	143
推進	284	青少年の意見を市政やまちづくりに反映する場の設置	推進中 (継続)	<p>①京都市青少年活動推進協議会専門委員会タスクチームに加わり、京都市ユースアクションプランの評価に参加 参加者2名</p> <p>②「選挙ドキドキ初体験プロジェクト」の実施 ・ボランティア・市民活動フェスタにて政治力フェスを開催</p> <p>③「ラウンドアイズ京都」(子どものときからの地域参加を進める事業)を市内2地域(西陣・宇多野)で実施 スタッフ13名、参加者15名</p> <p>④山科青少年活動センターにおいて、「若者が発信する21世紀 山科のまちづくり」を実施し、各々の団体の地域での活動報告や来場者全員で「山科のすきなところ、きらいなところ」などグループ討議して発表を行いました。 山科区内の中学校3校、大学1校、NPO団体1団体、センターボランティアグループ1グループ(計6グループ)他参加者44名</p>	京都市ユースサービス協会 青少年活動センター	文化市民局	勤労福祉青少年課(財)京都市ユースサービス協会)	143

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 285	ボランティア活動の推進	推進中 (継続)	7箇所の青少年活動センターにおいて、ボランティアスタッフ延べ788人が活動しました。 ⑯772人→⑰788人	青少年活動センター	文化市民局	勤労福祉青少年課(財)京都市ユースサービス協会)	143
			<福祉ボランティアセンター> 区域におけるボランティア活動の拠点である区ボランティアセンターと連携しながら、市全域における子どもを対象としたボランティア活動を総合的に支援するため、各種事業を実施しています。 ・福祉ボランティア活動を中心とする様々な情報の収集・提供 ・福祉ボランティア活動についての相談・紹介の実施 ・ボランティア活動に関する各種講座の開催 ・ボランティアグループへの活動支援 ・ボランティア活動の振興のための調査・研究 ・福祉教育・福祉学習の推進 ・災害ボランティア活動の推進	福祉ボランティアセンター(ひと・まち交流館 京都)	保健福祉局	地域福祉課	143
			市内外の大学等との連携の下、教職を目指す学生や高い専門的知識・技能をもった学生を学校・幼稚園にボランティアとして派遣し、各教科やクラブ活動の指導補助などの教育支援を行うことにより、一人一人の子どもに対するきめ細かな指導の充実をはじめ、学校教育活動の一層の活性化を図っています。平成20年度も連携大学の拡大を図りました。 連携大学・短期大学等 ⑯61大学→⑰67大学 活動学生数 ⑯1415人→⑰1486人	「学生ボランティア」学校サポート事業	教育委員会	教員養成支援室	143
推進 286	市民活動総合センターを拠点とした青少年の活動等の推進	推進中 (継続)	市民活動総合センターにおいて、青少年活動を含む幅広い分野のNPO・市民活動団体等に活動場所を提供するとともに、活動活性化の支援のための相談、市民活動団体等の育成、幅広い市民の交流の場の提供、連携・共同事業の展開などの事業を展開しています。 市民活動総合センター入館者数 ⑯131,834人→⑰139,464人 市民活動総合センターホームページアクセス数 ⑯129,726人→⑰129,372人	市民活動総合センターの運営	文化市民局	地域づくり推進課	144

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 287	国際的な視野を培う機会の充実	推進中(継続)	京都市国際交流会館において、アメリカ留学希望者を対象に、最近の留学事情の傾向、教育制度の日米比較、必要な資格・手続、大学選択の方法など全般的な事柄についての説明会を実施しました。 【日時】9月27日(土) 【参加者数】50名 京都大学及び京都教育大学に在籍している留学生を、京都市内の小中学校の授業へ派遣し、多文化の交流・紹介を通じて国際理解を深めました。 【学校への派遣数】31件(12校) 【児童・生徒数】1,690名 【留学生登録者数】17カ国・地域 47名	アメリカ留学相談会 子どものための国際理解教育協働促進 国際理解プログラム	総合企画局	国際化推進室((財)京都市国際交流協会)	144
			世界各国から多数の外国人旅行者が訪れる京都市宇多野ユースホステルにおいて、次の事業を実施しました。 ①ジュニアヘルパーの受入れ(4名6日間) ②市内の小学4~6年生を対象とする体験宿泊事業(3月14,15日 20名参加 ハツ橋作りを外国人に教えるとともに、外国の料理を教えてもらい、翌日の昼食で実際につくるプログラム)	京都市宇多野ユースホステルにおける青少年育成・国際交流事業	産業観光局	観光企画課	144
			伏見青少年活動センターにおいて以下の事業を実施 ①にほんご教室 講座⑯81回→⑰81回、学習者延べ⑯931名→⑰877名、 ボランティア延べ⑯1,021名→⑰1,041名 ②在住外国人青少年の交流の場作り:Nº282再掲 ③世界に出会うプログラム ⑯フィリピンディ1回、参加者350名 →⑰アジアディ「中国・フィリピン・ベトナムに出会う一日」1回、参加者400名	青少年活動センター	文化市民局	勤労福祉青少年課(財)京都市ユースサービス協会)	144
			京都市国際交流協会と協力し、小中学校を対象に留学生を派遣し、多様な外国の文化に触れる機会を作っています。	学校支援ボランティア PICNIK	教育委員会	学校指導課	144
推進 288	地域社会への参加の促進	推進中(継続)	7箇所の青少年活動センターにおいて、ボランティアスタッフ延べ788人が活動し、様々な事業の企画、運営、実施を通じて、地域社会との関わりを深めました。 ボランティアスタッフ⑯772人→⑰788人	青少年活動センター	文化市民局	勤労福祉青少年課(財)京都市ユースサービス協会)	144

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
推進 289	地域における様々な団体の連携の促進	推進中 (継続)	①山科青少年活動センターにおいて、地域団体・区役所と連携して、自然環境の改善の取組「ホタルネットワーク」を実施 ②伏見青少年活動センターにおいて、在住外国人生徒への支援団体ネットワークを運営する取組「渡日・帰国青少年のための京都連絡会～ときめき～」を実施 ③その他7箇所の青少年活動センターにおいても、地域団体と連携した各種事業を実施	青少年活動センター	文化市民局	勤労福祉青少年課(財)京都市ユースサービス協会)	144
推進 290	指導者の養成	推進中 (継続)	青少年活動センターで活動するボランティアスタッフの合同研修会を実施 ボイスカウト、ガールスカウトをはじめとする各種少年団体が行う指導者研修を支援し、青少年の健全育成を推進しています。	青少年活動センター	文化市民局	勤労福祉青少年課(財)京都市ユースサービス協会)	144
推進 291	問題行動を未然に防ぐ積極的な施策の推進	推進中 (継続)	公的な施設や事業に参加しない層の青少年に働きかける「デタッチドワーク」の実現に向けて準備・調査を進めました。 ※デタッチドワーク 青少年活動の専門家が街頭に出て青少年に積極的に働きかける活動	京都市ユースサービス協会	文化市民局	勤労福祉青少年課(財)京都市ユースサービス協会)	144
推進 292	問題行動を防止する地域の取組の推進	推進中 (継続)	京都府犯罪被害者支援連絡協議会、人づくり21世紀委員会などへの参加を通して、情報共有や連携を進めました。 PTAや地域の各種団体及び学校を構成員とする「地域生徒指導連絡協議会」がすべての中学校区ごとに組織され、地域における子どもたちの健全育成や問題行動の未然防止を図る取組を展開しています。(詳細:209) また、子どもの命にかかる「携帯電話・インターネット」の課題解決に向け、NPO青少年メディア研究協会と連携しながら、「語り部」(携帯電話市民インストラクター)を養成し、家庭教育学級等で周知・啓発活動に努めました。(詳細:212)	青少年活動センター	文化市民局	勤労福祉青少年課(財)京都市ユースサービス協会)	144
					教育委員会	生徒指導課、生涯学習部、家庭地域教育支援担当、体育健康教育室	144

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び平成20年度 実施状況	施策実現に向けた関連事業	所管局	所管課	掲載頁
推進 293	総合的な相談体制の構築	推進中(継続)	①7箇所の青少年活動センターで相談・情報提供を実施 ②中京青少年活動センターでは、「総合相談窓口(ユースinfoスクエア)」や「何でも質問BOX」(匿名での若者の相談に掲示・WEB上で回答)を設置するなど、青少年が利用しやすい環境づくりに努めました。(ユースinfoスクエアでは、現在の若者の課題として5つのテーマとして、就労、性の健康、消費、メンタルヘルス、薬物依存をあげています。)平成20年度は、仕事に関する悩みを気軽に話せる「はたらく人のサロン」を開催しました。	青少年活動センター	文化市民局	勤労福祉青少年課(財)京都市ユースサービス協会)	144
			平成20年度の取組状況は、主に以下のとおりです。 <思春期・青年期精神保健ケースマネジメント事業> ・相談窓口をこころの健康増進センター内に設置し、相談・検討を行い、必要な場合、支援活動チームを編成し支援しています。 ・連続講座(関係機関対象) 3回実施 延260人参加 ・若者の薬物問題について考える講演会(市民・関係者対象) 170人参加 ・思春期・青年期のこころの健康について考える講演会(市民・関係者対象)172人参加 ・運営検討会議の開催 2回	こころの健康増進センター管理運営(センター事業)	保健福祉局	こころの健康増進センター	144
			教育相談総合センター(こども相談センター・パトナ)では、カウンセラーと生徒指導課担当主事による「チーム・サポート」=学校支援を通して、ひとりひとりの子どもの課題に応じた指導体制の充実を図っています。		教育委員会	生徒指導課、こども・パトナ	144
推進 294	中高生と赤ちゃんふれあい交流事業の充実(再掲:275)	推進中(充実)	(再掲:275)				144

(4) 望ましい食べる力をはぐくむための環境づくり

145

《重点》 295	京(みやこ)・食育行動指針(仮称)の策定【新規】	完了	平成19年1月に「京(みやこ)・食育推進プラン」を策定し、推進しています。		保健福祉局	保健医療課	148
-------------	--------------------------	----	---------------------------------------	--	-------	-------	-----

施策番号	施策名	実施区分	施策実現に向けた取組内容及び 平成20年度 実施状況	施策実現に向けた 関連事業	所管局	所管課	掲載 頁
《重点》 296	わくわく京(みやこ)・食探検ガイド(仮称)の作成と普及啓発【新規】	推進中 (継続)	リーフレット「京(みやこ)・食育だより」を年に2回発行し、また、紙芝居「わくわく食体験隊(2種)」を各保健所・支所、各京都市図書館及び保健医療課に配置し、活用される施設・団体等に貸出を行っています。		保健福祉局	保健医療課	148
《重点》 297	地産地消(知産知消)推進プロジェクト会議【新規、再掲:252】	推進中 (継続)	(再掲:252)				148
推進 298	発育・発達段階に応じた食育	推進中 (継続)	望ましい食べる力を育むための環境づくりとして、保健所・支所では、妊娠中から正しい食生活を身につけるとともに、妊娠中の食事と離乳食を学ぶことや、幼児期から食事に対する意欲や関心が高められるよう、食材学習や調理を体験することで、食を通じた家族形成の推進を図っています。	すくすく子育てサポート教室、乳幼児期の栄養相談・指導、離乳食講習会、ふれあいファミリー食セミナー、食育セミナー 他	保健福祉局 教育委員会 他	保健医療課 他	149

☆ 新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」に掲げた重点施策等の平成21年度における主な取組

《第1章》子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり

○ 市民・地域ぐるみで進める子育て支援の風土づくり

社会全体で子育てを支援していく風土づくりを進めるため、次の事務事業を実施します。

ア 子どもを共に育む京都市民憲章の推進 <予算額：6,000千円>

平成19年2月5日（育児ニコニコ笑顔の日）に制定した「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念が、市民生活の隅々にまで浸透し、社会のあらゆる場で実践行動の輪が広がる「子どもを健やかに育む社会」の実現に向けた取組を推進します。

また、憲章の更なる普及促進を図るため、平成22年度中に憲章理念の行動化を推進する条例の制定を目指します。このため、平成21年度中に、条例制定に向けた検討委員会を立ち上げます。
【保健福祉局 児童家庭課、教育委員会事務局 生涯学習部】

イ 083, 273 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）の拡充：《第2章関連》

<予算額：72,270千円>

子育て中の親の負担感や孤立感を緩和し、安心して子育てができる環境を整備するため、子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場所を新たに6箇所開設します。（既設と合わせ市内計20箇所）

（参考）数値目標設定施策 14箇所（平成20年度）→20箇所（平成21年度）

【保健福祉局 児童家庭課】

ウ 055 地域子育て支援ステーションの拡充：《第2章関連》 <予算額：49,200千円>

小学校区を基礎単位に、市民に身近な地域レベルでの相談・支援センターとして、新たに5箇所の保育所、児童館を指定します。（既設と合わせ市内計175箇所）

【保健福祉局 児童家庭課】

エ 006, 067 育児支援家庭訪問事業：《第2章関連》 <予算額：61,614千円>

子どもの養育について支援を必要としながらも自ら積極的に支援を求める家庭に対し、訪問等による援助活動を行います。（平成17年12月から、子ども支援センター（福祉事務所）及び保健所で実施）

【保健福祉局 児童家庭課、保健医療課】

○ 第2児童福祉センター基本構想策定 <予算額：1,000千円>

児童虐待、障害相談に迅速かつ的確に対応するため、市南部地域に新たに設置を予定している第2児童福祉センターについて、平成20年度に実施した調査の結果を踏まえ、平成21年度は基本構想を策定します。

【保健福祉局 児童家庭課】

○ **026 発達障害者支援センター（直接指導プログラム）の充実（自閉症・発達障害者支援センターの設置）** <予算額：19,000千円>

療育事業（直接指導プログラム）の待機解消のため、療育実施職員を4名増員します。
(現行職員数10名→14名)

【保健福祉局 障害保健福祉課】

○ **醍醐和光寮建替整備助成（障害や疾病等で支援が必要な子どもの福祉）** <予算額：897,700千円>

老朽狭隘化が著しい知的障害児・者施設「醍醐和光寮」について、社会福祉法人が行う建替え再整備に対し、助成を行ないます。

・場 所 伏見区日野西川頬

・施設構成 入所施設（日中活動施設、居住施設）定員100名（18歳以上），
短期入所施設 定員10名，
通所サービス施設 定員30名，
地域交流スペース など

・助成総額 1,173百万円（平成21～22年度2年計画事業）

【保健福祉局 障害保健福祉課】

○ **障害児・者福祉サービス利用支援策「新京都方式」の継続（障害や疾病等で支援が必要な子どもの福祉）** <予算額：178,200千円>

これまで「京都方式」「新京都方式」として、障害福祉サービスや医療等の利用者負担軽減策、グループホーム・ケアホーム事業者への支援策を実施してきましたが、平成20年度及び21年度以降の国の制度見直しによっても十分に改善されなかった部分について、引き続き「新京都方式」を実施します。

子育てを担う保護者の負担及び早期かつ安定した療育に配慮し、障害児施設（通所・入所とも）について、市民税非課税世帯の利用者負担の無料化等を継続します。

【保健福祉局 障害保健福祉課】

○ **033, 244 障害のある児童・生徒の教育の推進（総合育成支援教育の推進）**

ア 総合支援学校スクールバス更新

<予算額：80,000千円>

自主通学が困難な児童・生徒のために運行している総合支援学校のスクールバスについて、経年劣化による故障や事故を未然に防止するとともに、児童生徒の増加に対応するため、旧来の座席数の少ないバスから、座席数を最大限確保した特別仕様車両に3台更新します。

イ 総合育成支援員の配置

<予算額：220,495千円>

普通学級に在籍するLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症等の発達障害や肢体不自由等の児童・生徒に対して、決め細やかな指導を行うために、学習活動上の支援や学校生活上の介助等を行う総合育成支援員を配置します。<20年度は233校（園）311名>

【教育委員会事務局 総合育成支援課】

《第2章》次世代をはぐくむすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり

○ **122 保育所整備助成（施設整備による保育所定員の拡大）** <予算額：119,000千円>

東寺保育園（南区、定員 60 → 90人）の保育スペース拡張を伴う老朽改築整備に対して助成を行います。

（参考）数値目標設定施策 24, 450人（20年度）→24, 525人（21年度）
【保健福祉局 児童家庭課、保育課】

○ **127 延長保育の拡充** <予算額：538,150千円>

就労時間帯の多様化等による保育需要の増加に合わせ、延長保育実施保育所を169箇所から179箇所に拡充します。

（参考）数値目標設定施策 169箇所（20年度）→179箇所（21年度）
【保健福祉局 保育課】

○ **123, 129 一時保育の拡充** <予算額：106,790千円>

保護者の断続的・短時間就労に伴う一時的な保育（非定型）や、保護者の傷病などによる緊急時の保育（緊急一時）、保護者のリフレッシュを図るための保育といった様々な保育需要に対応できるよう、また、未就園児童への子育て支援サービスの提供という役割を果たすことができるよう、一時保育実施保育所を37箇所から42箇所に拡充します。

（参考）数値目標設定施策 37箇所（20年度）→42箇所（21年度）
【保健福祉局 保育課】

○ **130 休日保育の拡充** <予算額：7,010千円>

日曜・祝日に勤務する保護者等に対する保育サービスとして、休日保育事業を実施しています。平成21年度は、休日保育実施保育所を3箇所から5箇所に拡充します。

（参考）数値目標設定施策 3箇所（20年度）→5箇所（21年度）
【保健福祉局 保育課】

○ **158 母子家庭等自立支援対策(高等技能訓練促進費事業)の拡充** <予算額：49,100千円>

母子家庭の母の自立促進のため、看護師、介護福祉士等の資格取得を支援する高等技能訓練促進費の支給期間の拡充を行います。

- ・支給期間 修業期間の最後の1／3の期間（上限12か月）
→修業期間の後半1／2の期間（上限18か月）
- ・支給金額 月額10万3千円 など（変更なし）

【保健福祉局 児童家庭課】

《第3章》子どもを安心して生み健やかに育てるこことできるまちづくり

○ **178 妊婦健康診査の拡充（妊娠の健康の保持増進のための支援）** <予算額：1,239,623千円>

妊婦が健診費用の心配をせず、必要な回数（標準的に14回）を受けられるように、妊婦健康診査に対する公費負担の回数を増加します。

- ・公費負担回数 5→14回

【保健福祉局 保健医療課】

○ **199 子どもの夜間交通安全教室DVD作成（子どもの安全を含む地域の総合的なネットワークづくり）** <予算額：2,500千円>

醍醐十校区交通安全推進委員会が山科警察署等の協力を得て実施している子どもの夜間の交通安全教室の様子等をDVDに編集し、醍醐地域をはじめ、市内の小学校、児童館等に配布することにより、市内全域の子どもたちの夜間の交通事故防止に活用します。

【伏見区役所醍醐支所 まちづくり推進課】

《第4章》次代を担う子どもたちが心豊かに生きる力をはぐくむことができるまちづくり

○ **224 京都市方式による「子どもを共に育む『親支援』プログラム」の策定実践（親教育プログラムの開発と体系化）** <予算額：3,000千円>

「子どもを共に育む京都市民憲章」の趣旨を踏まえ、親自身が「親」としての心構えや必要な知識・技術等を子どもの発育・発達段階に応じて学べるとともに、こうした「親の学び」を支援する者を養成する体系的システムを開発し、保育所・幼稚園・学校さらに保健所・児童館等で展開できる仕組みを構築します。平成21年度は、モデル実施地区で本プログラムの試行実施を行います。

- ・対象 妊娠期～乳幼児期の親、さらに小・中学生の児童・生徒を持つ親

- ・内容

- (1) 親が、子育ての各段階で活用できる「親の学び」冊子の作成（全保護者対象）
- (2) 「親育ち」学習プログラム（講座的性質）の構築と、本学習プログラムの支援者の養成
- (3) 関係機関の連携による「京都市方式」の子育て支援システムの構築

【教育委員会事務局 生涯学習部、こどもみらい館】

○ **240 学校エコ改修と環境教育事業（実践を通して環境の大切さを学ぶ環境教育の推進）**

<予算額：12,000千円>

環境モデル都市の取組の一つとして、環境省の補助事業を活用し、学校施設の省エネルギー化と環境教育の充実を図ります。平成22年度の施工へ向け、21年度は研究会を設置し、改修整備内容や環境教育プログラムの検討を行います。

【教育委員会事務局 教育環境整備室】

○ 土曜学習の実施拡大（確かな学力と豊かな創造性をもつ子どもたちの育成）<予算額：76,080千円>

家庭学習や自主学習の習慣づけ、基礎基本の定着並びに体験活動の充実を図るため、小中学校において、学校運営協議会やボランティアとの連携のもと、平成20年度からモデル実施している土曜学習について、平成23年度の全小中学校での実施に向け、順次拡大を図ります。

【教育委員会事務局 学校指導課】

○ 学校統合による教育環境の充実整備（子どもたちを取り巻く教育環境の整備）

ア 花背小学校・花背中学校整備

京都市内で初の施設一体型小中一貫教育校として別所小学校・八幡小学校・花背中学校・花背第二中学校が平成19年4月に統合し、開校した花背小学校・花背中学校の教育の更なる充実を図るため、元花背第二中学校敷地内において新校舎の整備を進めており、平成21年秋に竣工予定です。

イ 下京涉成小学校整備

六条院・植柳・崇仁小学校の3校の統合を求める地元からの要望を尊重し、平成22年4月の開校に向けて、元皆山中学校敷地に新校舎を建設します。平成21年度においては、引き続き新校舎建築工事を実施し、平成22年2月末竣工予定です。

ウ 開晴小学校・開晴中学校整備 <予算額：1,624,000千円>

東山区北部の7小中学校（白川・新道・六原・清水・東山の5小学校及び洛東・弥栄の2中学校）の統合を求める地元からの要望を尊重し、平成23年4月の開校に向けて、現洛東中学校を中心に、現六原小学校も活用して施設一体型の小中一貫校を新設します。

平成21年度においては、新校舎建築工事、隣接道路の拡幅・交差点改良等の道路整備工事、拡張敷地の整備工事等に着手します。

エ 南区統合小中一貫校整備 <予算額：451,600千円>

地元からの要望を尊重し、平成24年4月の開校を目指し、南区東九条地域の陶化・東和・山王の3小学校の統合校と陶化中学校を一体にした小中一貫校を整備します。現陶化中学校敷地に新校舎を建設するとともに、より充実した教育活動が行えるよう、近接する東和小学校跡地についても整備の上活用します。

【教育委員会事務局 教育環境整備室】

○ 学校増改築等施設整備事業（子どもたちを取り巻く教育環境の整備）

ア 小学校増収容対策 <予算額：588,015千円>

児童・生徒数の増加に伴い、小中学校の校舎を増改築し、教育環境の充実を図ります。

- ・着工予定 西陣中央小学校、桂坂小学校、羽束師小学校（給食室）
- ・実施設計等 神川小学校、神川中学校

イ 御所南小学校グラウンド用地取得・整備 <予算額：107,250千円>

平成18年12月の京都府・京都市間における合意に基づき、京都府から中京庁舎跡地を取得し、これに隣接する富小路殿公園と合わせ、御所南小学校グラウンドとして整備します。

平成21年度は、京都府が行う中京庁舎の解体時期を見据えつつ、運動場の整備に着手します。

- ・場所 中京区富小路通二条上る鍛冶屋町
- ・整備面積 4,269m²（うち中京庁舎跡地取得面積888m²）
- ・供用開始 平成22年度

【教育委員会事務局 教育環境整備室】

- **272 一元化児童館の整備** <予算額：953,000千円>
- 錦林児童館（仮称）（左京区）、修学院第二児童館（仮称）（左京区）、明徳児童館（仮称）（左京区）、西野児童館（仮称）（山科区）、唐橋児童館（仮称）（南区）、祥豊児童館（仮称）（南区）、梅津北児童館（仮称）（右京区）、うたの・ひこばえ児童館（右京区）、向島南児童館（仮称）（伏見区）、以上9箇所の児童館の整備に着手します。また、京都市太秦児童館（右京区）の移転に伴う整備に着手します。
- 朱雀第三児童館（中京区）、音羽児童館（山科区）、西京極西児童館（右京区）、川岡東児童館（西京区）、伏見板橋児童館（伏見区）、桃山東児童館（伏見区）※名称はすべて仮称、以上6箇所の児童館の実施設計を行います。また、20年度に引き続き、京都市北白川児童館（左京区）、京都市七条第三児童館（下京区）、京都市桂徳児童館（西京区）、以上3箇所の児童館の整備を行います。
- なお、20年度予算を繰り越して、岩倉南児童館（仮称）の実施設計を行います。
- （参考）数値目標設定施策 111箇所（20年度）→130箇所（21年度予算ベース）
- 【保健福祉局 児童家庭課】
- **274, 272 児童館・学童クラブ事業の時間延長** <予算額：61,000千円>
- 就労形態の多様化等による保護者ニーズを踏まえ、放課後等の子どもたちの安心安全な居場所を確保するとともに、保護者の就労を支援するため、学童クラブ事業の実施時間を延長します。
- 併せて、一元化児童館においては、開館時間を延長し、中高生を中心とした居場所の提供と活動支援を行ないます。
- なお、学童クラブ事業の利用料金について、新たに時間延長の利用区分の設定を行ないます。
- ・開所時間 児童館事業 17時まで→18時30分まで
学童クラブ事業 18時まで→18時30分まで
 - ・実施時期 平成21年9月
- 【保健福祉局 児童家庭課】
- **放課後まなび教室の全小学校区での実施（子どもの健全育成のための環境づくり）**
- <予算額：414,550千円>
- 地域・PTA・学生などの参画の下、学習習慣の定着を図る「自主的な学びの場」と「安心安全な居場所」を確保する『放課後まなび教室』を全小学校区・全学年に拡大します。
- 【教育委員会事務局 生涯学習部】

その他

- **新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」の見直し** <予算額：9,000千円>
- 現行の新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」の計画期間が平成21年度までとなっているため、これまでの取組成果や子育ての現状、市民ニーズ等を踏まえたうえで、京都子どもネットワーク連絡会議を中心として、関係機関・団体、市民の意見を聴取しながら、次期プランを策定します。
- 【保健福祉局 児童家庭課】